

令和5年度

秋田県学習状況調査

調査結果報告書

令和6年3月

秋田県教育委員会

ま え が き

県教育委員会では、令和5年12月に、小学校第4学年から中学校第2学年までの全ての児童生徒を対象として秋田県学習状況調査を実施しました。

本調査のねらいは、県として、①学習指導要領の内容等の定着の程度を把握すること、②少人数学習の成果や課題を捉えること、そして、各学校において、③児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導の工夫改善を図ること、④全国学力・学習状況調査及び本調査、高校入試を活用した学習指導における検証改善サイクルを確立することなどにより、教員の学習指導の改善・充実や児童生徒の学力向上に役立てるところにあります。

本調査は、「教科に関する調査」と「学習の意欲等に関する質問紙調査」で構成しています。教科に関する調査の特色として、県の課題の改善状況を明らかにするための複数学年にわたる共通問題や、本県で重視している“「問い」を発する子ども”を育成するための基盤づくりに資する問題、高校入試と関連した問題等を出題しました。また、学習の意欲等に関する質問紙調査では、1人1台端末の活用状況に係る質問項目をはじめ、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況に係る質問項目などを設け、全国学力・学習状況調査等の質問項目と対応させることにより、各学校が自校の児童生徒の学習に対する意識等を的確に捉えることができるようにしました。

この度、令和5年度の本調査の結果に基づき、全県的な学習状況や今後の授業改善のポイント等を報告書としてまとめました。各学校や市町村教育委員会においては、この報告書及び調査問題を日常の学習指導や教育への取組の改善・充実に積極的に活用していただきたいと考えております。

最後に、本調査の実施に当たり御協力いただきました県内全ての市町村教育委員会、各学校の皆様にご心から御礼申し上げます。

令和6年3月

秋田県教育委員会

目 次

1	調査の概要	-----	3
2	調査の特徴、用語等	-----	4
3	調査結果の概要	-----	5
	(1) 教科に関する調査の結果		
	① 設定通過率との比較	-----	5
	② 各教科の観点別の設定通過率との比較	-----	6
	③ 類似問題との比較	-----	7
	④ 各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較	-----	8
	(2) 学習の意欲等に関する質問紙調査結果		
	① 学習全般についての結果概要	-----	13
	② 各教科等の学習に対する意識についての結果概要	-----	13
	③ 学習全般について	-----	14
	④ 生活全般について	-----	16
	⑤ 家庭学習について	-----	19
	⑥ 授業について	-----	20
	⑦ ICT活用の状況について	-----	22
	⑧ 各教科等の学習に対する意識について	-----	23
	⑨ 読書について	-----	32
4	結果と考察	-----	33
本章は、各学年とも、「評価規準と評価の観点」「小問別通過率と設定通過率」「小問別反応率、小問別通過率度数分布表」「調査結果の考察」で構成されています。			
	(1) 国語		
	・小学校第4学年	-----	34
	・小学校第5学年	-----	38
	・小学校第6学年	-----	42
	・中学校第1学年	-----	46
	・中学校第2学年	-----	50
	(2) 社会		
	・小学校第5学年	-----	54
	・小学校第6学年	-----	58
	・中学校第1学年	-----	62
	・中学校第2学年	-----	66
	(3) 算数、数学		
	・小学校第4学年	-----	70
	・小学校第5学年	-----	74
	・小学校第6学年	-----	78
	・中学校第1学年	-----	82
	・中学校第2学年	-----	86
	(4) 理科		
	・小学校第4学年	-----	90
	・小学校第5学年	-----	94
	・小学校第6学年	-----	98
	・中学校第1学年	-----	102
	・中学校第2学年	-----	106
	(5) 英語		
	・中学校第1学年	-----	110
	・中学校第2学年	-----	114

令和5年度
秋田県学習状況調査

- 1 調査の概要
- 2 調査の特徴・用語等
- 3 調査結果の概要

1 調査の概要

(1) 学習状況調査実施の趣旨

学習指導要領の内容の定着度等を把握し、本県が進める少人数学習の成果や課題を捉え、学習指導の工夫改善を図るとともに、全国学力・学習状況調査、本調査及び高校入試を活用して、学習指導における検証改善サイクルを確立し、児童生徒の学力向上に資する。

(2) 調査対象学年、実施教科等、調査参加児童生徒数

※本報告書において、「小・中学校」は義務教育学校、「小学校」は義務教育学校の前期課程、「中学校」は義務教育学校の後期課程をそれぞれ含んでいる。

(人)

校種・学年 実施教科等	小 学 校			中 学 校	
	第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年
国 語	5,897	6,020	6,287	6,106	6,190
社 会		6,018	6,287	6,105	6,191
算数・数学	5,896	6,018	6,285	6,106	6,182
理 科	5,896	6,018	6,286	6,108	6,185
英 語				6,104	6,182
学習の意欲等に関する アンケート	5,899	6,017	6,285	6,106	6,195
参 加 者	5,899	6,020	6,287	6,108	6,195
小・中ごとの参加者計	18,206			12,303	
参加者合計	30,509				

(3) 出題内容

① 基本的な考え方

学習指導要領で求められている資質・能力の定着度、指導上の問題点を明らかにするとともに、学習指導の工夫改善に資することができるよう、「ペーパーテストで調査を行うことが適当な内容・項目」について出題する。

② 出題の範囲

調査対象学年の児童生徒が、前学年の後半で履修した教科の内容及び当該学年の前半で履修した教科の内容を基本とする。

ただし、これまで明らかになった課題の改善状況を把握するため、それ以前の学年で履修した内容を含む場合もある。

(4) 調査実施日

小学校 令和5年12月 6日(水)

中学校 令和5年12月 7日(木)

2 調査の特徴、用語等

(1) 特徴

- ① 評価規準の設定
 - ・ 観点別評価の実施
 - ・ 調査する基礎・基本の明確化
- ② 設定通過率の設定
 - ・ 県として「おおむね満足できる状況」と判断する基準の設定
- ③ 教科に関する調査と学習への意欲等に関する質問紙による総合的な学習状況の把握
 - ・ 多面的な学力の把握
- ④ 過去に実施した国や県の調査問題の類似問題による経年比較
 - ・ 学力の経年変化の把握
- ⑤ 調査の趣旨に基づいた特色ある問題
 - ・ 複数学年にとつたる共通問題
 - ・ 本県児童生徒の学習状況における課題等の改善に資する問題
 - ・ “「問い」を発する子ども”の基盤づくりに資する問題
- ⑥ 秋田県公立高等学校における学力検査の現状分析に基づいた問題
 - ・ 課題等の改善状況を把握するための問題
- ⑦ 調査結果の活用工夫
 - ・ 各学校における結果分析に基づいた指導の改善
 - ・ 報告書の作成

(2) 用語

- ① 通過率
 - ・ 各問題ごとの正答した児童生徒の人数の割合
(各学校の通過率の例：50人中30人が正答していれば60%)
- ② 平均通過率
 - ・ 全問題の通過率の平均
- ③ 設定通過率
 - ・ 問題ごとに、どの程度の通過率であれば「おおむね満足できる状況」とするかをあらかじめ定めた値（分析する上での参考値として示している）
- ④ 正答数別度数分布
 - ・ 正答数ごとの児童生徒数の度数分布を示したグラフ
- ⑤ 小問別通過率度数分布表
 - ・ 各小問における通過率ごとの学校数を示した表

(3) データ処理の方法

採点、データ入力・集約

- ・ 本調査は、各校において採点を行い、その結果を学習状況調査集計・分析システムに登録することにより、全県データを集約している。
- ・ 各学校の教科に関する調査及び学習への意欲等に関する質問紙調査の結果は、学習状況調査集計・分析システムの登録状況を閲覧することにより、自校の結果と全県データを比較することができる。

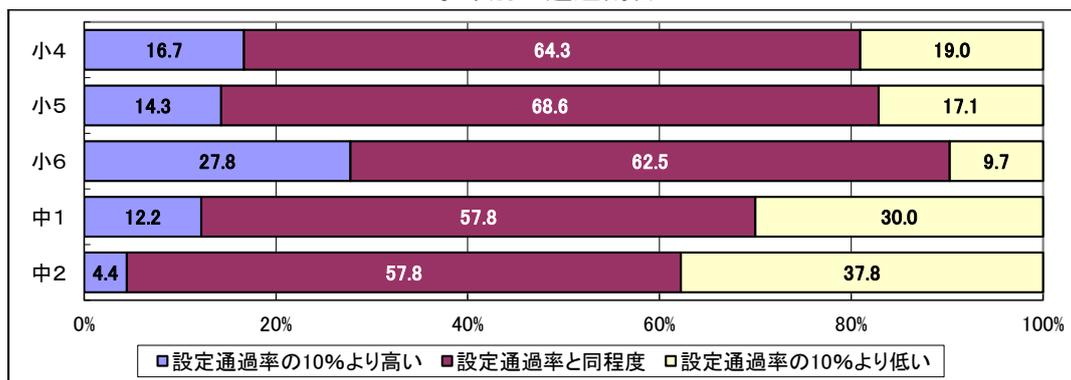
3 調査結果の概要

(1) 教科に関する調査の結果

① 設定通過率との比較

- ・通過割合（通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題数の割合）を学年別に見ると、小学校第4学年が81.0%、小学校第5学年が82.9%、小学校第6学年が90.3%、中学校第1学年が70.0%、中学校第2学年が62.2%であった。中学校は、いずれの学年も昨年度の通過割合を上回った。一方、小学校第4学年は14.2ポイント、第5学年は8.5ポイント、昨年度よりも低くなっている。
- ・平均通過率が設定通過率の平均を上回っている学年・教科は、小学校では第4学年国語、理科、第5学年社会、第6学年国語、社会、理科、中学校では第1学年国語であった。一方、10ポイント以上下回っている学年・教科は、中学校の第2学年英語であった。

学年別の通過割合



学年別の平均通過率と設定通過率の平均との比較

校種	教科	学年	平均通過率	設定通過率の平均	差	通過割合
小学校	国語	第4学年	74.3	73.3	1.0	83.3%
		第5学年	63.7	70.3	-6.6	68.8%
		第6学年	74.9	72.2	2.7	83.3%
	社会	第5学年	74.0	70.0	4.0	94.4%
		第6学年	73.6	70.0	3.6	100.0%
	算数	第4学年	67.5	72.2	-4.7	77.8%
		第5学年	70.8	72.8	-2.0	83.3%
		第6学年	68.7	71.1	-2.4	77.8%
	理科	第4学年	78.5	73.3	5.2	83.3%
第5学年		68.8	70.8	-2.0	83.3%	
第6学年		83.8	73.3	10.5	100.0%	
中学校	国語	第1学年	76.3	73.1	3.2	77.8%
		第2学年	70.3	73.3	-3.0	88.9%
	社会	第1学年	66.5	70.0	-3.5	83.3%
		第2学年	60.7	70.0	-9.3	55.6%
	数学	第1学年	61.5	70.0	-8.5	61.1%
		第2学年	61.3	70.6	-9.3	55.6%
	理科	第1学年	66.1	70.6	-4.5	72.2%
		第2学年	61.4	70.3	-8.9	72.2%
英語	第1学年	62.4	70.0	-7.6	55.6%	
	第2学年	51.4	70.0	-18.6	38.9%	

※通過割合：全小問のうち、設定通過率と同程度（±10%の範囲内）及びそれを上回る（+10%より高い）の小問の割合

② 各教科の観点別の設定通過率との比較

- ・通過割合（通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題数の割合）が75%以上であるのは、小学校では社会、算数、理科の全観点、国語の「思考・判断・表現」であった。中学校では国語の「思考・判断・表現」、理科の「知識・技能」であった。
- ・通過率が設定通過率を下回る問題が多く見られたのは、中学校の数学、英語の全観点、国語、社会の「知識・技能」、理科の「思考・判断・表現」であった。

<小学校>

教科名	観点	問題数	+10%より高い	±10%の範囲内	-10%より低い
国語	知識・技能	24	6 (25.0%)	11 (45.8%)	7 (29.2%)
	思考・判断・表現	22	5 (22.7%)	14 (63.6%)	3 (13.6%)
社会	知識・技能	18	4 (22.2%)	14 (77.8%)	0 (0.0%)
	思考・判断・表現	18	5 (27.8%)	12 (66.7%)	1 (5.6%)
算数	知識・技能	36	0 (0.0%)	29 (80.6%)	7 (19.4%)
	思考・判断・表現	18	1 (5.6%)	13 (72.2%)	4 (22.2%)
理科	知識・技能	25	8 (32.0%)	13 (52.0%)	4 (16.0%)
	思考・判断・表現	23	8 (34.8%)	14 (60.9%)	1 (4.3%)

<中学校>

教科名	観点	問題数	+10%より高い	±10%の範囲内	-10%より低い
国語	知識・技能	19	5 (26.3%)	8 (42.1%)	6 (31.6%)
	思考・判断・表現	17	6 (35.3%)	11 (64.7%)	0 (0.0%)
社会	知識・技能	18	1 (5.6%)	11 (61.1%)	6 (33.3%)
	思考・判断・表現	18	0 (0.0%)	13 (72.2%)	5 (27.8%)
数学	知識・技能	22	1 (4.5%)	12 (54.5%)	9 (40.9%)
	思考・判断・表現	14	0 (0.0%)	8 (57.1%)	6 (42.9%)
理科	知識・技能	20	0 (0.0%)	15 (75.0%)	5 (25.0%)
	思考・判断・表現	16	2 (12.5%)	9 (56.3%)	5 (31.3%)
英語	知識・技能	19	0 (0.0%)	10 (52.6%)	9 (47.4%)
	思考・判断・表現	17	0 (0.0%)	7 (41.2%)	10 (58.8%)

③ 類似問題との比較

- ・類似問題において過去の通過率を上回った問題数は、小学校では87問中56問（64.4%）、中学校では87問中55問（63.2%）であった。
- ・学年・教科別に見ると、類似問題における過去の通過率を上回った問題数の割合が70%以上だったのは、小学校では第4学年の算数、理科、第5学年の社会、第6学年の社会、理科であった。中学校では第1学年の社会、数学、英語であった。

（図1参照）

- ・類似問題の通過率の平均を比較すると、社会、算数・数学、英語は全ての学年で過去の通過率の平均を上回っている。小学校第4学年及び第5学年の国語、中学校第1学年の国語、理科、第2学年の国語は下回っている。

（図2参照）

図1 類似問題において過去の通過率を上回った問題数の割合

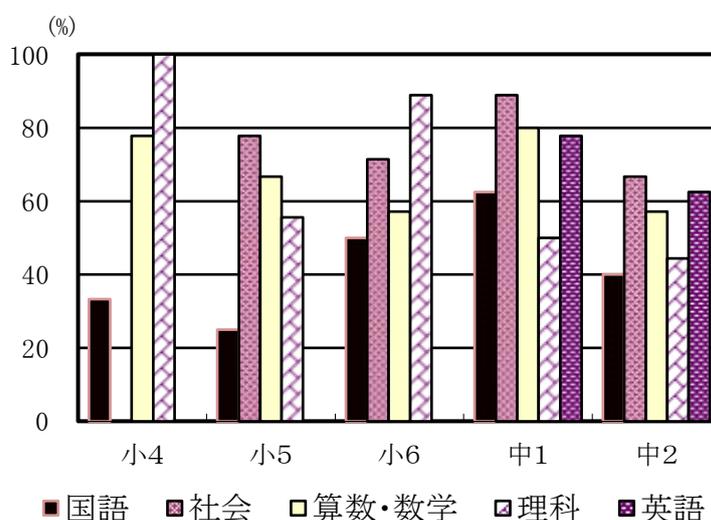
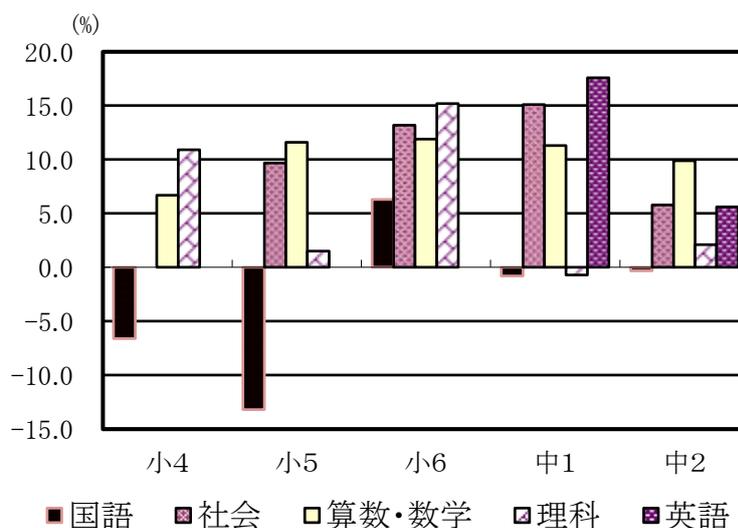


図2 類似問題において過去の通過率の平均を基準とした今年度の通過率の平均



④ 各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較

【国語】

設 定：設定通過率

通 過 率：今年度の平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

小4

番号	設定	通過率	類似
1)	90	98.7	
2)	90	96.6	
3)	80	91.1	
4)	80	88.8	
5)	70	74.9	69.4
6)	60	30.8	63.4
7)	70	63.4	
8)	70	78.6	
9)	70	75.8	95.1
10)	60	42.1	46.7
11)	60	58.9	67.4
12)	80	91.8	72.1

設定通過率	73.3		
平均通過率		74.3	
類似問題		62.4	69.0

小5

番号	設定	通過率	類似
1)	80	97.0	
2)	80	91.7	
3)	70	71.2	
4)	70	60.0	
5)	80	89.8	73.7
6)	70	53.5	69.6
7)	70	36.9	
8)	60	40.7	52.1
9)	65	37.8	64.7
10)	70	65.9	
11)	60	54.7	88.7
12)	70	66.2	
13)	60	54.5	81.1
14)	80	80.1	
15)	60	25.0	38.0
16)	80	94.5	88.0

設定通過率	70.3		
平均通過率		63.7	
類似問題		56.3	69.5

小6

番号	設定	通過率	類似
1)	80	88.1	
2)	80	91.3	
3)	70	80.1	
4)	70	70.8	
5)	60	47.5	
6)	90	90.2	92.6
7)	60	72.9	58.3
8)	70	49.0	69.8
9)	60	52.3	62.9
10)	80	85.7	78.2
11)	70	87.1	
12)	70	68.6	
13)	80	95.9	72.1
14)	70	92.6	50.0
15)	80	84.3	
16)	70	65.2	
17)	60	42.1	
18)	80	85.3	89.8

設定通過率	72.2		
平均通過率		74.9	
類似問題		78.0	71.7

○中学校

中1

番号	設定	通過率	類似
1)	80	89.5	
2)	80	92.1	
3)	70	58.9	
4)	70	90.5	
5)	70	39.5	77.0
6)	80	91.2	64.1
7)	80	98.4	
8)	70	47.7	74.3
9)	70	70.0	
10)	65	46.2	
11)	70	82.4	
12)	80	84.5	
13)	70	84.4	69.7
14)	70	74.2	
15)	80	90.7	85.0
16)	70	84.5	92.0
17)	60	62.9	50.0
18)	80	85.4	80.9

設定通過率	73.1		
平均通過率		76.3	
類似問題		73.3	74.1

中2

番号	設定	通過率	類似
1)	80	81.5	77.0
2)	80	73.4	63.9
3)	80	93.9	81.2
4)	80	96.2	
5)	80	71.6	
6)	70	60.9	
7)	70	76.5	
8)	70	24.5	51.0
9)	70	67.5	
10)	60	56.3	63.9
11)	70	45.1	
12)	90	92.3	71.6
13)	70	73.5	74.1
14)	70	89.5	
15)	70	65.0	
16)	70	62.5	73.2
17)	60	54.9	59.0
18)	80	79.3	80.5

設定通過率	73.3		
平均通過率		70.3	
類似問題		69.2	69.5

【社会】

設 定：設定通過率

通過率：今年度の平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

小5

番号	設定	通過率	類似
1)	80	80.9	
2)	70	83.8	
3)	70	77.0	
4)	70	61.4	
5)	70	88.7	61.1
6)	70	74.3	62.1
7)	65	77.0	57.5
8)	70	73.4	67.5
9)	75	78.6	
10)	70	62.5	
11)	65	63.2	
12)	70	64.2	72.4
13)	65	79.0	
14)	60	49.2	
15)	80	84.5	77.1
16)	75	81.9	88.0
17)	70	82.4	61.8
18)	65	70.5	61.5

設定通過率	70.0		
平均通過率		74.0	
類似問題		77.4	67.7

小6

番号	設定	通過率	類似
1)	85	85.9	
2)	80	88.7	
3)	75	87.9	61.4
4)	70	75.9	69.4
5)	65	72.8	25.5
6)	65	64.8	
7)	80	88.0	
8)	70	83.7	
9)	80	90.8	
10)	65	57.1	
11)	60	69.8	
12)	70	70.9	63.6
13)	60	55.5	87.4
14)	70	67.6	
15)	70	70.9	
16)	60	50.8	69.1
17)	65	61.4	
18)	70	81.2	25.9

設定通過率	70.0		
平均通過率		73.6	
類似問題		70.7	57.5

○中学校

中1

番号	設定	通過率	類似
1)	85	87.9	83.5
2)	70	74.9	18.0
3)	60	40.3	
4)	70	60.4	53.9
5)	80	87.8	
6)	60	50.6	
7)	65	58.2	
8)	75	79.5	
9)	75	78.5	66.0
10)	60	50.0	41.7
11)	70	54.2	78.3
12)	70	74.3	54.1
13)	65	67.2	40.9
14)	75	69.3	
15)	80	88.4	
16)	70	76.6	51.8
17)	70	64.4	
18)	60	33.7	

設定通過率	70.0		
平均通過率		66.5	
類似問題		69.3	54.2

中2

番号	設定	通過率	類似
1)	60	45.1	49.0
2)	65	53.9	47.6
3)	60	48.0	
4)	80	73.7	71.5
5)	75	71.0	
6)	60	47.6	23.7
7)	80	78.3	75.1
8)	85	81.5	
9)	80	90.6	
10)	60	31.7	
11)	70	72.3	
12)	75	83.9	32.7
13)	60	28.2	48.7
14)	70	60.9	
15)	60	31.4	
16)	65	38.1	53.2
17)	80	86.2	
18)	75	70.6	65.6

設定通過率	70.0		
平均通過率		60.7	
類似問題		57.7	51.9

【算数、数学】

設 定：設定通過率

通過率：今年度の平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

番号	設定	通過率	類似
1)	80	72.1	
2)	80	69.5	
3)	85	82.9	84.4
4)	80	81.2	72.5
5)	80	84.6	
6)	60	68.0	44.3
7)	65	60.2	
8)	60	44.1	
9)	85	80.0	78.2
10)	70	61.7	
11)	70	65.9	62.0
12)	70	70.9	57.5
13)	65	54.4	
14)	75	84.4	74.2
15)	80	76.1	70.3
16)	70	62.0	67.4
17)	60	27.4	
18)	65	70.2	

設定通過率	72.2		
平均通過率		67.5	
類似問題		74.6	67.9

番号	設定	通過率	類似
1)	80	84.6	72.0
2)	75	63.6	73.7
3)	75	75.4	
4)	70	62.7	74.0
5)	70	76.0	52.7
6)	80	78.0	
7)	80	89.1	37.2
8)	75	60.0	76.8
9)	80	77.4	
10)	65	73.5	55.6
11)	70	52.0	
12)	65	65.4	
13)	80	80.5	
14)	65	65.3	28.9
15)	70	72.0	
16)	65	59.4	
17)	80	84.8	
18)	65	55.2	54.4

設定通過率	72.8		
平均通過率		70.8	
類似問題		70.0	58.4

番号	設定	通過率	類似
1)	85	75.1	
2)	90	86.1	91.8
3)	80	82.3	60.2
4)	85	94.5	
5)	75	77.5	52.7
6)	70	62.9	66.0
7)	60	44.4	
8)	65	69.1	
9)	70	68.6	
10)	60	63.7	21.9
11)	60	43.2	47.6
12)	70	62.9	
13)	60	49.4	
14)	70	72.2	
15)	75	72.3	
16)	80	87.5	
17)	60	48.2	40.3
18)	65	77.5	

設定通過率	71.1		
平均通過率		68.7	
類似問題		66.3	54.4

○中学校

番号	設定	通過率	類似
1)	80	61.3	
2)	75	62.8	56.6
3)	70	39.7	
4)	70	71.5	29.4
5)	65	57.2	45.7
6)	65	56.1	49.5
7)	70	73.5	
8)	70	72.8	
9)	70	61.4	
10)	65	37.7	41.0
11)	75	69.4	51.0
12)	70	51.2	
13)	70	75.7	
14)	70	82.4	56.9
15)	80	89.9	81.2
16)	65	32.1	72.8
17)	65	54.1	15.5
18)	65	58.5	

設定通過率	70.0		
平均通過率		61.5	
類似問題		61.3	50.0

番号	設定	通過率	類似
1)	80	88.2	
2)	75	56.4	
3)	80	87.6	
4)	75	71.7	52.9
5)	70	53.7	60.6
6)	70	40.0	
7)	65	42.9	
8)	65	39.0	
9)	70	61.3	
10)	65	59.8	
11)	60	48.7	26.1
12)	70	67.6	47.5
13)	65	43.7	43.9
14)	80	85.6	
15)	65	52.0	
16)	70	62.3	44.5
17)	75	75.7	
18)	70	66.9	69.6

設定通過率	70.6		
平均通過率		61.3	
類似問題		59.2	49.3

【理科】

設 定：設定通過率

通過率：今年度の平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

番号	設定	通過率	類似
1)	80	75.1	71.2
2)	80	87.2	
3)	70	82.2	
4)	70	85.9	70.2
5)	80	88.0	
6)	70	91.6	
7)	70	38.8	
8)	70	59.9	
9)	70	89.5	75.6
10)	70	84.0	66.1
11)	80	88.8	81.2
12)	70	70.5	63.8

設定通過率	73.3		
平均通過率		78.5	
類似問題		82.3	71.4

番号	設定	通過率	類似
1)	90	94.7	92.2
2)	70	84.5	
3)	90	91.0	92.1
4)	85	91.3	85.3
5)	60	43.9	
6)	60	32.5	
7)	60	58.7	
8)	60	57.7	
9)	60	58.5	
10)	90	90.0	86.6
11)	70	65.5	81.2
12)	70	26.5	
13)	60	70.1	55.2
14)	70	73.8	66.8
15)	70	78.9	
16)	80	88.8	92.3
17)	70	71.9	72.3
18)	60	59.3	

設定通過率	70.8		
平均通過率		68.8	
類似問題		81.9	80.4

番号	設定	通過率	類似
1)	70	89.5	
2)	80	86.9	
3)	80	78.1	78.9
4)	70	84.9	71.7
5)	70	76.0	68.8
6)	80	83.9	
7)	70	69.0	
8)	60	92.7	31.3
9)	70	83.0	
10)	90	97.5	
11)	70	93.5	
12)	60	66.9	54.0
13)	85	95.5	88.8
14)	60	72.7	41.3
15)	80	90.9	89.3
16)	75	80.9	78.1
17)	70	72.7	
18)	80	94.1	

設定通過率	73.3		
平均通過率		83.8	
類似問題		82.1	66.9

○中学校

番号	設定	通過率	類似
1)	80	78.7	
2)	60	62.7	
3)	70	66.3	
4)	60	38.1	
5)	70	30.0	68.3
6)	70	67.5	67.7
7)	70	76.3	
8)	80	94.5	96.0
9)	60	50.2	
10)	60	56.1	52.9
11)	80	85.5	75.9
12)	80	85.0	
13)	80	64.9	73.2
14)	60	46.2	
15)	70	44.0	
16)	70	72.6	66.8
17)	70	81.0	57.1
18)	80	89.8	

設定通過率	70.6		
平均通過率		66.1	
類似問題		69.0	69.7

番号	設定	通過率	類似
1)	70	68.0	
2)	70	48.5	
3)	80	73.7	78.0
4)	80	58.2	62.2
5)	65	60.8	57.2
6)	70	46.2	30.9
7)	70	42.7	
8)	70	75.7	
9)	60	54.1	
10)	80	75.1	62.5
11)	70	61.3	67.3
12)	70	64.5	27.9
13)	60	58.5	
14)	70	71.9	
15)	70	73.5	
16)	60	56.5	62.5
17)	80	75.5	
18)	70	40.4	68.9

設定通過率	70.3		
平均通過率		61.4	
類似問題		59.6	57.5

【英語】

設 定：設定通過率

通過率：今年度の平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○中学校

中1

番号	設定	通過率	類似
1)	80	84.1	70.1
2)	80	84.5	50.6
3)	80	85.2	18.5
4)	80	87.4	69.0
5)	60	65.2	39.5
6)	75	80.4	
7)	70	57.6	59.8
8)	70	70.8	
9)	80	87.4	
10)	70	53.6	
11)	70	62.5	
12)	65	67.6	
13)	60	37.0	20.9
14)	60	45.4	
15)	60	27.2	52.8
16)	75	64.7	
17)	60	28.5	17.2
18)	65	34.5	

設定通過率	70.0		
平均通過率		62.4	
類似問題		61.9	44.3

中2

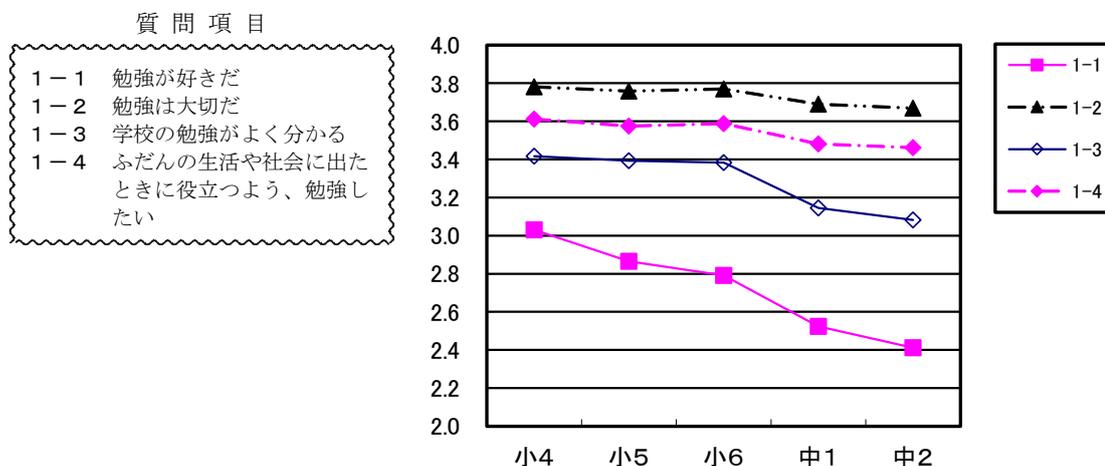
番号	設定	通過率	類似
1)	90	89.3	77.1
2)	85	79.7	56.3
3)	60	53.1	53.1
4)	80	80.8	
5)	70	49.0	
6)	60	38.5	32.0
7)	80	71.9	
8)	65	24.7	
9)	60	53.0	
10)	65	38.0	50.2
11)	75	48.9	50.7
12)	65	38.4	
13)	75	75.5	
14)	60	29.5	26.6
15)	65	46.3	
16)	70	39.8	26.3
17)	70	47.7	
18)	65	21.9	

設定通過率	70.0		
平均通過率		51.4	
類似問題		52.1	46.5

(2) 学習の意欲等に関する質問紙調査結果

① 学習全般についての結果概要（4点換算による県平均）

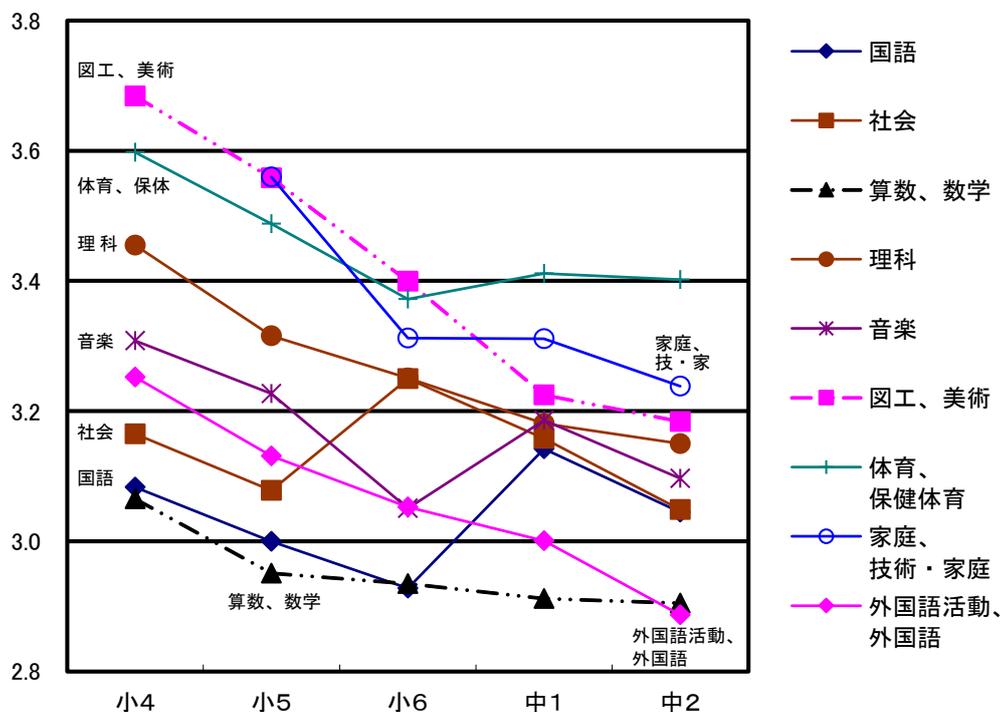
当てはまる…4点 どちらかといえば当てはまる…3点
 どちらかといえば当てはまらない…2点 当てはまらない…1点



② 各教科等の学習に対する意識についての結果概要（4点換算による県平均）

当てはまる…4点 どちらかといえば当てはまる…3点
 どちらかといえば当てはまらない…2点 当てはまらない…1点

質問項目
 (例) 国語の勉強は好きだ ※下線部を各教科等名にしてそれぞれ質問する。



③ 学習全般について

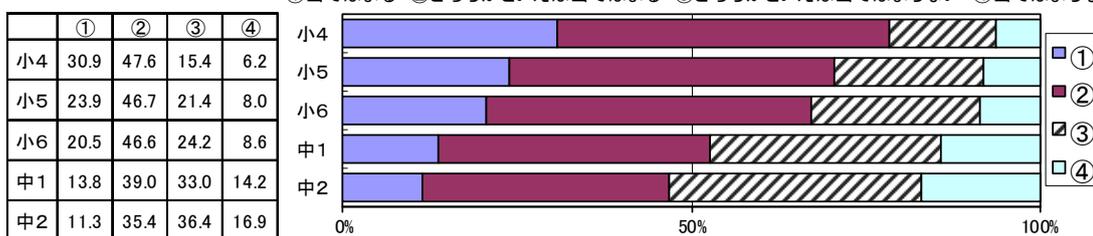
[グラフ等の見方]

表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

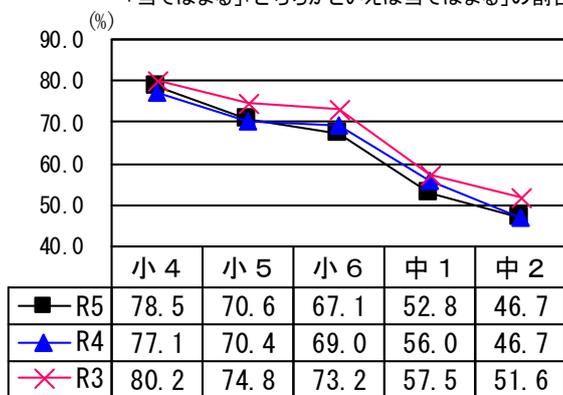
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

[1-1] 勉強が好きだ

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



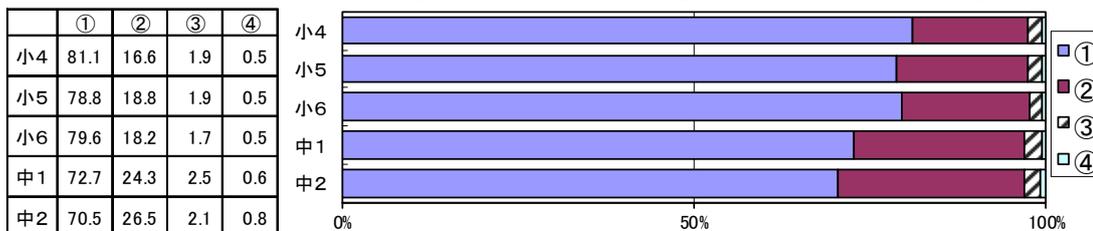
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



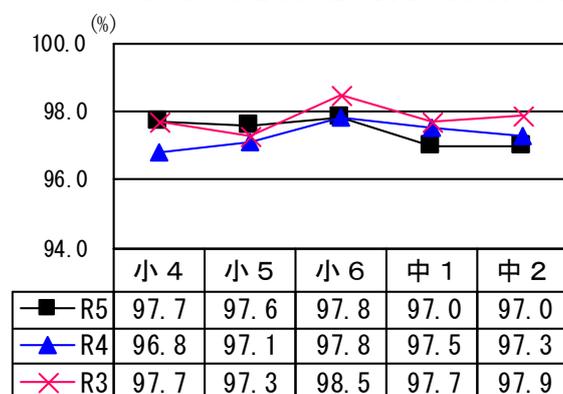
肯定的な回答の割合が、学年が上がるに従って減少しているものの、小学校第4学年では、肯定的な回答の割合が昨年度より1.4ポイント高くなっている。

[1-2] 勉強は大切だ

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



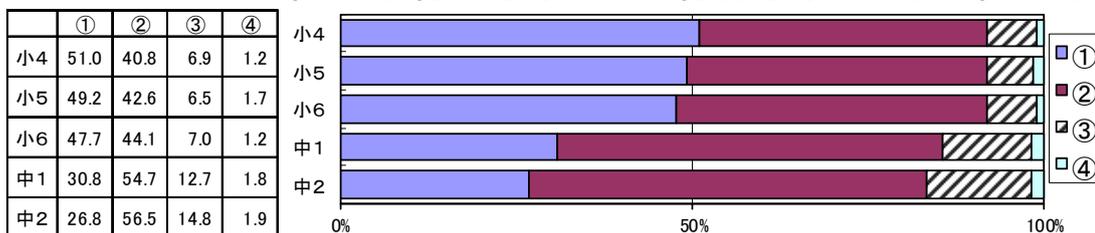
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



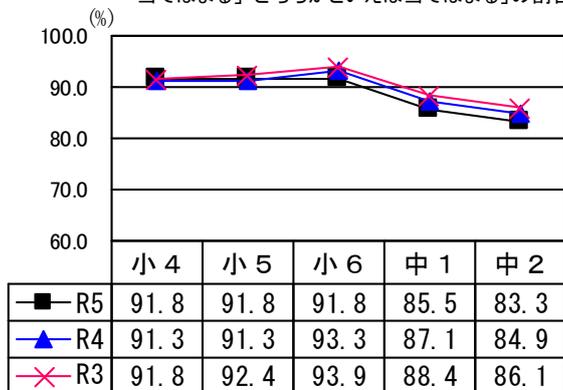
肯定的な回答の割合が、全ての学年で97%以上となっており、小学校第5学年においては、この3年間で最も高い数値となっている。学ぶことの重要性や意義などを感じながら学習に取り組んでいる児童生徒が多いことがうかがえる。

[1 - 3] 学校の勉強がよく分かる

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



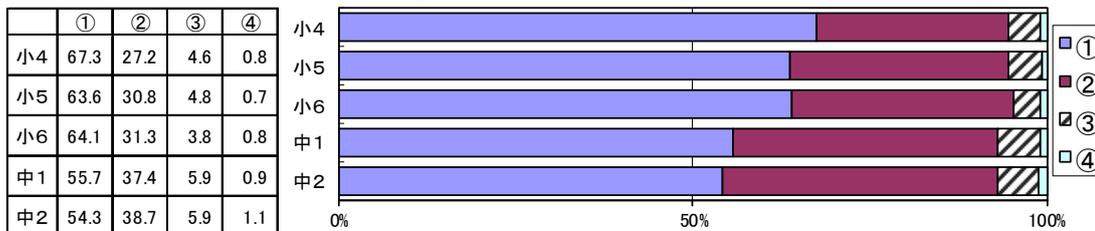
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



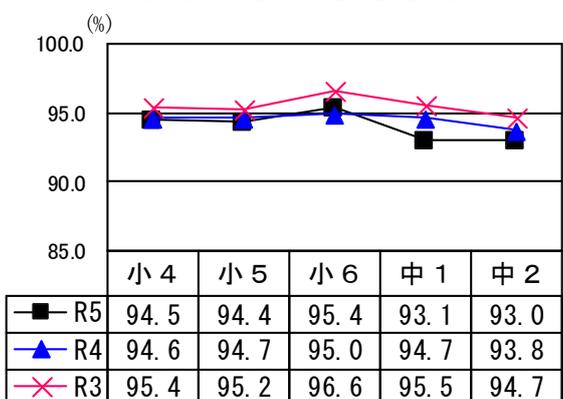
小学校では91%以上が肯定的な回答をしている。小学校第4学年と第5学年では、肯定的な回答の割合が昨年度より0.5ポイント高くなっている。

[1 - 4] ふだんの生活や社会に出たときに役立つよう、勉強したい

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



全ての学年で、肯定的な回答の割合が93%以上である。各教科等で学習する内容を日常生活にも役立てようという意欲をもっている児童生徒が多いことがうかがえる。

④ 生活全般について

[グラフ等の見方]

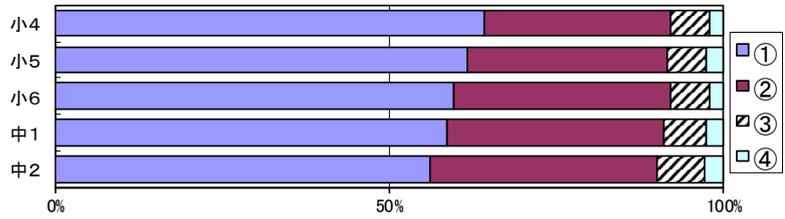
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

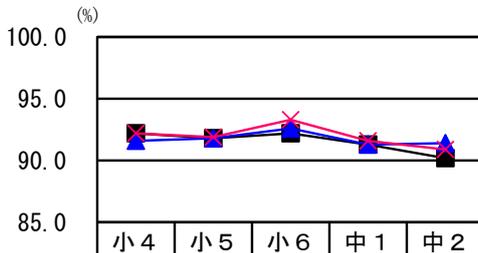
[2-1] 学校が楽しい

	①	②	③	④
小4	64.3	27.9	5.8	2.0
小5	61.7	30.1	5.8	2.4
小6	59.7	32.5	6.0	1.9
中1	58.8	32.5	6.4	2.4
中2	56.2	34.0	7.1	2.6

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



	小4	小5	小6	中1	中2
■ R5	92.2	91.8	92.2	91.3	90.2
▲ R4	91.6	91.8	92.6	91.3	91.4
✕ R3	92.2	91.9	93.3	91.6	90.9
R5全国調査	小6…秋田県87.7(全国85.3) 中3…秋田県85.8(全国81.8)				

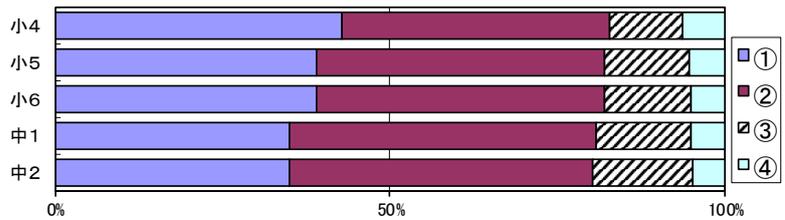
全ての学年で、肯定的な回答の割合が90%以上である。

小学校第6学年においては、全国学力・学習状況調査の肯定的な回答の割合よりも4.5ポイント高くなっている。

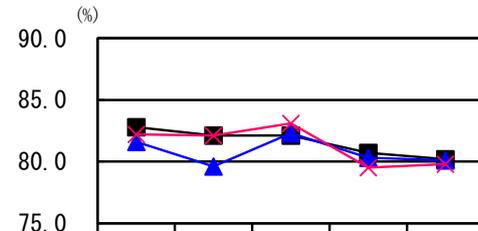
[2-2] 自分にはよいところがあると思う

	①	②	③	④
小4	42.9	39.9	10.9	6.2
小5	39.0	43.1	12.5	5.4
小6	39.1	43.0	12.8	5.1
中1	34.9	45.8	14.3	5.0
中2	35.0	45.2	15.1	4.7

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



	小4	小5	小6	中1	中2
■ R5	82.8	82.1	82.1	80.7	80.2
▲ R4	81.6	79.6	82.3	80.3	80.1
✕ R3	82.2	82.1	83.1	79.5	79.8
R5全国調査	小6…秋田県87.1(全国83.5) 中3…秋田県84.9(全国80.0)				

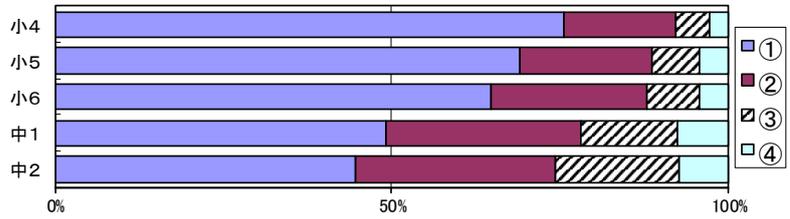
全ての学年で、肯定的な回答の割合が80%以上である。小学校第4学年及び中学校においては、この3年間で最も高い数値となっている。

学校生活の様々な場面において、教師が児童生徒のよさを認めるなど、児童生徒が自分のよさや可能性を認識できるような働きかけを充実させていることがうかがえる。

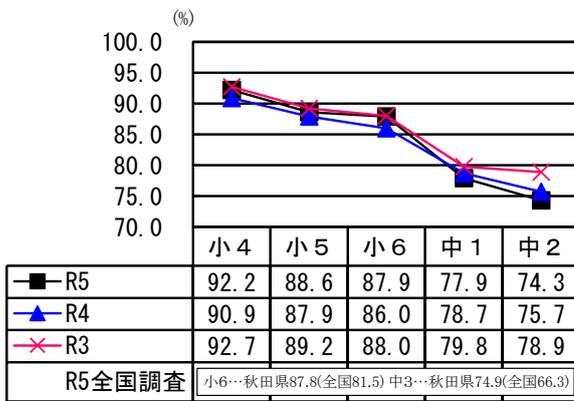
[2-3] 将来の夢や目標をもっている

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

	①	②	③	④
小4	75.6	16.6	5.0	2.9
小5	69.0	19.6	7.1	4.2
小6	64.7	23.2	7.7	4.4
中1	49.0	28.9	14.3	7.7
中2	44.7	29.6	18.4	7.3



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

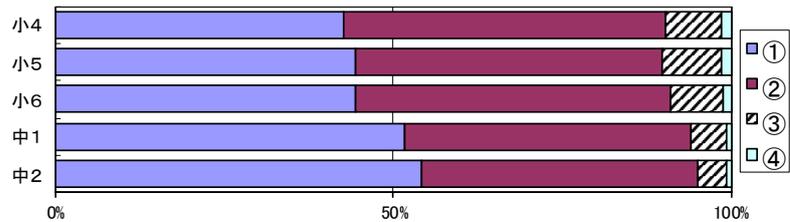


肯定的な回答の割合が、学年が上がるに従って減少しており、中学校においては、この3年間で最も低い数値となっている。各学校では、現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度を育むことができるよう、児童生徒の発達の段階に応じて学級活動や職場体験活動等の内容を一層工夫していく必要がある。

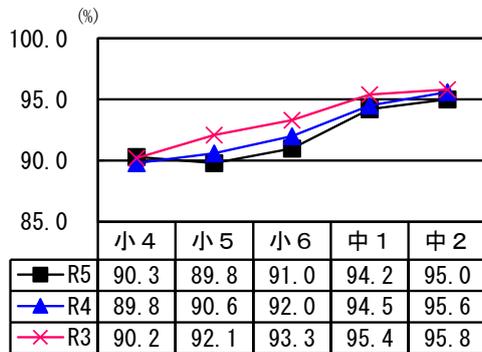
[2-4] 学校のきまりを守っている

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

	①	②	③	④
小4	42.8	47.5	8.5	1.3
小5	44.4	45.4	8.7	1.5
小6	44.5	46.5	7.9	1.1
中1	51.8	42.4	5.3	0.6
中2	54.2	40.8	4.2	0.7



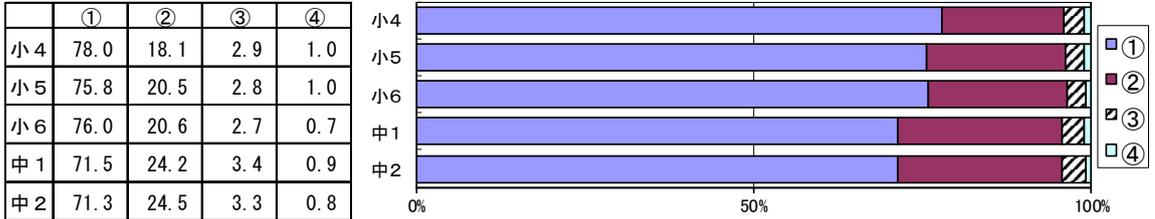
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



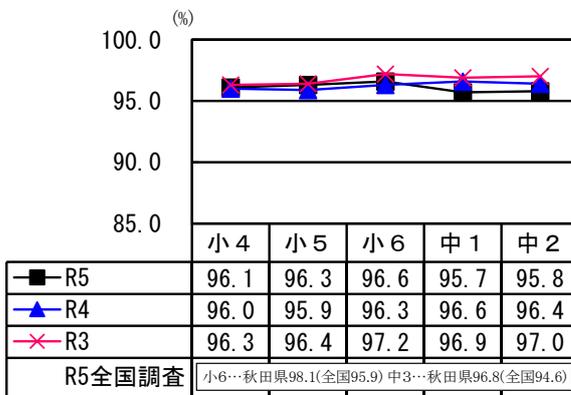
肯定的な回答の割合が、小学校では89%以上、中学校では94%以上となっている。学校における集団生活の様々な場面で、児童生徒の規範意識の醸成につながる取組や働き掛けが行われていることがうかがえる。

[2-5] 人の役に立つ人間になりたいと思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



肯定的な回答の割合が、全ての学年で95%以上という高い状況である。

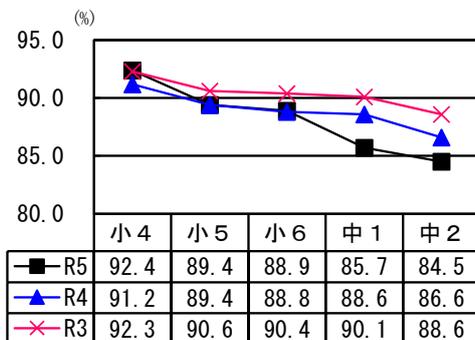
各学校では、キャリア教育や道徳教育等の取組を通して、児童生徒一人一人が活躍したり、他者から認められたりする場を設けるなどして、自己有用感を高めることができるよう、教育活動を工夫していることがうかがえる。

[2-6] 地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



肯定的な回答の割合が、小学校では88%以上、中学校では84%以上である。

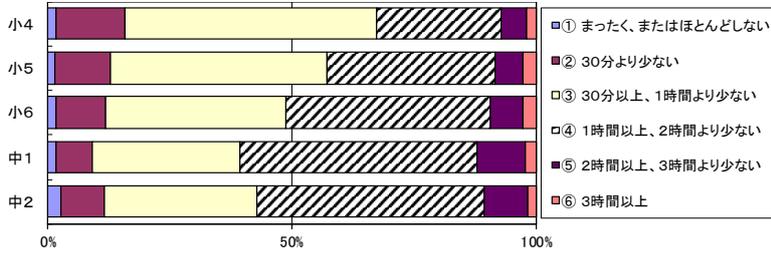
各学校の特色を生かしたふるさと教育やキャリア教育等の取組が、児童生徒の地域に対する愛着を育み、地域社会に貢献しようとする意欲の高まりにつながっていることがうかがえる。

⑤ 家庭学習について

[グラフ等の見方]

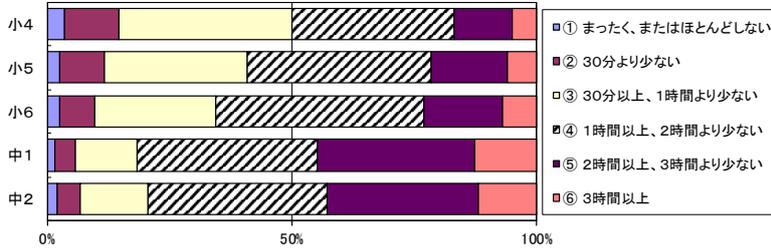
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

学校がある日の勉強時間



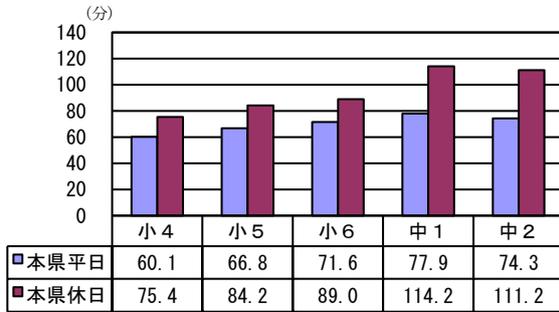
	①	②	③	④	⑤	⑥
小4	1.9	13.9	51.6	25.5	5.1	2.0
小5	1.5	11.5	44.2	34.6	5.7	2.6
小6	1.9	10.0	36.8	41.9	6.6	2.8
中1	1.9	7.4	30.2	48.4	10.0	2.2
中2	2.9	8.8	31.1	46.6	9.0	1.7

土曜日や日曜日の勉強時間

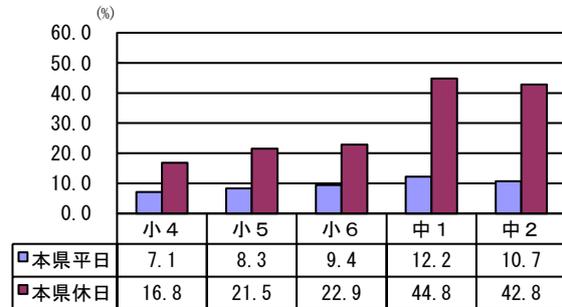


	①	②	③	④	⑤	⑥
小4	3.6	11.2	35.2	33.1	12.0	4.8
小5	2.6	9.1	29.1	37.6	15.5	6.0
小6	2.5	7.3	24.7	42.5	16.0	6.9
中1	1.7	4.0	12.6	36.9	32.3	12.5
中2	2.2	4.7	13.7	36.7	30.9	11.9

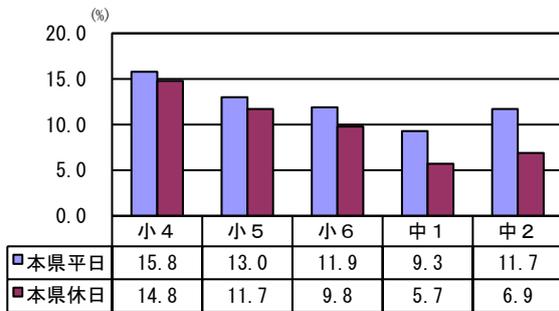
家庭学習の平均時間



2時間以上の割合



全くしない又は30分未満の割合



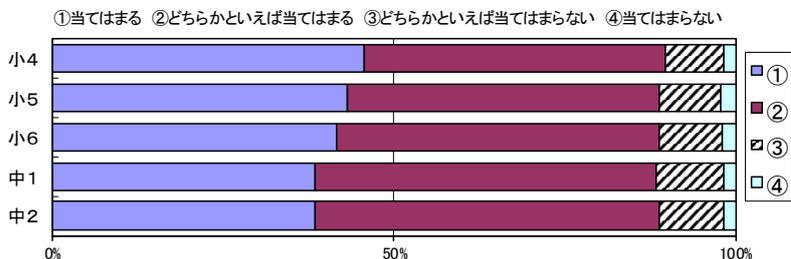
小・中学校とも、平日より休日の勉強時間が長いこと、小学校より中学校の方が家庭学習の平均時間が長いことなど、全体的には昨年度までと同様の傾向である。

⑥ 授業について

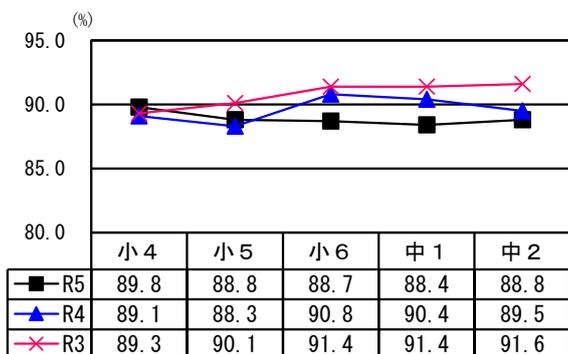
[グラフ等の見方]
 表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
 折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

[4-1] ふだんの授業では、授業の目標（めあて・ねらい）を意識して学習に取り組んでいると思う

	①	②	③	④
小4	45.6	44.2	8.4	1.8
小5	43.1	45.7	9.0	2.2
小6	41.5	47.2	9.2	2.0
中1	38.4	50.0	9.9	1.7
中2	38.5	50.3	9.5	1.7



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

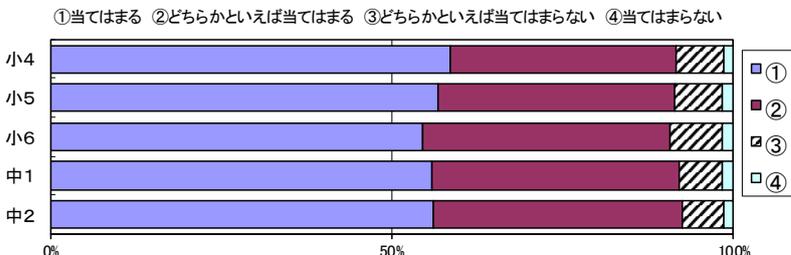


全ての学年で、肯定的な回答の割合が88%以上である。

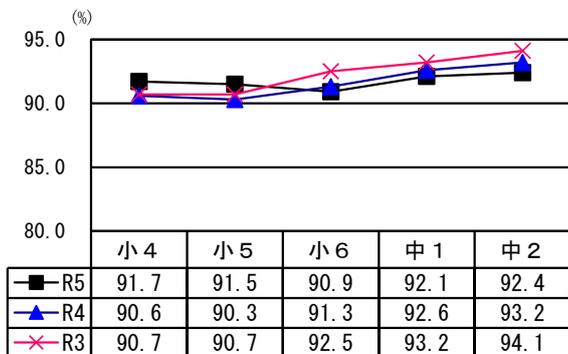
各学校においては、児童生徒に学習の見通しをもたせるための手立てを工夫するなどして、主体的に学習活動に取り組むことができるようにしている様子が見える。

[4-2] ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動に進んで取り組んでいると思う

	①	②	③	④
小4	58.6	33.1	6.9	1.4
小5	56.8	34.7	7.0	1.6
小6	54.5	36.4	7.5	1.6
中1	56.0	36.1	6.4	1.5
中2	56.1	36.3	6.1	1.4



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

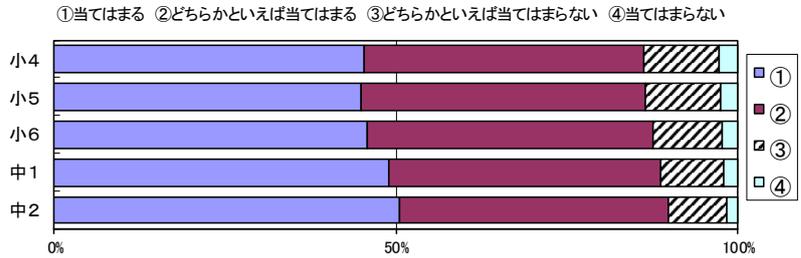


全ての学年で、肯定的な回答の割合が90%以上である。

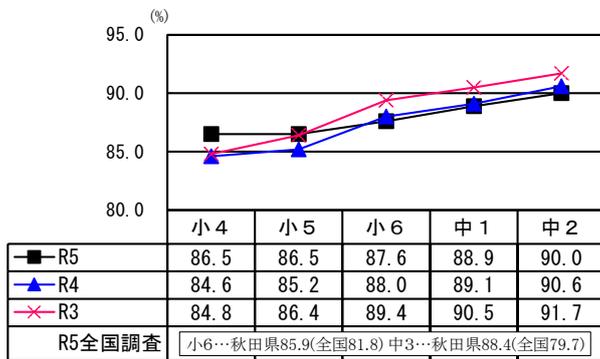
各学校においては、話し合う目的を明確にすることで、児童生徒が意欲的に話し合う活動に取り組むことができるようにしている様子が見える。

[4-3] ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う

	①	②	③	④
小4	45.5	41.0	10.9	2.7
小5	44.8	41.7	11.0	2.5
小6	45.7	41.9	10.3	2.1
中1	49.0	39.9	9.2	1.9
中2	50.5	39.5	8.5	1.5



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

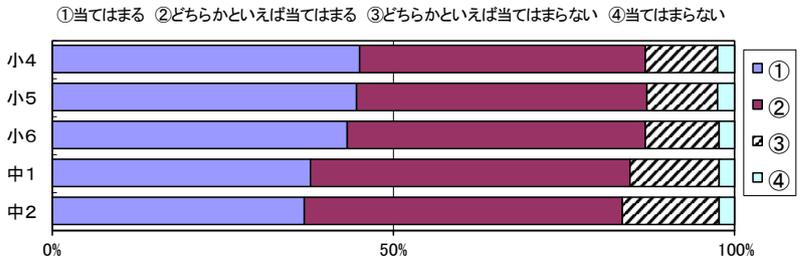


全ての学年で、肯定的な回答の割合が86%以上である。

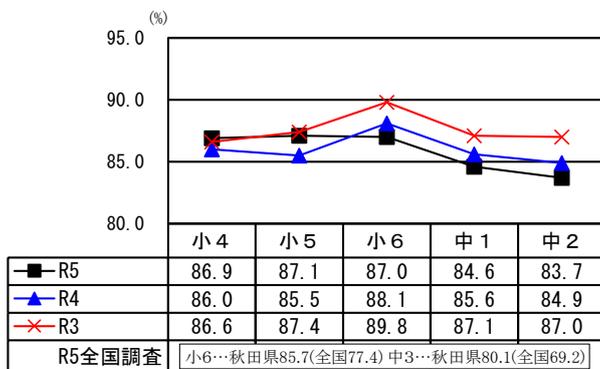
各学校においては、他者の多様な考えに触れることが、自分の考えを広げたり深めたりする上で役立つことを児童生徒が自覚できるよう、各教科等の特質に応じて、話し合う場面を適切に設定していることがうかがえる。

[4-4] ふだんの授業では、学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると思う

	①	②	③	④
小4	45.1	41.8	10.5	2.5
小5	44.7	42.4	10.4	2.5
小6	43.3	43.7	10.7	2.3
中1	37.8	46.8	13.1	2.3
中2	37.0	46.7	14.1	2.3



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



全ての学年で、肯定的な回答の割合が83%以上である。

各学校においては、教師が児童生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、児童生徒が学習したことの意義や価値を実感できるようにするなど、自らの学習を振り返って次の学習につなげることができるようにしている様子がうかがえる。

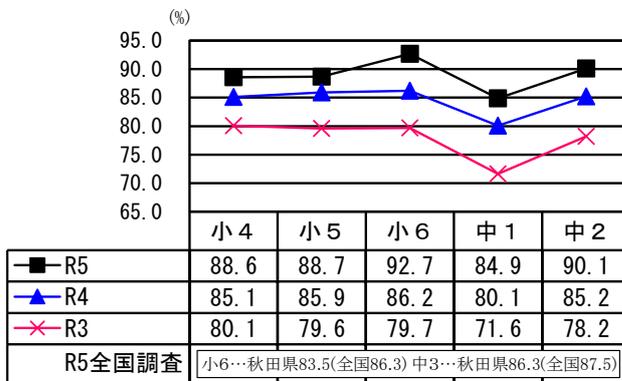
⑦ ICT活用の状況について

[グラフ等の見方]
 表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
 折れ線グラフ……「ほぼ毎日」「週1回以上」を
 合わせた割合の経年比較

[5-1] ふだんの授業では、コンピュータなどのICT機器をどのくらい使っていますか

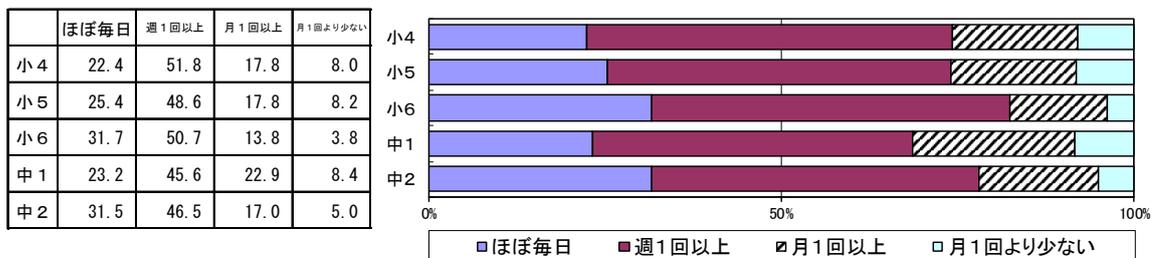


「ほぼ毎日」「週1回以上」の割合

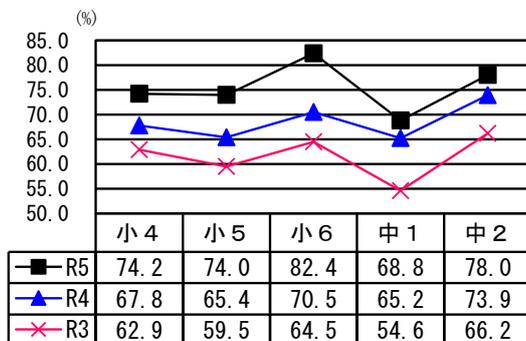


普段の授業で、コンピュータなどのICT機器を週1回以上使用していると回答した割合は、小学校では88%以上、中学校では84%以上であり、全ての学年で昨年度よりも高くなっている。

[5-2] あなたは、学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どのくらい使っていますか



「ほぼ毎日」「週1回以上」の割合

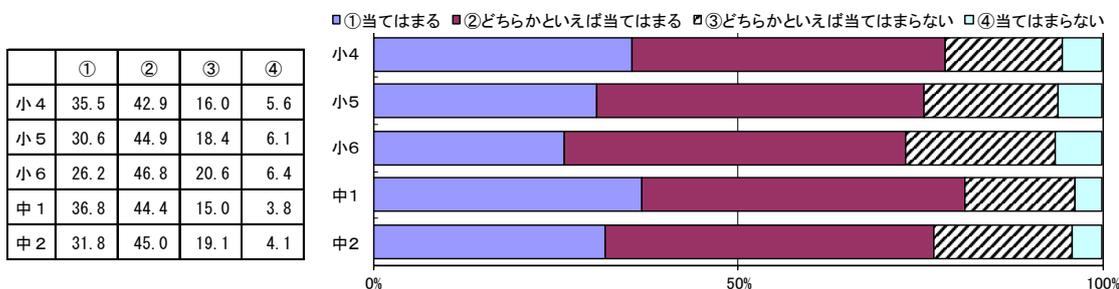


学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、週1回以上使用していると回答した割合は、小学校では74%以上、中学校では68%以上であり、全ての学年で昨年度よりも高くなっている。

⑧ 各教科等の学習に対する意識について

[グラフ等の見方]
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

【国語】質問：国語の勉強は好きだ

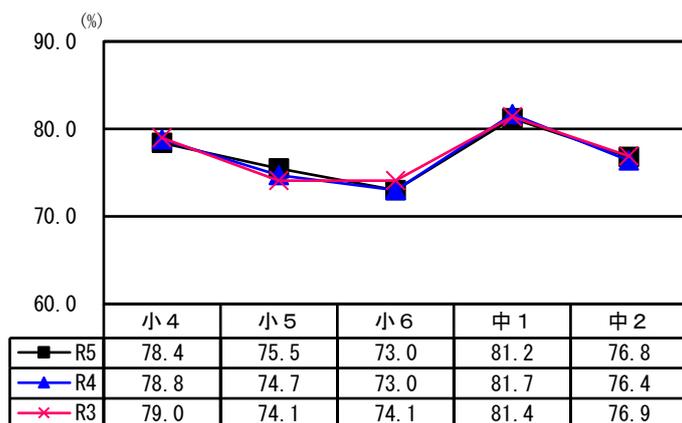


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

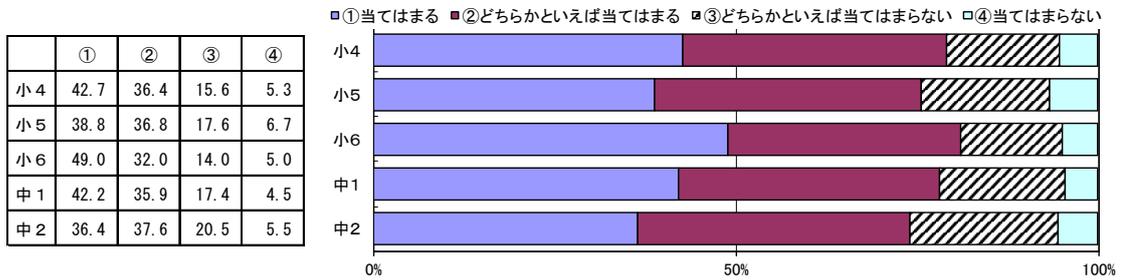
		小4	小5	小6	中1	中2
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	17.8%	18.8%	14.8%	18.6%	18.0%
	② 分かりやすい	15.0%	12.4%	10.9%	17.2%	15.5%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	11.0%	13.8%	17.5%	13.1%	13.9%
	④ 生活の中で役立つ	8.4%	8.1%	9.0%	7.5%	7.1%
	⑤ 考えるのが楽しい	15.7%	12.6%	11.0%	13.8%	11.0%
	⑥ 得意	7.4%	6.7%	6.4%	7.5%	7.6%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	3.2%	4.8%	6.5%	5.8%	6.7%
	⑧ 分かりにくい	3.9%	3.8%	3.4%	2.2%	3.2%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.3%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%
	⑪ 考えるのがめんどろ	2.6%	3.1%	3.6%	2.3%	2.5%
	⑫ 不得意	10.3%	11.3%	12.6%	7.5%	9.4%
	⑬ その他	4.4%	4.4%	4.1%	4.2%	4.6%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では73%以上、中学校では76%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、全ての学年において「内容に興味がある」の割合が高い。また、小・中学校とも、「将来、社会に出たときに役立つ」の割合は学年が上がるに従って増加している。一方、小・中学校とも、「不得意」の割合は学年が上がるに従って増加している。

【社会】質問：社会の勉強は好きだ

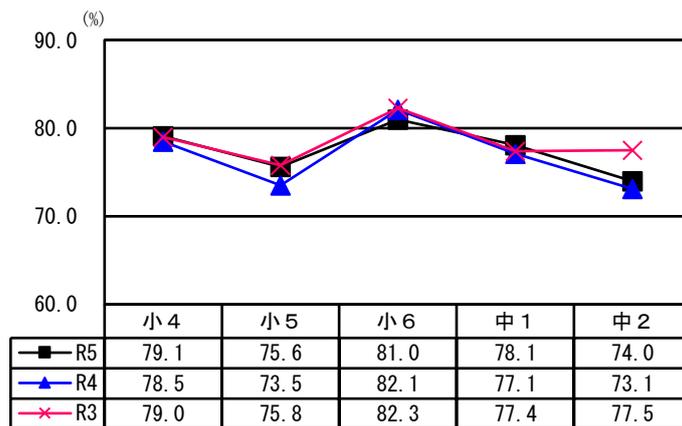


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

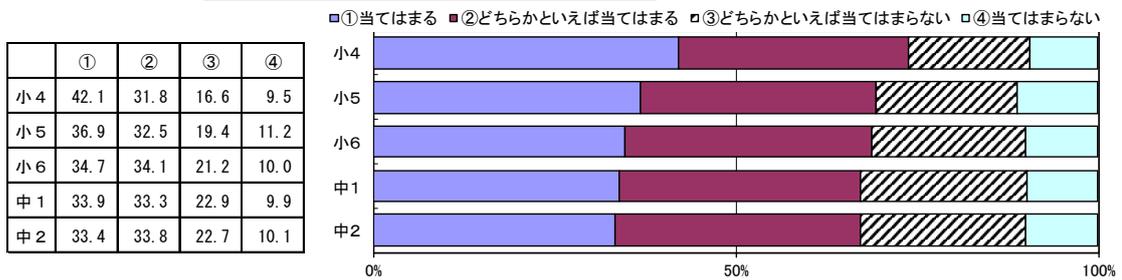
		小4	小5	小6	中1	中2
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	17.6%	17.8%	39.1%	33.7%	32.1%
	② 分かりやすい	10.2%	9.1%	7.2%	11.5%	11.0%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	28.2%	26.6%	13.3%	10.9%	10.6%
	④ 生活の中で役立つ	8.2%	6.4%	2.2%	2.6%	2.8%
	⑤ 考えるのが楽しい	7.7%	8.8%	12.1%	11.4%	9.4%
	⑥ 得意	5.0%	4.9%	5.3%	5.5%	5.5%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	4.1%	4.5%	3.8%	4.5%	5.7%
	⑧ 分かりにくい	4.7%	5.0%	3.7%	3.2%	4.0%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立つ	0.3%	0.3%	0.6%	0.9%	1.3%
	⑩ 生活の中で役立つ	0.3%	0.2%	0.4%	0.6%	1.0%
	⑪ 考えるのがめんどろ	1.9%	2.9%	1.5%	1.0%	1.2%
	⑫ 不得意	9.0%	10.4%	8.2%	10.9%	11.9%
	⑬ その他	3.0%	3.1%	2.6%	3.4%	3.5%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では75%以上、中学校では74%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、小学校第4学年と第5学年では、「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が最も高く、小学校第6学年及び中学校においては、「内容に興味がある」の割合が最も高くなっている。一方、全ての学年において「不得意」の割合が「得意」の割合を上回っている。

【算数、数学】質問：算数（数学）の勉強は好きだ

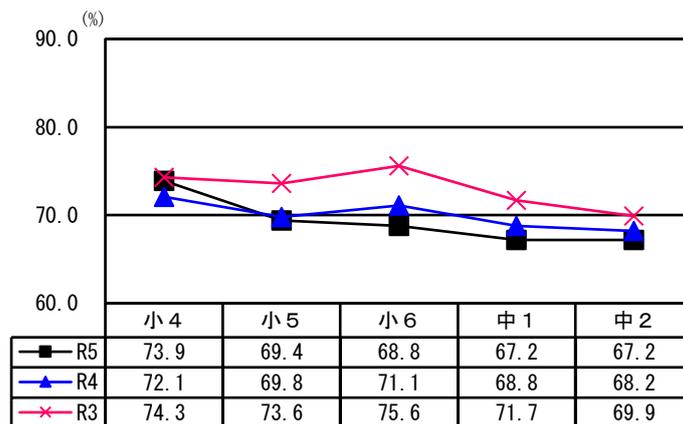


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

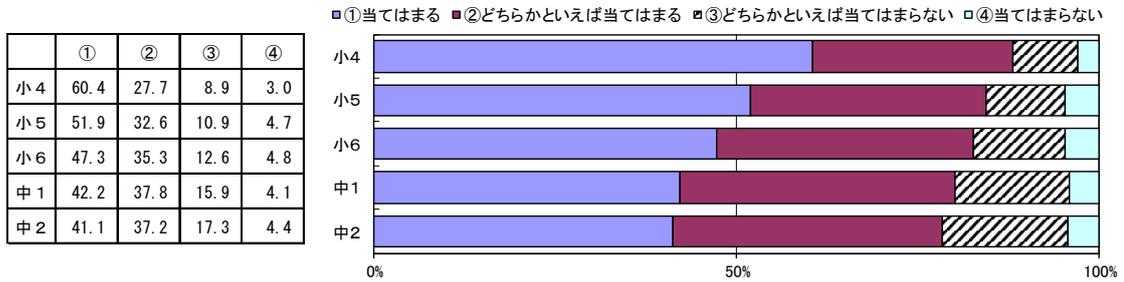
		小4	小5	小6	中1	中2
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	8.4%	7.7%	6.9%	7.8%	8.2%
	② 分かりやすい	10.7%	9.4%	8.0%	10.5%	9.6%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	12.1%	13.5%	16.9%	14.6%	11.2%
	④ 生活の中で役立つ	12.1%	9.8%	10.1%	7.4%	6.1%
	⑤ 考えるのが楽しい	14.1%	16.0%	15.3%	16.9%	20.8%
	⑥ 得意	14.6%	11.1%	10.2%	8.1%	9.3%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	1.8%	2.4%	3.0%	2.8%	3.0%
	⑧ 分かりにくい	5.9%	5.9%	5.1%	5.8%	6.1%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立つ	0.2%	0.2%	0.3%	0.6%	1.0%
	⑩ 生活の中で役立つ	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%	0.4%
	⑪ 考えるのがめんどろ	3.9%	5.1%	5.1%	4.4%	4.2%
	⑫ 不得意	13.1%	15.8%	16.7%	17.8%	17.4%
	⑬ その他	3.1%	3.0%	2.5%	3.0%	2.6%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では68%以上、中学校では67%以上が肯定的な回答をしているが、小学校第5学年と第6学年及び中学校においては、この3年間で最も低い数値となっている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも、「将来、社会に出たときに役立つ」「考えるのが楽しい」の割合が高い。一方、「得意」の割合は学年が上がるに従って減少しており、小学校第5学年と第6学年及び中学校においては、「不得意」の割合が「得意」の割合を上回っている。

【理科】質問：理科の勉強は好きだ

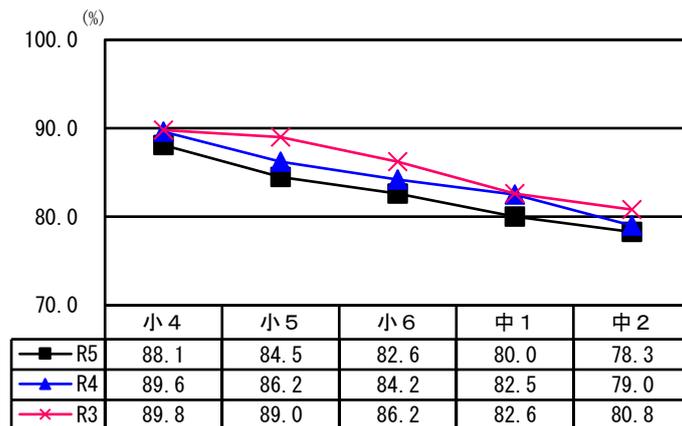


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

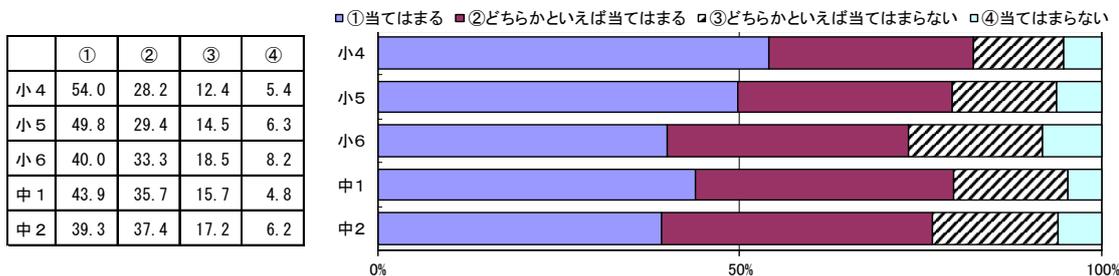
		小4	小5	小6	中1	中2
回答した理由 「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	26.2%	30.7%	27.5%	29.5%	31.1%
	② 分かりやすい	10.4%	9.6%	10.5%	8.8%	9.0%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	4.3%	4.3%	5.0%	4.1%	4.5%
	④ 生活の中で役立つ	10.3%	6.6%	7.6%	9.0%	7.2%
	⑤ 考えるのが楽しい	22.0%	21.4%	19.0%	19.1%	17.6%
	⑥ 得意	12.0%	8.4%	9.7%	6.4%	6.5%
回答した理由 「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	1.7%	3.1%	4.0%	3.4%	3.6%
	⑧ 分かりにくい	2.4%	2.7%	3.4%	4.2%	4.3%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.3%	0.8%	1.0%	1.0%	1.3%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.4%	0.5%	0.4%	0.7%	0.4%
	⑪ 考えるのがめんどろ	1.2%	1.9%	1.6%	1.3%	1.7%
	⑫ 不得意	4.7%	5.6%	6.0%	8.7%	9.6%
	⑬ その他	4.1%	4.5%	4.3%	3.8%	3.3%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では82%以上、中学校では78%以上が肯定的な回答をしているが、全ての学年において、この3年間で最も低い数値となっている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも、「内容に興味がある」「考えるのが楽しい」の割合が高い。一方、昨年度と同様に、「不得意」と回答した割合が学年が上がるに従って増加しており、中学校では「不得意」の割合が「得意」の割合を上回っている。

【音楽】質問：音楽の勉強は好きだ

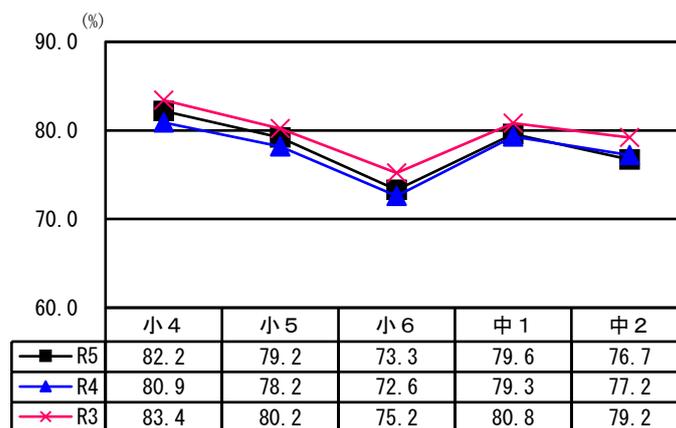


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

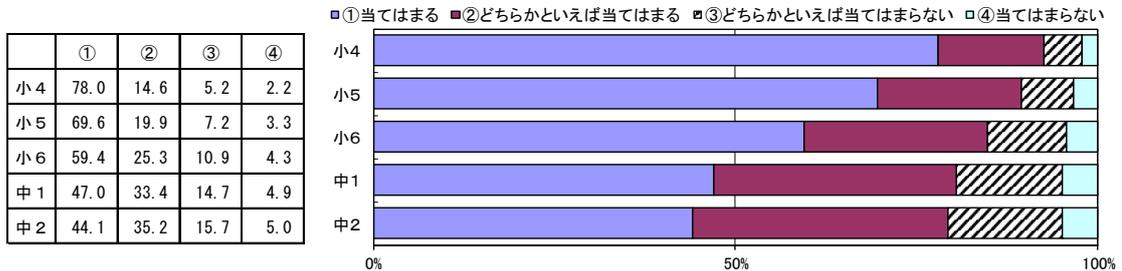
		小4	小5	小6	中1	中2
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	21.6%	24.2%	23.0%	31.5%	33.0%
	② 分かりやすい	13.3%	10.7%	10.8%	10.5%	8.7%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	1.9%	1.7%	1.8%	1.5%	1.7%
	④ 生活の中で役立つ	2.8%	2.5%	1.9%	2.0%	2.0%
	⑤ 考えるのが楽しい	10.4%	11.7%	10.0%	12.8%	11.4%
	⑥ 得意	23.6%	20.3%	16.6%	12.9%	11.3%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	2.6%	3.9%	4.9%	5.5%	7.1%
	⑧ 分かりにくい	2.1%	2.0%	2.0%	1.0%	0.9%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	1.2%	1.9%	3.5%	2.6%	3.1%
	⑩ 生活の中で役立たない	1.1%	1.2%	1.8%	1.5%	1.7%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.8%	0.7%	0.6%	0.5%	0.8%
	⑫ 不得意	9.1%	9.7%	13.1%	8.5%	8.3%
	⑬ その他	9.5%	9.5%	10.0%	9.4%	9.9%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では73%以上、中学校では76%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも、「内容に興味がある」の割合が高くなっている。小学校では「得意」の割合が高くなっている一方で、学年が上がるに従って「不得意」の割合が増加している。

【図画工作、美術】質問：図工（美術）の勉強は好きだ

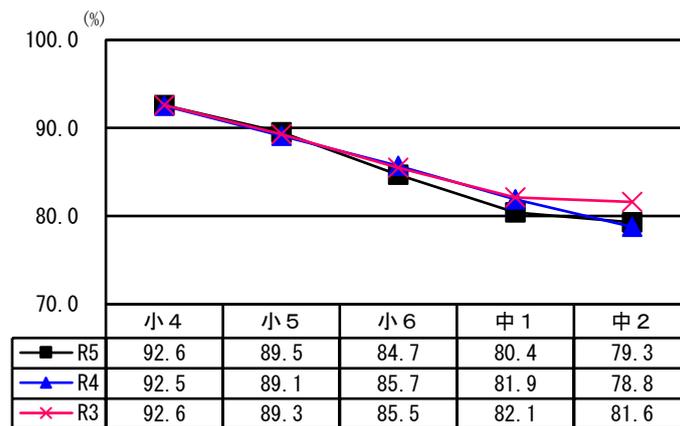


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

		小4	小5	小6	中1	中2
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	22.2%	25.2%	24.0%	27.0%	28.8%
	② 分かりやすい	4.8%	3.8%	3.7%	5.8%	4.6%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	2.2%	1.7%	1.7%	1.3%	1.8%
	④ 生活の中で役立つ	3.5%	2.6%	2.6%	2.2%	2.0%
	⑤ 考えるのが楽しい	26.5%	30.0%	28.5%	25.1%	25.0%
	⑥ 得意	28.6%	21.7%	19.4%	13.1%	11.2%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	0.8%	1.5%	2.0%	3.7%	4.7%
	⑧ 分かりにくい	0.4%	0.3%	0.3%	0.5%	0.5%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.4%	0.7%	1.2%	2.3%	2.0%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.6%	0.5%	1.1%	0.9%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.5%	0.8%	1.3%	0.8%	1.1%
	⑫ 不得意	4.5%	6.0%	9.3%	10.1%	10.6%
	⑬ その他	5.4%	5.1%	5.6%	6.8%	6.9%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では84%以上、中学校では79%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも、「内容に興味がある」「考えるのが楽しい」の割合が高い。また、小学校では「得意」の割合も高くなっている。一方、昨年度と同様に、学年が上がるに従って「不得意」の割合が増加している。

【体育、保健体育】質問：体育（保体）の勉強は好きだ

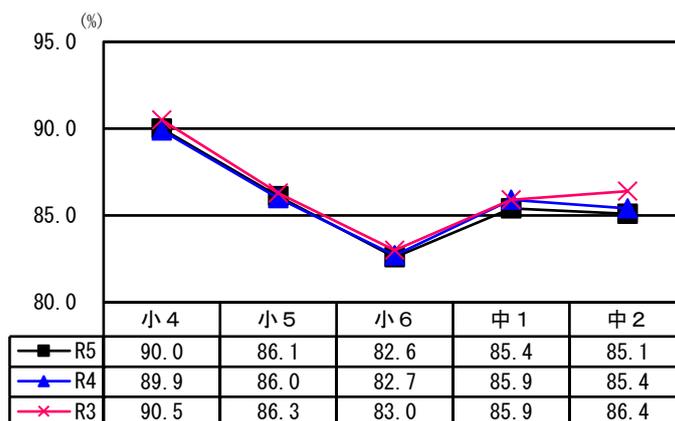


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

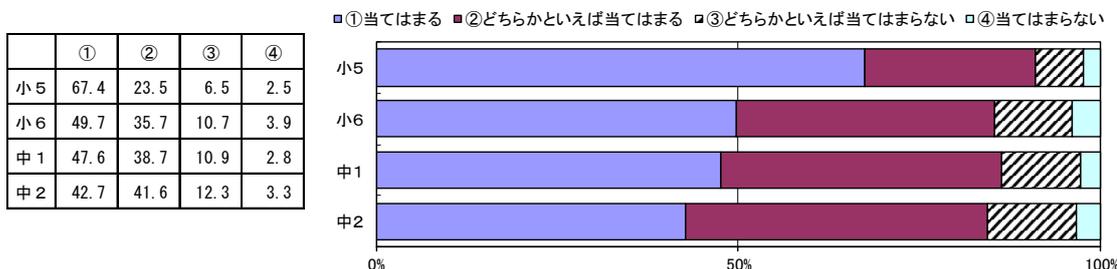
		小4	小5	小6	中1	中2
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	20.1%	23.1%	22.9%	24.7%	28.3%
	② 分かりやすい	6.0%	4.1%	4.3%	4.9%	4.3%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	4.5%	5.1%	4.4%	4.9%	4.6%
	④ 生活の中で役立つ	8.1%	6.0%	5.5%	7.4%	6.7%
	⑤ 考えるのが楽しい	3.4%	4.2%	3.9%	5.4%	6.2%
	⑥ 得意	39.7%	35.0%	33.1%	30.2%	27.5%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	1.1%	1.3%	1.5%	1.7%	1.7%
	⑧ 分かりにくい	0.3%	0.2%	0.3%	0.3%	0.2%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.4%	0.5%	0.8%	0.5%	0.6%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%
	⑫ 不得意	7.4%	10.6%	13.5%	10.7%	11.4%
	⑬ その他	8.8%	9.2%	9.4%	8.9%	7.9%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では82%以上、中学校では85%以上が肯定的な回答をしており、全体的に高い数値を示している。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「内容に興味がある」「得意」の割合が高い。一方、小・中学校とも学年が上がるに従って「不得意」の割合が増加している。

【家庭、技術・家庭】質問：家庭（技・家）の勉強は好きだ

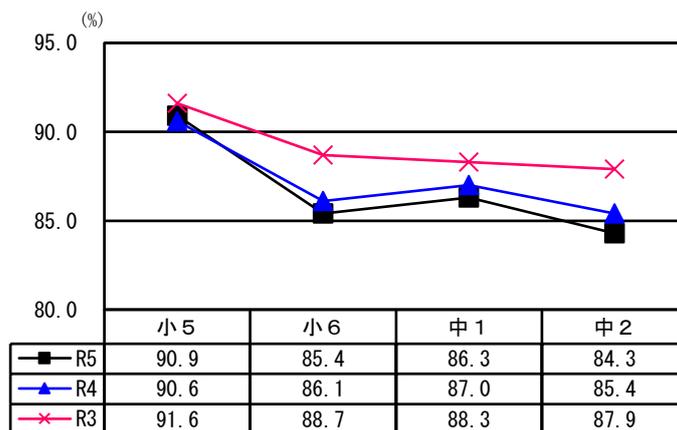


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

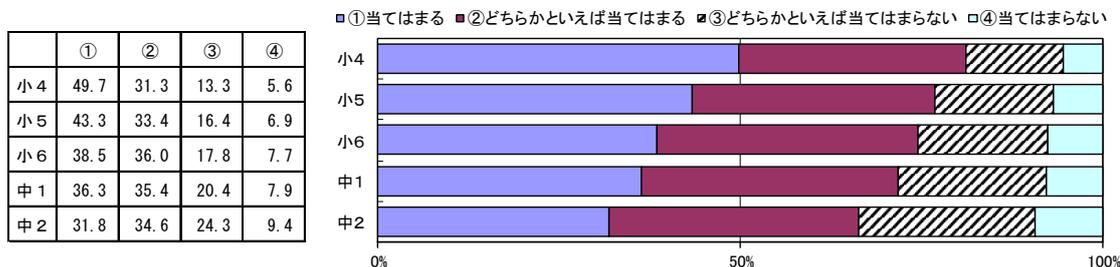
		小5	小6	中1	中2
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	18.5%	14.4%	21.3%	20.3%
	② 分かりやすい	4.2%	4.5%	4.5%	4.8%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	18.3%	20.7%	17.0%	18.5%
	④ 生活の中で役立つ	28.2%	28.3%	22.3%	21.6%
	⑤ 考えるのが楽しい	5.2%	4.0%	9.4%	9.3%
	⑥ 得意	13.6%	11.1%	8.7%	6.6%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	1.5%	3.3%	4.0%	5.4%
	⑧ 分かりにくい	1.4%	1.2%	1.0%	1.3%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立つ	0.1%	0.4%	0.4%	0.4%
	⑩ 生活の中で役立つ	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.7%	0.9%	1.2%	1.3%
	⑫ 不得意	4.8%	8.0%	6.4%	6.2%
	⑬ その他	3.5%	3.1%	3.7%	4.1%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校で85%以上、中学校で84%以上が肯定的な回答をしており、全体的に高い数値を示しているものの、小学校第6学年及び中学校においては、この3年間で最も低い数値となっている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも、「内容に興味がある」「将来、社会に出たときに役立つ」「生活の中で役立つ」の割合が高い。

【外国語活動、外国語】質問：外国語活動（外国語）の勉強は好きだ

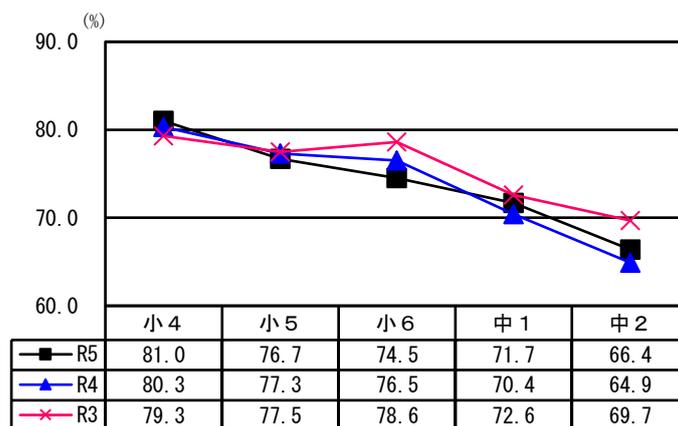


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

		小4	小5	小6	中1	中2
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	12.2%	11.5%	10.6%	9.8%	10.0%
	② 分かりやすい	10.3%	7.4%	6.9%	8.5%	6.6%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	23.2%	28.3%	31.5%	30.0%	29.8%
	④ 生活の中で役立つ	8.0%	5.6%	5.3%	5.2%	4.8%
	⑤ 考えるのが楽しい	13.7%	10.9%	8.0%	6.6%	5.6%
	⑥ 得意	9.2%	9.2%	8.9%	8.5%	7.0%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	2.3%	3.4%	4.3%	3.2%	3.5%
	⑧ 分かりにくい	5.2%	5.7%	6.0%	5.4%	5.6%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立つ	0.3%	0.5%	0.6%	0.8%	0.5%
	⑩ 生活の中で役立つ	0.5%	0.6%	0.5%	0.6%	0.6%
	⑪ 考えるのがめんどろ	1.2%	1.6%	1.3%	1.6%	1.9%
	⑫ 不得意	8.3%	10.4%	11.3%	15.9%	20.7%
	⑬ その他	5.6%	4.9%	4.8%	3.8%	3.4%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



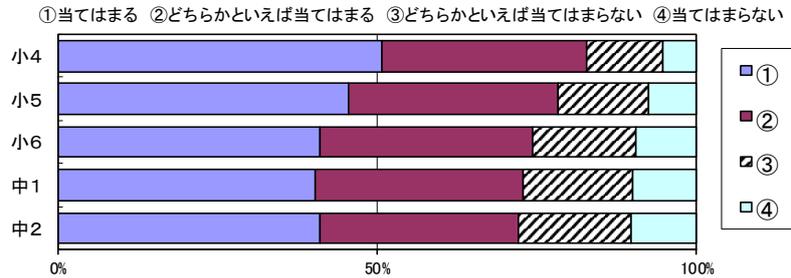
小学校は74%以上、中学校は66%以上が肯定的な回答をしているが、小学校第5学年と第6学年においては、この3年間で最も低い数値となっている。肯定的な回答の理由として、全ての学年において「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が最も高くなっている。一方、学年が上がるに従って、「不得意」の割合が増加している。

⑨ 読書について

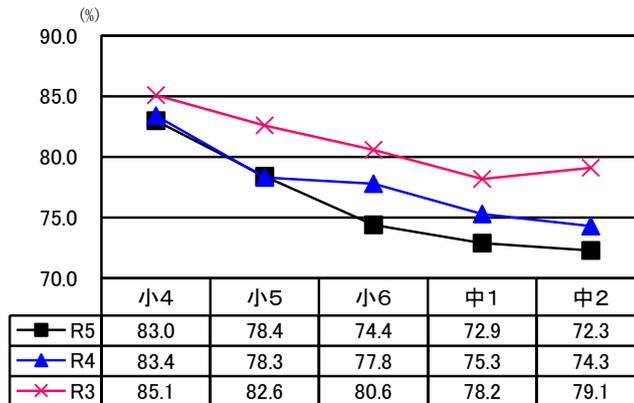
[グラフ等の見方]
 表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
 折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

[読書は好きだ]

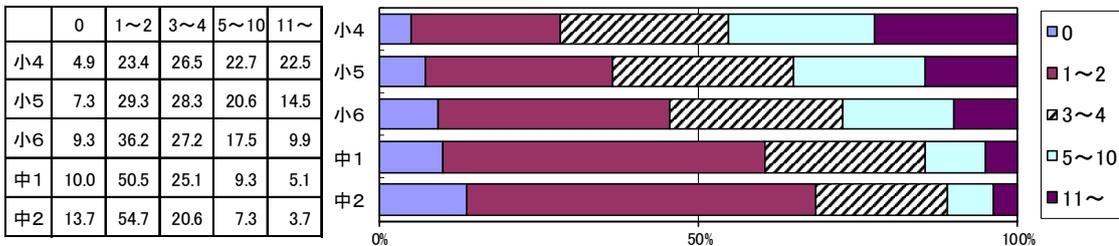
	①	②	③	④
小4	50.7	32.3	11.8	5.3
小5	45.6	32.8	14.2	7.4
小6	40.9	33.5	16.2	9.3
中1	40.2	32.7	17.3	9.8
中2	41.0	31.3	17.6	10.2



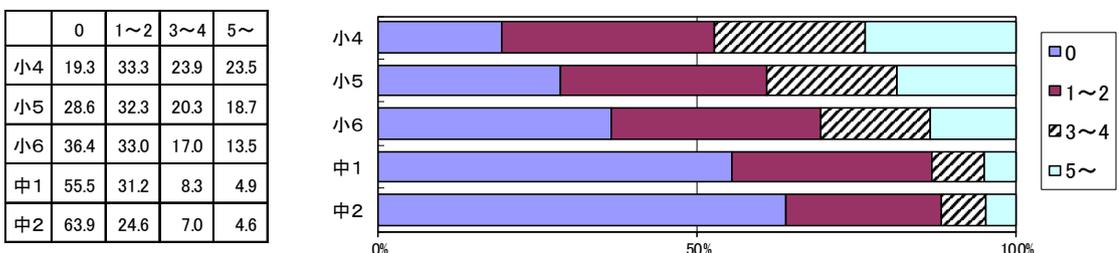
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



[1か月に何冊くらい本を読むか(教科書・学習参考書・漫画・雑誌や付録を除く)]



[1か月に何回くらい図書館を利用するか]



全ての学年において、児童生徒の72%以上が読書は好きだと回答している。また、全ての学年の児童生徒の86%以上が1か月に1冊以上の本を読んでおり、小学校では、1か月に5冊以上の本を読んでいる児童が27%以上いる。図書館等の利用回数について、月に1回以上利用している児童生徒は、小学校ではおよそ7割程度、中学校では4割程度である。

4 結果と考察

(1) 国語

(2) 社会

(3) 算数、数学

(4) 理科

(5) 英語

4 結果と考察 (1)国語

令和5年度秋田県学習状況調査 小学校第4学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
				知識 ・ 技能	思考 ・ 判断 ・ 表現
第 4 学 年	知 識 及 び 技 能	(1)エ (3・4年)	1)	○	
			2)	○	
		(1)カ (3・4年)	3)	○	
			4)	○	
	(3)イ (3・4年)	5)	○		
		6)	○		
学 年	思 考 力 、 判 断 力 、 表 現 力 等	B (1)ウ (3・4年)	12)		○
			C (1)イ (3・4年)	7)	
		8)			○
		9)			○
		C (1)エ (3・4年)	10)		○
11)			○		

小学校 4年 国語 小問別通過率と設定通過率

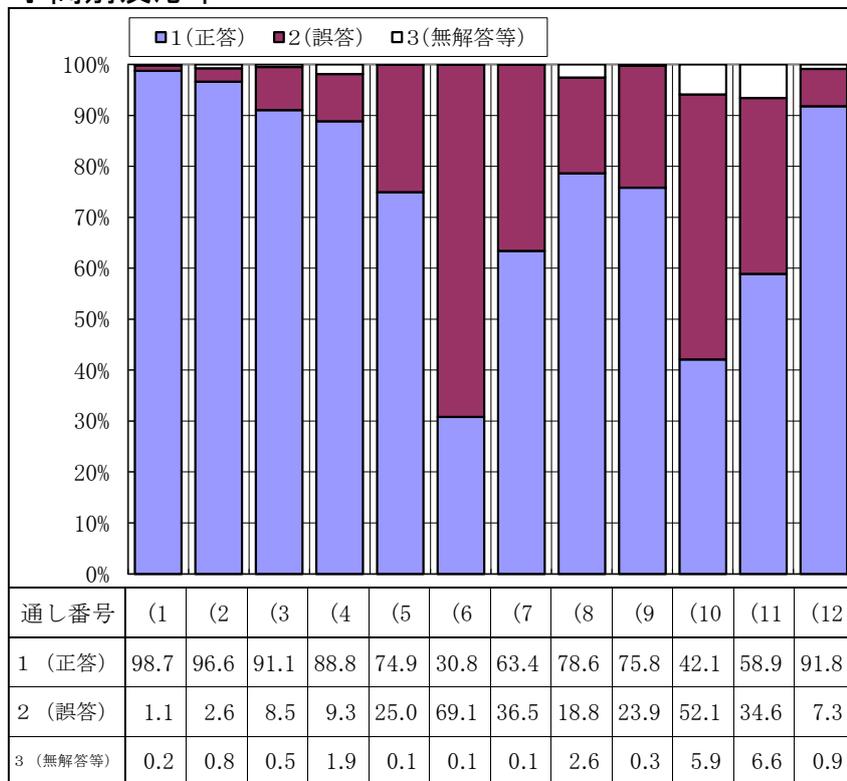
平均通過率 74.3%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字を読む (しずか)	98.7	90.0	
(2)	漢字を読む (けんこう)	96.6	90.0	
(3)	漢字を書く (世界)	91.1	80.0	
(4)	漢字を書く (追いかける)	88.8	80.0	
(5)	修飾と被修飾との関係	74.9	70.0	
(6)	ことわざ	30.8	60.0	
(7)	叙述を基に登場人物の心情を捉える	63.4	70.0	
(8)	叙述を基に登場人物の心情を捉える	78.6	70.0	
(9)	叙述を基に登場人物の心情を捉える	75.8	70.0	
(10)	登場人物の心情の変化を捉える	42.1	60.0	
(11)	登場人物の心情の変化を捉える	58.9	60.0	
(12)	好きな季節とその理由について書く	91.8	80.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 4年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (177校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	平均通過率
100%	119	77	52	24	7	1	4	14	9		5	57	
90%~100%	56	86	66	53	8	2	1	15	7		1	66	1
80%~90%	2	12	37	74	47	3	16	55	47	3	11	36	31
70%~80%			13	19	59	2	34	50	75	6	25	11	105
60%~70%			5	6	39	4	54	31	26	18	41	5	38
50%~60%			3	1	9	13	49	9	11	33	49	1	1
40%~50%					6	10	16		1	37	32		1
30%~40%					2	33	1	1		44	9		
20%~30%						61	2			25	2		
10%~20%						33				7			
0%~10%		2	1			15		2	1	4	2	1	

小学校4年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の 分類	内 容 別			計
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		
		書くこと	読むこと	
+10% より高い	1	1	0	2
±10% の範囲内	4	0	4	8
-10% より低い	1	0	1	2
計	6	1	5	12

2 考察

(1) 全体について

12問中10問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

① [知識及び技能] では、漢字を読むことや書くこと、修飾と被修飾の関係を理解することについて、指導の成果が見られる。

② [思考力、判断力、表現力等] の「書くこと」では、自分の考えと理由や事例との関係を明確にして書くことについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

① [知識及び技能] では、ことわざの意味を理解することについて、課題が見られる。

② [思考力、判断力、表現力等] の「読むこと」では、登場人物の気持ちの変化を場面の移り変わり結び付けて捉えることについて、課題が見られる。

3 今後の指導

〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域の学習との関連を図りながら、ことわざの意味についての理解を深めることができるように指導の手立てを工夫する。

- ことわざの意味について、単に知識として身に付けさせるだけでなく、〔思考力、判断力、表現力等〕の学習との関連を図りながら指導することで、文章を書くことに生かしたり日常生活での会話に生かしたりすることができるものであることを実感させることが大切である。例えば、「書くこと」の学習との関連を図り、児童が自分の体験を説明するために適切なことわざを選んで引用し、表現の効果について考える学習活動を通して、ことわざの意味や使い方等について理解を促すことが考えられる。

〔参考 通し番号 6〕

4 次の意味を表すことわざを、あとのア～エから一つ選んで、□の中に記号を書きなさい。

ア さるも木から落ちる
イ たなからぼたもち
ウ 白羽の矢が立つ
エ 笑う門には福来たる

・ 思いがけない幸運がめぐってくること。

登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に捉えることができるように指導の手立てを工夫する。

- 場面の移り変わりとともに描かれる登場人物の気持ちの変化について、複数の場面の叙述を結び付けて具体的に思い描くようにすることが大切である。その際、どの叙述からどのような気持ちを想像したのかを学習シート等に構造的に書き表したり、ICTを活用して気持ちの変化を矢印や色で図示したりすることによって、気持ちの変化を整理できるようにすることが効果的である。
- 登場人物の気持ちの変化について、児童が話したり書いたりして伝え合うとともに、着目した言葉の意味や使い方等について吟味したり、他者の捉え方を参考にして自分の考えを再構築したりするなどの活動を取り入れることにより、児童が多様に想像を広げて読むことにつながる大切である。

〔参考 通し番号 10〕

4 次は、それからよりあとの場面のじんごの気持ちについて話し合っている場面です。るいさんになったつもりで、**A**に入るふさわしい内容を、本文中から十六字でぬき出して書きなさい。ただし、読点(、)も一字に数えます。

〈話し合っている場面は略〉

令和5年度秋田県学習状況調査 小学校第5学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
				知識 ・ 技能	思考 ・ 判断 ・ 表現
第 5 学 年	知 識 及 び 技 能	(1)エ (5・6年)	1)	○	
			2)	○	
			3)	○	
			4)	○	
		(1)カ (3・4年)	5)	○	
		(3)ウ (5・6年)	6)	○	
	(2)イ (3・4年)	7)	○		
	(1)キ (5・6年)	8)	○		
	(3)イ (3・4年)	9)	○		
年	思 考 力 、 判 断 力 、 表 現 力 等	A (1)エ (5・6年)	10)		○
			11)		○
		B (1)ウ (5・6年)	16)		○
		C (1)ア (5・6年)	12)		○
			14)		○
C (1)ウ (5・6年)	15)		○		
		C (1)ウ (5・6年)	13)		○

小学校 5年 国語 小問別通過率と設定通過率

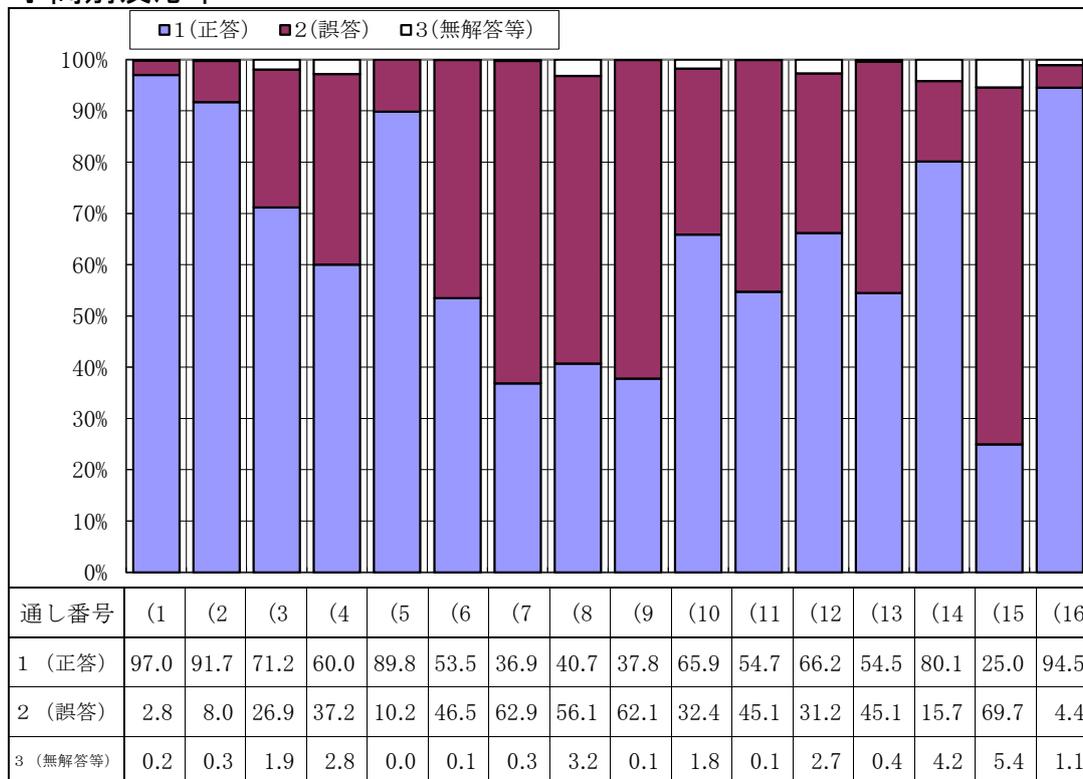
平均通過率 63.7%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字を読む (てんねん)	97.0	80.0	
(2)	漢字を読む (こたえる)	91.7	80.0	
(3)	漢字を書く (巣箱)	71.2	70.0	
(4)	漢字を書く (祝う)	60.0	70.0	
(5)	修飾と被修飾との関係	89.8	80.0	
(6)	漢字の成り立ち	53.5	70.0	
(7)	国語辞典の見出し語の順	36.9	70.0	
(8)	敬語	40.7	60.0	
(9)	ことわざ	37.8	65.0	
(10)	話し手と自分の考えの共通点を捉える	65.9	70.0	
(11)	意図を明確にした質問を考える	54.7	60.0	
(12)	叙述を基に内容を捉える	66.2	70.0	
(13)	段落の役割を捉える	54.5	60.0	
(14)	文章の要旨を捉える	80.1	80.0	
(15)	文章の要旨を捉える	25.0	60.0	
(16)	自分のお気に入りの場所について紹介する文章を書く	94.5	80.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (177校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	平均通過率
100%	85	40	7	6	37	3		4	1	5	2	10	5	16	2	72	
90%~100%	79	77	13	4	69	4		2	1	7		6	1	17	3	75	
80%~90%	12	44	38	20	59	17	2	5	6	28	7	18	4	76	13	23	6
70%~80%	1	12	41	23	9	14	4	8	2	34	17	34	14	47	18	3	33
60%~70%		4	46	43	2	27	8	12	9	49	34	53	41	17	7	2	91
50%~60%			23	43	1	43	23	24	21	42	75	41	59	3	4	2	47
40%~50%			5	25		32	33	31	28	10	25	13	37		3		
30%~40%			2	6		22	49	36	62	2	13	2	12	1	6		
20%~30%				3		11	40	36	28		4		2		10		
10%~20%			1	1		2	16	12	15				1		36		
0%~10%			1	3		2	2	7	4				1		75		

小学校5年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	内 容 別				計
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	
+10%より高い	2	0	1	0	3
±10%の範囲内	3	2	0	3	8
-10%より低い	4	0	0	1	5
計	9	2	1	4	16

2 考察

(1) 全体について

16問中11問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

① [知識及び技能] では、修飾と被修飾との関係を理解することについて、指導の成果が見られる。

② [思考力、判断力、表現力等] の「書くこと」では、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書くことについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

① [知識及び技能] では、国語辞典の見出し語の順を理解することについて、課題が見られる。

② [思考力、判断力、表現力等] の「読むこと」では、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することについて、課題が見られる。

3 今後の指導

理解したり表現したりするために必要な文字や語句について、辞書や事典を利用して調べる活動を取り入れ、辞書等の活用の習慣化を図る。

- ・ 知らなかったり不確かだったりする語句の意味や使い方、事柄等について、国語辞典や漢和辞典、百科事典等を利用して調べる習慣が身に付くよう、国語科の学習だけでなく、他教科の学習においても、辞書等を意図的に活用する場面を設けることが大切である。
- ・ 辞書や事典の使い方を理解し使うことは、情報化社会において必要な情報を収集したり語彙を豊かにしたりするために必要な資質・能力であることを踏まえ、必要なときにはいつでも辞書や事典が児童の手元において使うことができるような環境を整えておくことも大切である。



5 次の四枚のカードを、国語辞典に出てくる言葉の順に上から下へならべ直したとき、上から三番目になるカードはどれですか。そのカードの言葉を [] の中に書きなさい。

〔参考 通し番号7〕

文章全体の構成を正確に捉えた上で、要旨を把握できるようにするための指導の工夫を図る。

- ・ 要旨を把握するとは、「書き手が文章で取り上げている内容の中心となる事柄」や「書き手の考えの中心となる事柄」などを把握することである。要旨を正確に把握するためには、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえた上で、文章全体の構成を捉えることが大切である。
- ・ 指導に当たっては、文章全体の構成を捉えたり要旨を把握したりすることの必要性を感じられるよう、学習活動の目的や価値を明確にすることが大切である。例えば、説明や解説などの文章を比較して読む際、それぞれの文章の要旨を整理することで、共通点や相違点を明らかにして内容を理解することができるよう指導することが考えられる。

4 次の、ゆうさんとまみさんが、本文の内容について話し合っている様子です。これを読んで、 [] に当てはまる内容を、本文中の言葉を用いて二十五字以内で書きなさい。

〔参考 通し番号15〕

〈話し合っている様子は略〉

令和5年度秋田県学習状況調査 小学校第6学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
				知識 ・ 技能	思考 ・ 判断 ・ 表現	
第 6 学 年	知 識 及 び 技 能	(1)エ (5・6年)	・第6学年までに配当されている漢字を正しく読んでい る。	1)	○	
				2)	○	
			・第5学年までに配当されている漢字を正しく書いてい る。	3)	○	
				4)	○	
		(1)ウ (5・6年)	・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるととも に，送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。	5)	○	
		(3)ウ (3・4年)	・漢字が，へんやつくりなどから構成されていることにつ いて理解している。	6)	○	
		(1)カ (5・6年)	・文の中での語句の係り方について理解している。	7)	○	
		(3)イ (3・4年)	・ことわざの意味を理解している。	8)	○	
		(1)キ (5・6年)	・日常よく使われる敬語を理解している。	9)	○	
学 年	思 考 力 、 判 断 力 、 表 現 力 等	A(1)エ (5・6年)	・「話すこと・聞くこと」において，話し手の目的や自分 が聞こうとする意図に応じて，話の内容を捉え，話し手 の考えと比較しながら，自分の考えをまとめている。	10)		○
		A(1)ア (5・6年)	・「話すこと・聞くこと」において，目的や意図に応じて， 日常生活の中から話題を決め，集めた材料を分類したり 関係付けたりして，伝え合う内容を検討している。	11)		○
		B(1)ウ (5・6年)	・「書くこと」において，目的や意図に応じて，事実と感 想，意見とを区別して書くなど，自分の考えが伝わるよ うに書き表し方を工夫している。	18)		○
		C(1)オ (5・6年)	・「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づ いて，自分の考えをまとめている。	12)		○
				17)		○
		C(1)イ (5・6年)	・「読むこと」において，登場人物の相互関係や心情など について，描写を基に捉えている。	13)		○
				15)		○
		16)		○		
C(1)エ (5・6年)	・「読むこと」において，人物像を具体的に想像している。	14)		○		

小学校 6年 国語 小問別通過率と設定通過率

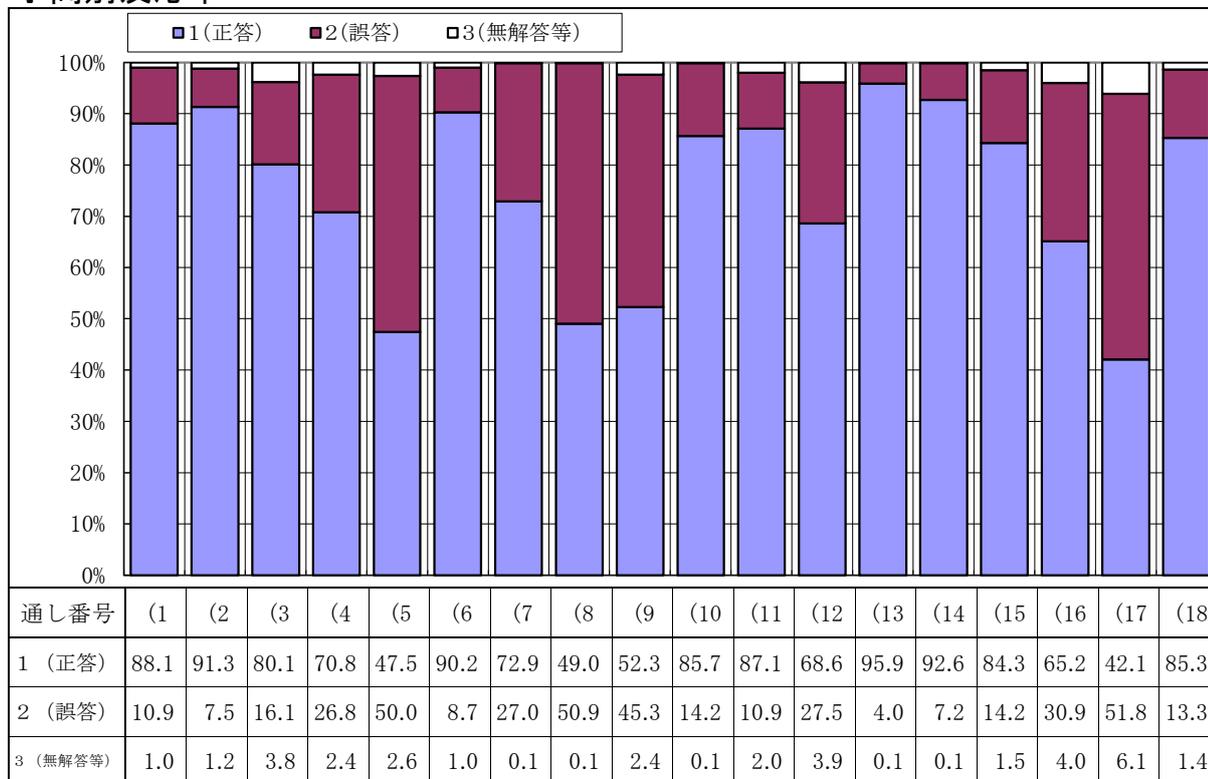
平均通過率 74.9%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字を読む (きぼ)	88.1	80.0	
(2)	漢字を読む (さばく)	91.3	80.0	
(3)	漢字を書く (勢い)	80.1	70.0	
(4)	漢字を書く (設置)	70.8	70.0	
(5)	送り仮名に気を付けて漢字を書く (快い)	47.5	60.0	
(6)	漢字の部首	90.2	90.0	
(7)	主語と述語との関係	72.9	60.0	
(8)	ことわざ	49.0	70.0	
(9)	敬語	52.3	60.0	
(10)	質問の意図を捉える	85.7	80.0	
(11)	取材した内容を整理する	87.1	70.0	
(12)	文章を読んで自分の考えをまとめる	68.6	70.0	
(13)	描写を基に登場人物の心情を捉える	95.9	80.0	
(14)	登場人物の人物像を捉える	92.6	70.0	
(15)	描写を基に登場人物の心情を捉える	84.3	80.0	
(16)	描写を基に登場人物の心情を捉える	65.2	70.0	
(17)	文章を読んで自分の考えをまとめる	42.1	60.0	
(18)	だれかと協力して頑張ったことについて書く	85.3	80.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 6年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (178校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	26	41	17	5	2	47	7		3	17	35	1	72	45	16	3		33	
90%~100%	53	80	23	9	1	74	11	1	4	43	57	7	90	92	39	4	1	50	
80%~90%	72	44	58	28	5	42	43	4	18	83	64	27	15	40	79	25	2	43	42
70%~80%	19	11	58	52	17	11	52	10	15	28	14	47	1		33	32	3	28	103
60%~70%	7	2	18	51	24	3	43	27	32	5	7	56		1	10	60	14	14	31
50%~60%	1		2	23	26	1	13	42	30	2	1	29				39	34	7	2
40%~50%				6	45		7	44	30			8				10	42	1	
30%~40%			1	3	37		1	33	25			1				4	42	1	
20%~30%					16			12	15								29		
10%~20%					4			3	4								8		
0%~10%			1	1	1		1	2	2			2			1	1	3	1	

小学校6年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	内 容 別				計
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	
+10%より高い	3	1	0	2	6
±10%の範囲内	4	1	1	3	9
-10%より低い	2	0	0	1	3
計	9	2	1	6	18

2 考察

(1) 全体について

18問中15問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

- ① [知識及び技能] では、文の中での語句の係り方を理解することについて、指導の成果が見られる。
- ② [思考力、判断力、表現力等] の「読むこと」では、描写を基に登場人物の相互関係や心情等を捉えることや人物像を具体的に想像することについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ① [知識及び技能] では、送り仮名に注意して漢字を書くことに課題が見られる。
- ② [思考力、判断力、表現力等] の「読むこと」では、文章を読んで理解したことに基づき、自分の考えをまとめることについて、課題が見られる。

3 今後の指導

送り仮名に注意し、漢字を文や文章の中で正しく書くことができるよう、[思考力、判断力、表現力等]の各領域の学習と関連を図った指導の充実を図る。

- ・送り仮名の付け方について指導する際には、辞書等を活用して個々の語の送り仮名の付け方を理解できるようにするだけでなく、活用語尾を送るという送り仮名の原則的な付け方についても理解を促していくことが大切である。例えば、「退く」「退かない」「退いた」等、具体的な例を提示して指導することが考えられる。
- ・[思考力、判断力、表現力等]の各領域の学習と関連を図り、漢字について身に付けた知識を生かし、漢字を実際を書く機会が得られるよう意図的に指導することが大切である。例えば、「書くこと」の領域の学習と関連を図り、文や文章を書く学習活動を行う際、既習の漢字を用いるよう指導することが考えられる。
- ・書いた文章を読み合う活動等を通して、漢字と仮名を適切に使い分けたり、送り仮名に注意して漢字を書いたりすることが、文章の読みやすさや意味の通りやすさにつながることを実感させることも大切である。

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の感想や考えをもつことに加え、それらをまとめるための学習活動を工夫する。

- ・文章を読んで自分の感想や考えをもつためには、文章の内容や構造、文章を読んで理解したこと等と既存の知識等とを結び付けて自分の考えをもつことができるよう、学習活動を工夫することが大切である。例えば、詩や物語、短編小説、伝記などを読んで、読み取った人物の生き方や考え方などに基づき、これからの自分のことについて考え、文章にまとめたり発表したりする活動などが考えられる。

「参考 通し番号5」
3 次の「部」を、漢字一字と送りがなに直して、の中に書きなさい。
・「ころよいそ風がふく。」

「参考 通し番号17」
4 この物語について、あみさん、けんさん、ひなさんは意見交流をしました。次の【意見交流の様子】を読んで、あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。
【意見交流の様子】は略
(2) 【意見交流の様子】のYに当てはまる内容を、十五字以内で書きなさい。

令和5年度秋田県学習状況調査 中学校第1学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
				知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現		
第 1 学 年	知 識 及 び 技 能	(1)イ (中)	・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を正しく読んでいる。	1)	○		
				2)	○		
			・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書いている。	3)	○		
				4)	○		
			・文脈に即して、漢字を適切に使っている。	5)	○		
			・熟語の構成について理解している。	6)	○		
		(1)エ (中)	・接続する語句の役割について理解している。	7)	○		
			・文節の区切り方について理解している。	8)	○		
			(3)イ (小3・4)	・ことわざの意味を理解している。	9)	○	
				(1)キ (小5・6)	・日常よく使われる敬語を理解している。	10)	○
思 考 力 、 判 断 力 、 表 現 力 等	A (1)エ (中)	・「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて質問しながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。	11)		○		
			12)	○			
	B (1)ウ (中)	・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	18)	○			
	C (1)エ (中)	・「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。	13)	○			
		C (1)ウ (中)	・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。	14)	○		
			15)	○			
			16)	○			
		17)	○				

中学校 1 年 国語 小問別通過率と設定通過率

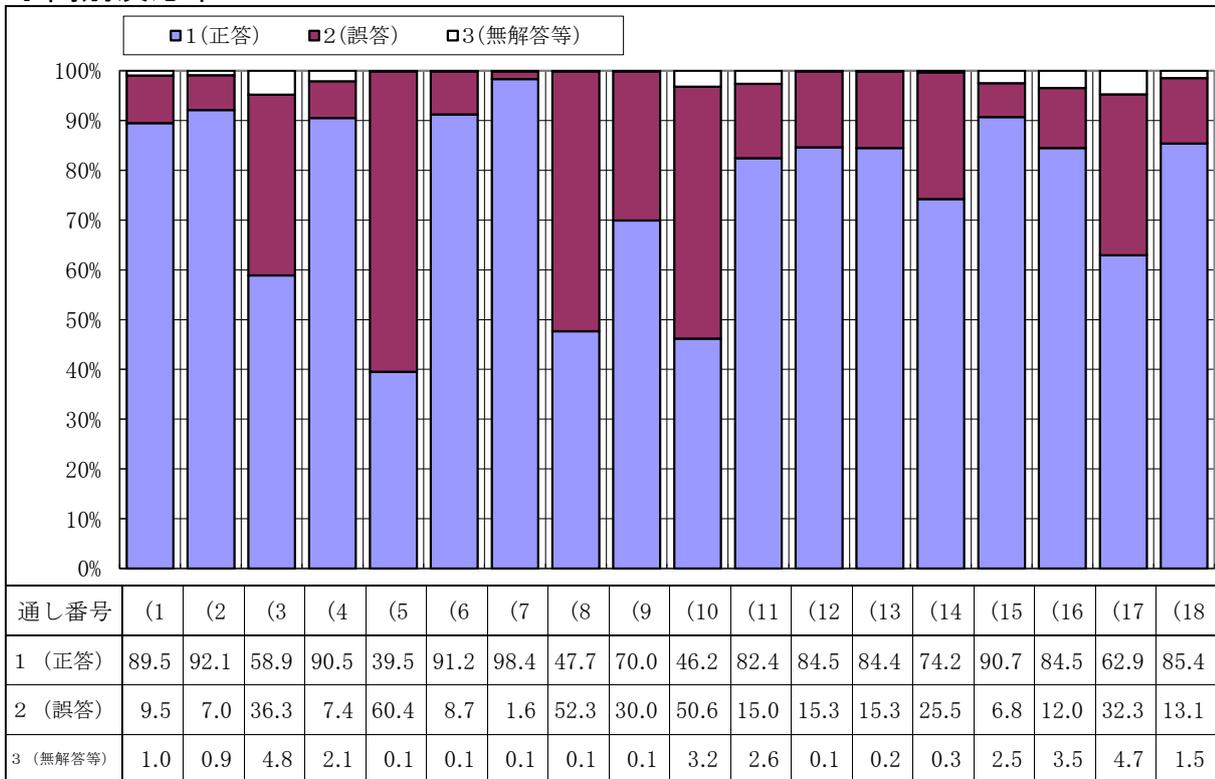
平均通過率 76.3%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字を読む (きりつ)	89.5	80.0	
(2)	漢字を読む (おぎなう)	92.1	80.0	
(3)	漢字を書く (往復)	58.9	70.0	
(4)	漢字を書く (盛り)	90.5	70.0	
(5)	同じ音をもつ熟語	39.5	70.0	
(6)	熟語の構成	91.2	80.0	
(7)	接続する語句	98.4	80.0	
(8)	文節	47.7	70.0	
(9)	ことわざ	70.0	70.0	
(10)	敬語	46.2	65.0	
(11)	目的に応じて質問する	82.4	70.0	
(12)	インタビューの進め方について理解する	84.5	80.0	
(13)	段落の役割を捉える	84.4	70.0	
(14)	文章の内容を捉える	74.2	70.0	
(15)	文章の内容を捉える	90.7	80.0	
(16)	文章の内容を捉える	84.5	70.0	
(17)	文章の内容を捉え、要約する	62.9	60.0	
(18)	活動を選んだ理由について経験と関連付けて書く	85.4	80.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 1年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (105校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	7	18	2	15		17	56	2	3	1	4	5	6	2	11	4	1	10	
90%~100%	48	57	3	58		54	48	1	2		21	23	13	1	53	17	1	43	1
80%~90%	42	26	7	27		32	1	4	11	1	43	55	65	22	36	60	3	26	20
70%~80%	8	3	12	3	1	2		12	37	6	24	21	18	48	5	21	18	16	78
60%~70%		1	26		4			10	36	9	9		3	24		2	43	4	6
50%~60%			32	2	8			18	13	29	3	1		8			31	5	
40%~50%			17		27			26	1	30							5	1	
30%~40%			5		46			21	1	17							2		
20%~30%			1		14			7	1	9							1		
10%~20%					2			3		2									
0%~10%					3			1		1	1					1			

令和5年度秋田県学習状況調査 中学校第2学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	内 容		評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
					知識 ・ 技能	思考 ・ 判断 ・ 表現		
第 2 学 年	知 識 及 び 技 能	(1)ウ (中2)	・中学校第1学年までに学習した常用漢字を正しく読んでいる。	4)	○			
				5)	○			
			・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書いている。	6)	○			
				7)	○			
		(1)イ (中1)	・漢字の由来について理解している。	8)	○			
		(1)キ (小5・6)	・日常よく使われる敬語を理解している。	9)	○			
	思 考 力 、 判 断 力 、 表 現 力 等	A(1)エ (中2)	・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	1)		○		
				2)		○		
				3)		○		
		B(1)ウ (中2)	・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	18)		○		
				C(1)ウ (中1)	・「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付け、内容を解釈している。	13)		○
						C(1)イ (中2)	・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。	14)
15)		○						
17)		○						
C(1)エ (中2)	・「読むこと」において、表現の効果について考えている。	16)		○				

中学校 2年 国語 小問別通過率と設定通過率

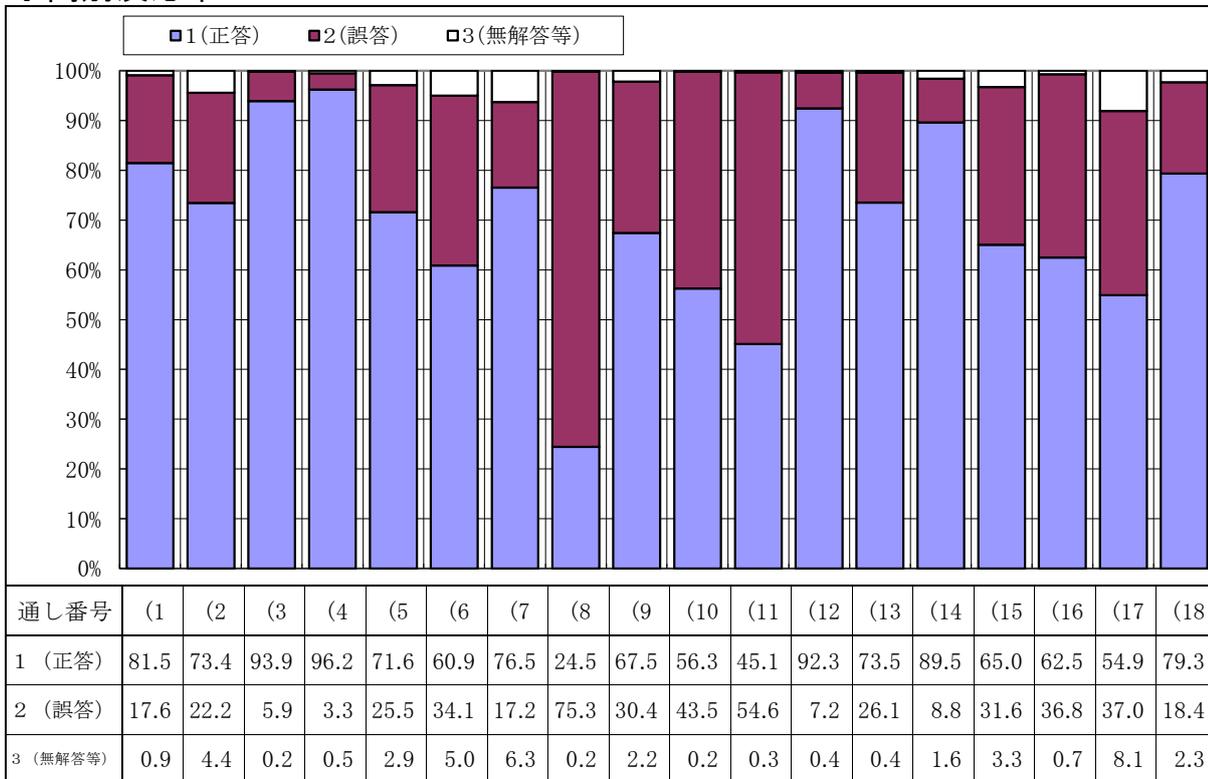
平均通過率 70.3%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	話の内容を捉える	81.5	80.0	
(2)	話の内容を捉える	73.4	80.0	
(3)	質問の仕方について理解する	93.9	80.0	
(4)	漢字を読む (いせい)	96.2	80.0	
(5)	漢字を読む (こばむ)	71.6	80.0	
(6)	漢字を書く (展覧)	60.9	70.0	
(7)	漢字を書く (築く)	76.5	70.0	
(8)	漢字の成り立ち	24.5	70.0	
(9)	敬語	67.5	70.0	
(10)	品詞	56.3	60.0	
(11)	文節どうしの関係	45.1	70.0	
(12)	歴史的仮名遣い	92.3	90.0	
(13)	文章の内容を捉える	73.5	70.0	
(14)	登場人物の心情を捉える	89.5	70.0	
(15)	登場人物の心情を捉える	65.0	70.0	
(16)	表現の工夫を捉える	62.5	70.0	
(17)	登場人物の心情を捉える	54.9	60.0	
(18)	グラフや表から考えたことを，体験と関連付けて書く	79.3	80.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (106校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	6	8	18	28	3	1	5		2	1		23	3	16	1	1	1	19	
90%~100%	18	11	72	72	3		7		3	1		52	1	46	2			31	
80%~90%	40	23	16	6	15	5	32		18	10	1	23	20	37	14	7	8	21	8
70%~80%	29	39			40	19	34	1	23	15	4	5	49	7	38	16	10	13	49
60%~70%	11	16			30	29	19		36	22	12	2	28		24	42	20	9	47
50%~60%	2	4			12	32	8	2	20	21	22		4		13	31	30	6	2
40%~50%		2			2	11		10	3	18	17		1		5	7	24	2	
30%~40%		1			1	8	1	11		15	33				7	1	10	1	
20%~30%		1						40	1	1	13				1	1	2		
10%~20%		1						30			1							2	
0%~10%						1		12		2	3	1			1		1	2	

中学校 2 年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の 分類	内 容 別				計
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	
+10%より高い	1	1	0	1	3
±10%の範囲内	6	2	1	4	13
-10%より低い	2	0	0	0	2
計	9	3	1	5	18

2 考察

(1) 全体について

18問中16問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

① [知識及び技能] では、漢字を読むことや歴史的仮名遣いを理解することについて、指導の成果が見られる。

② [思考力、判断力、表現力等] の「話すこと・聞くこと」では、話の構成や論理の展開に注意しながら聞くことについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

① [知識及び技能] では、単語の類別や文節どうしの関係を理解することについて、課題が見られる。

② [思考力、判断力、表現力等] の「読むこと」では、登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈することについて、課題が見られる。

3 今後の指導

単語のもつ文法的な役割について気付いたことを生かし、単語の類別への理解を深める指導の充実を図る。

- ・ 文法的な事項について指導する際には、言葉の特徴や規則性等に生徒自らが気付き、理解を深めていくことができるような手立てを取り入れることが大切である。
- ・ 単語の類別について理解を深めるためには、例えば、単語が書かれた複数のカードを用いた学習活動を取り入れることが考えられる。カードを組み合わせ文を作り、それぞれの単語を文の成分という観点で類別したり、別の観点での類別を検討したりすることを通して、単語がもつ性質や文法的な役割に気付き、理解を深めていくことができるようにすることが大切である。

〈選択肢は略〉

〔参考 通し番号 10〕
4 次のア～エから、形容動詞を一つ選んで、記号を書きなさい。

登場人物の言動の意味について、複数の描写と結び付けて再検討し、内容の理解を深める指導の充実を図る。

- ・ 登場人物の言動の意味を考えるためには、個々の場面や描写から直接分かることを把握するだけでなく、複数の描写を相互に結び付けたり、各場面と登場人物の心情や言動とを結び付けたりして考えることができるようにすることが大切である。
- ・ 登場人物の言動の意味について考えたことを交流する学習活動を取り入れ、自分の解釈の根拠を考えたり、他者の考えを知ったりすることで、多様な解釈があることに気付いたり、自分の解釈を再構築したりできるようにすることも大切である。

〈意見交換は略〉

〔参考 通し番号 17〕
4 〈略〉このときの徹夫の心情について、孝太さんのグループでは次のように意見交換しました。これを読んで、() に入るふさわしい内容を十五字以内で書きなさい。

4 結果と考察 (2) 社会

令和5年度秋田県学習状況調査 小学校第5学年 社会 評価規準と評価の観点

学年	内容	評価規準	通し番号	観点	
				知識・技能	思考・判断・表現
第4学年	(1)	・地図帳を活用して、都道府県についての情報を集め、適切に読み取っている。	(1)	○	
	(1)	・地図帳から必要な情報を集め、適切に読み取っている。	(2)	○	
第3学年	(1)	・地図記号に着目し、地域の土地利用について、適切に表現している。	(3)		○
	(1)	・地図記号と方位に関する基礎的な知識を活用して、地図を適切に読み取っている。	(4)	○	
	(2)	・販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現している。	(5)		○
第4学年	(1)	・秋田県の主な都市の位置について理解し、その知識を身に付けている。	(6)	○	
	(1)	・秋田県の主な産業の分布に着目して県の様子を捉え、地理的環境の特色について考え、適切に表現している。	(7)		○
	(4)	・県内の伝統や文化について、保存や継承のための取組に着目して問いを見だし、追究・解決の方法を適切に判断している。	(8)		○
	(2)	・廃棄物を処理する事業について、資料を適切に読み取っている。	(9)	○	
	(2)	・廃棄物を処理する事業が関係機関や人々の協力によって成り立っていることについて、資料から読み取り、適切に表現している。	(10)		○
	(2)	・廃棄物を処理する事業について、ごみの減量に関わって自分たちにできることを、資料を基に考え、適切に表現している。	(11)		○
第5学年	(1)	・特色ある地域（温暖多雨）の自然条件について、資料を適切に読み取っている。	(12)	○	
	(1)	・特色ある地域（温暖多雨）の自然条件と人々の生活との関連について、資料から読み取り、適切に表現している。	(13)		○
	(1)	・自然条件と人々の生活との関連について、資料から読み取り、適切に表現している。	(14)		○
	(2)	・我が国の農業の特色について、資料から読み取り、適切に表現している。	(15)		○
	(2)	・我が国の農業の特色について、資料を基に考え、適切に表現している。	(16)		○
	(1)	・世界における我が国の国土の位置について理解し、その知識を身に付けている。	(17)	○	
	(1)	・我が国の国土の構成について理解し、その知識を身に付けている。	(18)	○	

小学校 5年 社会 小問別通過率と設定通過率

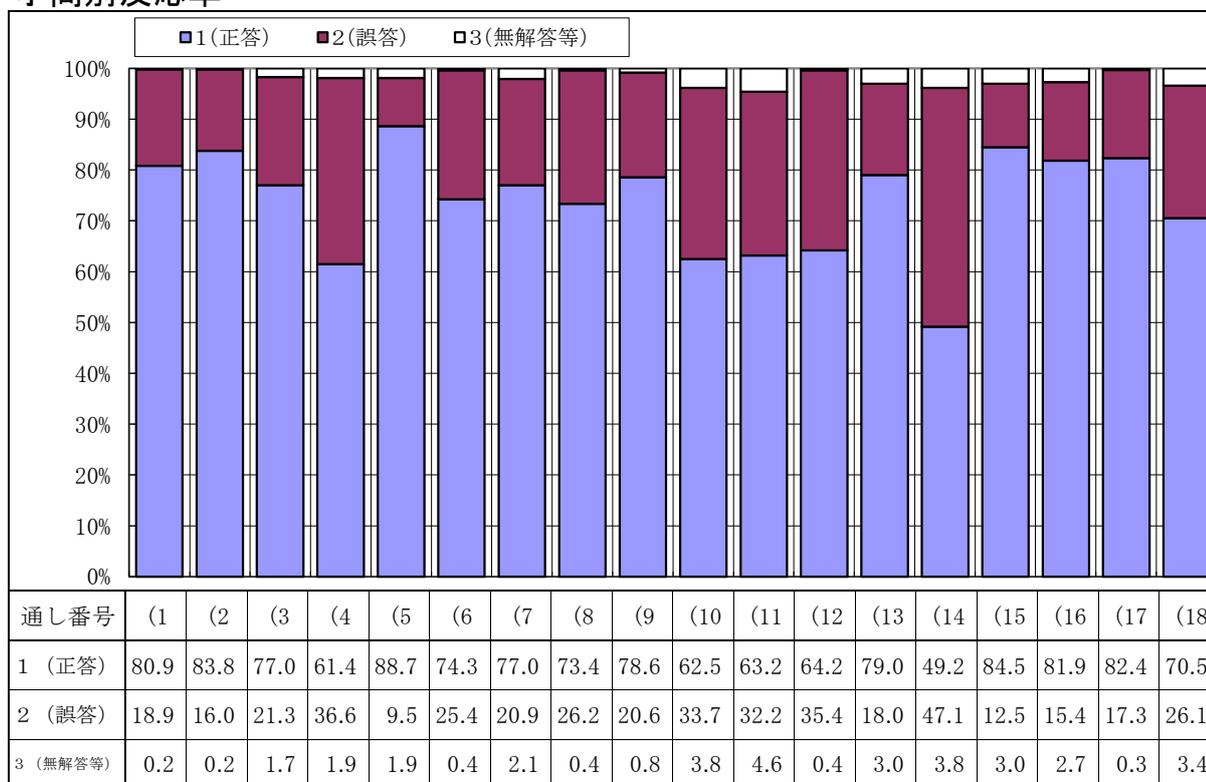
平均通過率 74.0%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	地図帳の活用	80.9	80.0	
(2)	地図帳の活用	83.8	70.0	
(3)	身近な地域や市の様子	77.0	70.0	
(4)	地図記号と方位	61.4	70.0	
(5)	販売に携わる人の工夫	88.7	70.0	
(6)	秋田県的主要な都市	74.3	70.0	
(7)	秋田県の特徴ある産業	77.0	65.0	
(8)	秋田県の伝統や文化	73.4	70.0	
(9)	廃棄物を処理する事業	78.6	75.0	
(10)	廃棄物の処理のための事業の様子	62.5	70.0	
(11)	ごみを減らすためにできること	63.2	65.0	
(12)	温暖な地域の気候の特徴	64.2	70.0	
(13)	温暖な地域の気候と生活	79.0	65.0	
(14)	気候と生活との関連	49.2	60.0	
(15)	我が国の農業の特徴	84.5	80.0	
(16)	我が国の農業の特徴	81.9	75.0	
(17)	我が国の位置	82.4	70.0	
(18)	我が国の国土の構成	70.5	65.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (177校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	18	26	16	4	45	14	26	7	12	6	5	3	19	2	29	30	19	15	
90%~100%	28	34	23	5	60	18	26	8	18	4	3	1	21		48	62	31	15	5
80%~90%	64	71	60	19	45	51	52	54	55	25	13	10	65	9	52	38	68	43	55
70%~80%	39	34	41	30	17	36	32	50	62	41	38	39	37	10	32	17	42	35	74
60%~70%	19	11	31	55	7	38	16	34	23	43	57	69	22	26	12	9	10	30	35
50%~60%	8	1	2	28	1	17	18	19	7	24	43	40	8	46	3	7	5	26	8
40%~50%			2	25	1	2	5	5		27	10	10	3	39		3	1	10	
30%~40%	1		1	6	1	1	1			5	5	2		26		6		1	
20%~30%				3						1	2	2	1	12		1			
10%~20%				1						1				5		2			
0%~10%			1	1			1				1			1		1		1	

小学校5年 社会 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別		内 容 別		計
	知識・技能	思考・判断・表現	3・4年	地理的内容	
+10%より高い	2	3	3	2	5
±10%の範囲内	6	6	8	4	12
-10%より低い	0	1	0	1	1
計	8	10	11	7	18

2 考察

(1) 全体について

18問中17問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」という結果で、学習内容の定着状況はおおむね良好である。経年比較している設問9問中7問で、昨年度の通過率を上回った。

(2) 成果

①販売に携わる人々の工夫の学習において、買い物調べの結果と販売の仕事に見られる工夫を関連付けて適切に読み取ることについて、指導の成果が見られる。

②我が国の位置の学習において、世界の大陸と主な海洋の位置を、我が国の国土との位置関係に着目して捉えることについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①地図記号と方位の学習において、略地図から読み取れることなどについて、地図記号や八方位を活用しながら説明したり話し合ったりする活動の充実を図る必要がある。

②廃棄物を処理する事業の学習において、複数の資料から読み取ったことを関連付けて考察したり、適切に表現したりすることに課題が見られる。

3 今後の指導

社会的事象の見方・考え方を働かせて、廃棄物の処理のための事業が果たす役割や自分たちができることについて考え、表現する活動の充実を図る。

○ポイント [通し番号(9(10(11を例として]

市のごみを減らすためにできることを考える学習で、単元で用いた資料を根拠に表現する活動を取り入れる。

○具体例

1 学習問題を確認し、前時の学習内容を振り返る。

<学習問題の例>

市のごみを減らすために、わたしたちにはどのようなことができるだろう。

- ・単元で用いた資料等を提示する。

2 単元で学習したことを生かして、自分にできることを考え、意見交流をする。

[発問例]

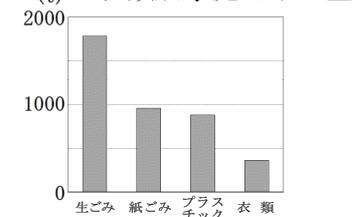
市のごみを減らすためにできることを、一つ考えましょう。なぜそれをしようと思ったのか、これまでに学んだことを生かして説明しましょう。

- ・調べたことを根拠に表現することができるよう、まとめの文の書き出しを指定したり、資料と関連付けるなどの条件を示したりする。

3 学習問題についてまとめる。

(例) わたしは、家でのごみの水切りに取り組みたいです。なぜなら、資料1にあるように、家庭ごみの中で生ごみの量が一番多く、生ごみの水切りによって、市のごみの量を減らすことができると考えたからです。

資料1 市で1か月に出る種類別家庭ごみの量



資料2 市の担当者の話

生ごみには、たくさんの水分がふくまれています。生ごみの水切りは、調査の結果を見ても分かるように、手軽にできて、大きな効果が期待できます。

生ごみの水切り調査
(○月△日)
水切り前 → 水切り後
690g → 582g



学年	内容	評価規準	通し番号	観点	
				知識・技能	思考・判断・表現
第5学年 (第3・4学年の内容を含む)	第4学年(1)	・地図帳を活用して、都道府県についての情報を集め、適切に読み取っている。	(1)	○	
	第4学年(1)	・地図帳から必要な情報を集め、適切に読み取っている。	(2)	○	
	(1)	・世界における我が国の国土の位置について理解し、その知識を身に付けている。	(3)	○	
	(1)	・我が国の国土の構成について理解し、その知識を身に付けている。	(4)	○	
	(2)	・我が国の工業生産に関わる人々の働きについて、資料から読み取り、適切に表現している。	(5)		○
	(5)	・森林資源が果たす役割について、資料から読み取り、適切に表現している。	(6)		○
	(4)	・放送や新聞などの産業の役割について、資料から読み取り、適切に判断している。	(7)		○
	(4)	・情報や情報通信技術を活用する産業と国民生活の関連について、資料から読み取り、適切に表現している。	(8)		○
	(1)	・日本国憲法の基本的な考え方について理解し、その知識を身に付けている。	(9)	○	
	(1)	・国の収入の内訳について、資料から適切に読み取っている。	(10)	○	
	(1)	・国民生活における政治の働きについて、資料から読み取り、適切に表現している。	(11)		○
	(1)	・国や地方公共団体の政治の取組について、資料から適切に読み取っている。	(12)	○	
	(1)	・国や地方公共団体の政治の働きと国民生活との関連について、資料から読み取り、適切に表現している。	(13)		○
	(2)	・縄文時代の社会の様子について理解し、その知識を身に付けている。	(14)	○	
	(2)	・弥生時代の社会の様子について理解し、その知識を身に付けている。	(15)	○	
	(2)	・古墳時代の社会の様子について、資料から読み取り、適切に表現している。	(16)		○
	(2)	・我が国が大陸文化を積極的に摂取しようとしていたことについて理解し、その知識を身に付けている。	(17)	○	
	(2)	・京都に都が置かれた頃の貴族の文化について、複数の資料から読み取ったことを関連付けて、適切に表現している。	(18)		○

小学校 6年 社会 小問別通過率と設定通過率

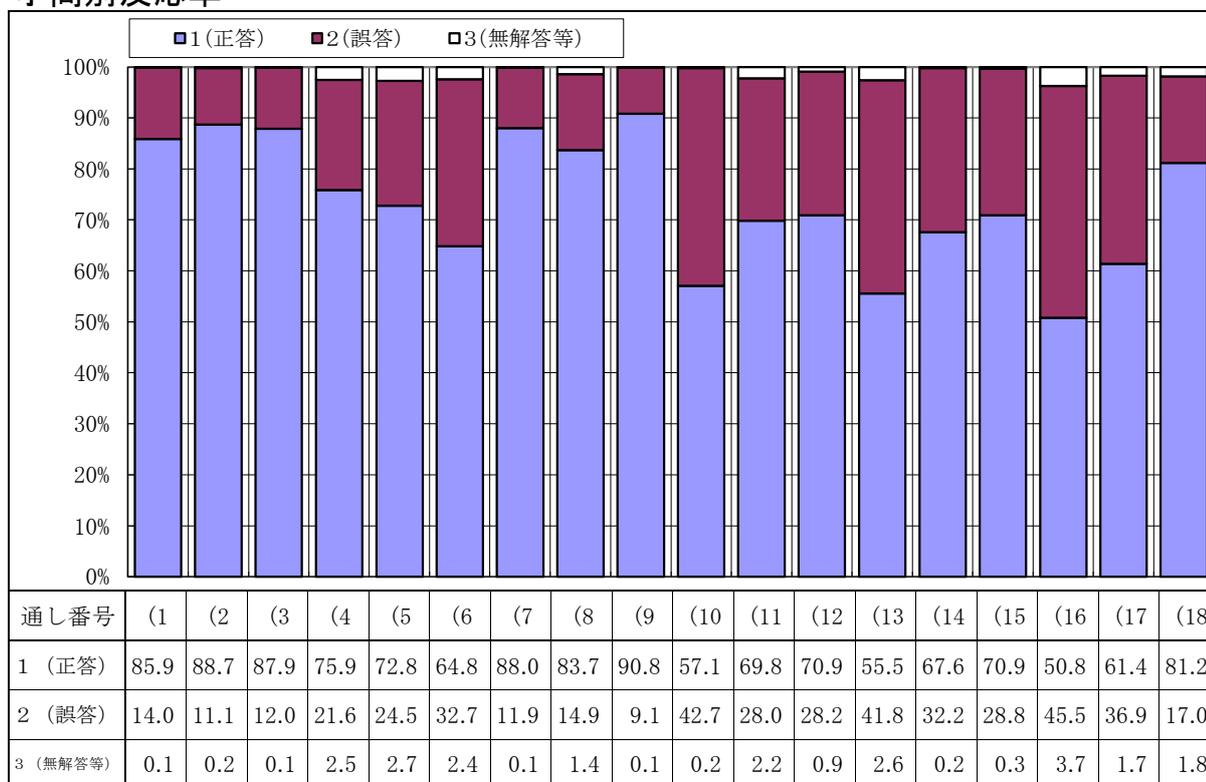
平均通過率 73.6%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	地図帳の活用	85.9	85.0	
(2)	地図帳の活用	88.7	80.0	
(3)	我が国の位置	87.9	75.0	
(4)	我が国の国土の構成	75.9	70.0	
(5)	我が国の工業生産に関わる人々の働き	72.8	65.0	
(6)	森林資源が果たす役割	64.8	65.0	
(7)	放送, 新聞などの産業の役割	88.0	80.0	
(8)	情報や情報通信技術を活用する産業	83.7	70.0	
(9)	日本国憲法の基本的な考え方	90.8	80.0	
(10)	国民生活における政治の働き	57.1	65.0	
(11)	国民生活における政治の働き	69.8	60.0	
(12)	国や地方公共団体の政治の取組	70.9	70.0	
(13)	国や地方公共団体の政治の働き	55.5	60.0	
(14)	縄文時代の社会の様子	67.6	70.0	
(15)	弥生時代の社会の様子	70.9	70.0	
(16)	大和政権の広がり	50.8	60.0	
(17)	大陸文化の摂取	61.4	65.0	
(18)	日本風の文化の特色	81.2	70.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 6年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (178校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	28	29	28	15	8	5	18	12	30	2	1	3	2	5	7	1	4	30	
90%~100%	49	66	55	23	19	7	69	41	79	1	12	14	2	4	6	9	8	39	2
80%~90%	60	65	72	50	45	30	67	80	58	5	35	39	8	29	30	28	18	51	41
70%~80%	27	17	17	45	48	34	20	35	9	17	45	49	22	41	60	25	30	34	90
60%~70%	10	1	5	26	27	44	3	7		45	44	47	39	54	57	17	48	11	38
50%~60%	3		1	12	20	34	1	2	1	62	24	20	50	33	13	10	34	10	7
40%~50%	1			7	4	20				28	8	5	36	7	4	23	27	1	
30%~40%					4	2				8	4		12	2		25	3	1	
20%~30%					1	1				5	3		5	2	1	26	4		
10%~20%										4			1			10	1		
0%~10%					2	1		1	1	1	2	1	1	1		4	1	1	

小学校6年 社会 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別		内 容 別			計
	知識・技能	思考・判断・表現	地理的内容	歴史的内容	公民的内容	
+10%より高い	2	2	2	1	1	4
±10%の範囲内	8	6	6	4	4	14
-10%より低い	0	0	0	0	0	0
計	10	8	8	5	5	18

2 考察

(1) 全体について

全ての設問において、設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」という結果であり、学習内容の定着状況は良好である。

(2) 成果

- ①我が国の工業生産に関わる人々の働きの学習において、資料から読み取り、適切に表現することについて、指導の成果が見られる。
- ②京都に都が置かれた頃の貴族の文化の学習において、複数の資料から読み取ったことを関連付けて、適切に表現することについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ①国民生活における政治の働きの学習において、国の収入の内訳について資料から適切に読み取ったり、政治の働きについて読み取ったことを表現したりすることに課題が見られる。
- ②古墳時代の社会の様子学習において、資料から読み取ったことを適切に表現することに課題が見られる。

3 今後の指導

社会的事象の特色や相互の関連などについて、資料から読み取った事実を日常生活と関連付けて考え、自分の言葉で表現する活動の充実を図る。

○ポイント [通し番号(10、(11)を例として]

国民生活における政治の働きについて、資料から読み取った事実を日常生活と関連付けて考え、自分の言葉で表現する活動を取り入れる。

○具体例

1 資料を基に学習問題をつくり、予想をたてる。

＜学習問題の例＞

税金は、どのように使われ、私たちにとってどのような役割を果たしているのだろう。

- ・資料1と資料2を提示し、国の収入の半分以上が国民の納める税金であることについて、児童から発言を引き出す。

2 税金の使われ方を考える。

[発問例]

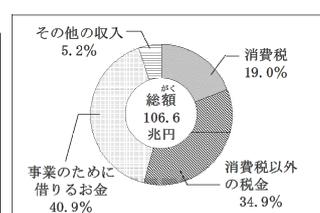
資料3の税金の使われ方には、どのような共通点がありますか。

- ・資料3を基に、税金が国や市の仕事に使われていること、健康で文化的な生活を支えていることなどの共通点に気付かせる。

3 学習問題についてまとめる。

(例) 私たちが納めた税金は、国や市の仕事などに使われ、私たちの暮らしを支える役割を果たしている。

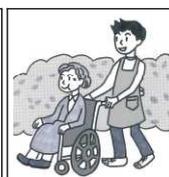
資料1 商品の値札 資料2 国の収入の内わけ



資料3 税金の使われ方



公共施設や道路などを整備するための費用



お年寄りや障がいのある人を支援するための費用



平等に教育を受けられるようにするための費用

令和5年度秋田県学習状況調査 中学校第1学年 社会 評価規準と評価の観点

学年・分野	内容	評価規準	通し番号	観 点	
				知識・技能	思考・判断・表現
小学校第6学年	(2)	・足利義満や近松門左衛門の業績について理解し、その知識を身に付けている。	(1)	○	
	(2)	・江戸時代の文化の担い手について、資料から情報を的確に読み取っている。	(2)	○	
	(2)	・日米修好通商条約が締結された当時の社会の様子について理解し、その知識を身に付けている。	(3)	○	
	(2)	・欧米諸国と対等な関係になった理由について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(4)		○
	(2)	・日本国憲法の制定について理解し、その知識を身に付けている。	(5)	○	
	(2)	・日本国憲法の制定による、選挙に関わる権利の変化について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(6)		○
	(3)	・我が国と関係の深い国々の特徴について、資料を基に考察し、適切に判断している。	(7)		○
	(3)	・我が国と関係の深い国々への輸出品について、資料から情報を的確に読み取っている。	(8)	○	
中学校地理的分野	A(1)	・大陸や海洋の位置と名称を理解し、その知識を身に付けている。	(9)	○	
	A(1)	・地球儀の模式図を活用して、本初子午線の位置を的確に読み取っている。	(10)	○	
	B(1)	・乾燥帯の気候や自然条件について、資料から情報を的確に読み取っている。	(11)	○	
	B(1)	・乾燥帯に暮らす人々の生活の工夫について、資料から読み取ったことを関連付けて、適切に表現している。	(12)		○
中学校歴史的分野	B(1)	・世界の古代文明に共通する特色について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(13)		○
	B(1)	・世界の三大宗教のおこりについて理解し、その知識を身に付けている。	(14)	○	
	B(1)	・日本列島における国家形成について、各時代の特色を比較しながら考察し、適切に判断している。	(15)		○
	B(1)	・大和政権による統一の様子と東アジアとの関わりについて、資料を基に考察し、適切に表現している。	(16)		○
	B(1)	・律令国家の形成について理解し、その知識を身に付けている。	(17)	○	
	B(1)	・古代における政治の特色と変化について、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現している。	(18)		○

中学校 1年 社会 小問別通過率と設定通過率

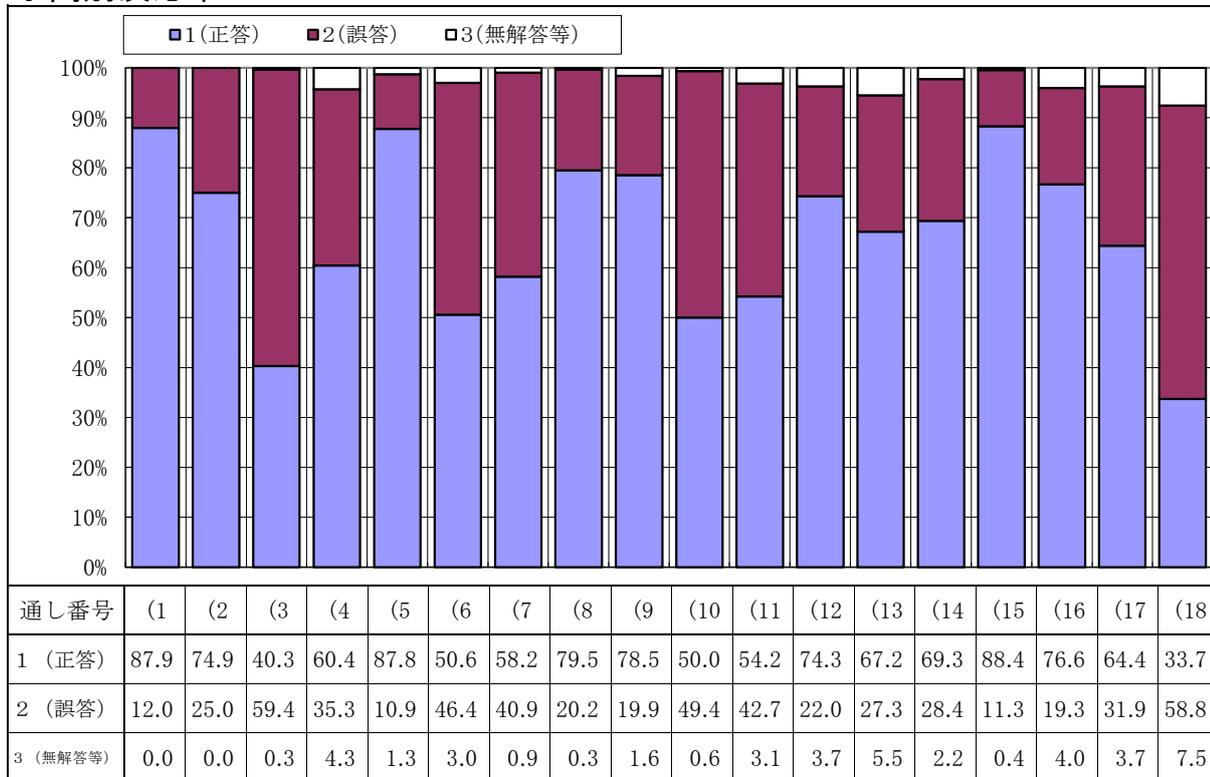
平均通過率 66.5%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	足利義満、近松門左衛門の業績	87.9	85.0	
(2)	江戸時代の文化の担い手	74.9	70.0	
(3)	日米修好通商条約が締結された当時の社会の様子	40.3	60.0	
(4)	条約改正	60.4	70.0	
(5)	日本国憲法の制定	87.8	80.0	
(6)	女性参政権	50.6	60.0	
(7)	日本と関係の深い国々の特徴	58.2	65.0	
(8)	日本と関係の深い国々への輸出品	79.5	75.0	
(9)	大陸や海洋の名称と位置	78.5	75.0	
(10)	地球上の本初子午線の位置	50.0	60.0	
(11)	乾燥帯の気候の特色	54.2	70.0	
(12)	乾燥帯に暮らす人々の生活の工夫	74.3	70.0	
(13)	世界の古代文明に共通する特色	67.2	65.0	
(14)	世界の三大宗教のおこり	69.3	75.0	
(15)	日本列島における国家形成	88.4	80.0	
(16)	大和政権による統一の様子と東アジアとの関わり	76.6	70.0	
(17)	律令国家の形成	64.4	70.0	
(18)	古代における政治や社会の変化	33.7	60.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 1年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (105校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	11	9		3	13	3		4	9		2	6	4	3	15	6	1	1	
90%~100%	42	18		6	43	4		11	17		1	9	8	5	39	23	2	1	
80%~90%	43	24		15	35	2	3	47	38	5	4	28	15	11	43	20	9		5
70%~80%	9	22	1	16	10	8	4	22	21	8	10	29	21	35	7	33	28	3	32
60%~70%		12	3	24	4	16	35	16	11	16	21	25	26	33	1	14	30	4	51
50%~60%		9	15	13		26	37	4	9	32	33	7	20	14		5	14	8	17
40%~50%		7	25	15		26	19			20	22	1	8	4		3	13	16	
30%~40%		2	40	6		9	4			16	9		2				5	20	
20%~30%			12	5		8	1			4	2		1				1	23	
10%~20%		1	8	1		2	1			3							2	19	
0%~10%		1	1	1		1	1	1		1	1					1		10	

中学校 1 年 社会 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類	観 点 別		内 容 別			計
	知識・技能	思考・判断・表現	小学校	地理的分野	歴史的分野	
+10%より高い	0	0	0	0	0	0
±10%の範囲内	8	7	7	3	5	15
-10%より低い	2	1	1	1	1	3
計	10	8	8	4	6	18

2 考察

(1) 全体について

18問中15問が設定通過率の「±10%の範囲内」という結果で、学習内容の定着状況はおおむね良好である。経年比較している設問9問中8問で、昨年度の通過率を上回った。

(2) 成果

- ①乾燥帯に暮らす人々の生活の工夫の学習において、資料から読み取ったことを関連付けて適切に表現することについて、指導の成果が見られる。
- ②大和政権による統一の様子と東アジアの関わり方の学習において、資料を基に考察し、適切に表現することについて、指導の改善が図られている。

(3) 課題

- ①地球儀の模式図を活用して地球上の位置関係を正しく捉える学習において、赤道や本初子午線などの位置を的確に読み取ることに課題が見られる。
- ②古代における政治の特色と変化の学習において、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現することに課題が見られる。

3 今後の指導

各種の地球儀や世界全図の日常的な活用を通して、緯度や経度などに着目して地球上の位置関係を正しく捉えることで、世界の地域構成を大観し理解する学習の充実を図る。

○ポイント [通し番号(10を例として)]

緯度・経度や赤道、本初子午線などの意味を理解し、地球上の位置を表す際に用いる場面を設定するなど、地球上の位置関係を正しく捉える活動を取り入れる。

○具体例 (2時間扱い)

<1時間目 一前時(概要) 一>

小学校での学習を生かし、地図帳を使って特定の国を見付ける活動を行うことを通して、地球上の様々な場所の位置を見つける方法を考えるきっかけをつくり、学習課題の設定に導く。

<学習課題の例>

地球上の様々な位置をより正確に表すには、どのような方法があるのだろうか。

- ・既得知識や生活経験から、正確な位置情報が活用されている身近な例を挙げさせ、カーナビ、地図アプリケーション、公共交通機関の運行情報などの例を共有する。

[発問例] 正確な位置情報を得るために、どのような仕組みが用いられているのだろうか。

- ・GPSが、より正確な位置情報を提供するために緯度や経度を活用しているという共通点に気付くことができるようにし、緯度や経度の仕組みや性質について教科書で確認する。

<2時間目 一本時一>

1 緯度や経度の仕組みや性質について復習する。

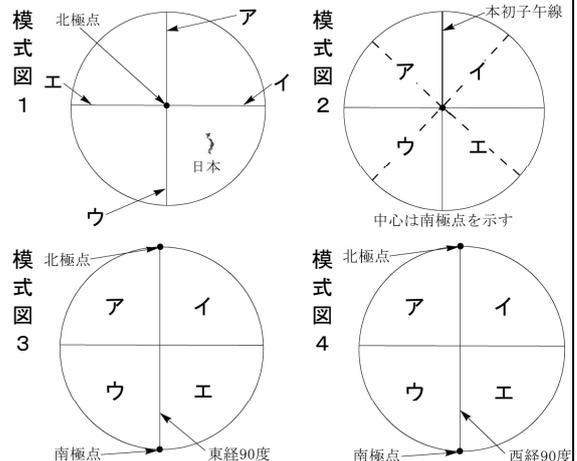
[発問例] 世界地図や地球儀を活用して地球上の位置を表すにはどうしたらよいか。

2 様々な国や都市を選択し、その位置を緯度や経度、赤道や本初子午線を用いて説明する。

- ・タブレット端末等で、デジタル地球儀が利用できるように準備する。
- ・世界地図を活用して説明した国や都市の位置を、デジタル地球儀や模式図1～4でも説明するよう促す。

3 学習課題についてまとめる。

(例) 地球上の様々な位置をより正確に表すには、緯度・経度を使う方法や、赤道、本初子午線を用いて説明する方法がある。



分野	内容	評価規準	通し番号	観点	
				知識・技能	思考・判断・表現
地理的分野	A(1)	・六大陸の位置と名称を理解し、地球儀上での緯度や経度、正反対の地点を的確に読み取っている。	(1)	○	
	A(1)	・地球儀の模式図を活用して、本初子午線の位置を的確に読み取っている。	(2)	○	
	B(1)	・冷帯で暮らす人々の生活の様子について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(3)		○
	B(2)	・ヨーロッパ州とEUの特色について、資料から情報を的確に読み取っている。	(4)	○	
	B(2)	・EUが抱える問題について、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現している。	(5)		○
	B(2)	・世界の各州の地域的特色を、諸条件と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	(6)	○	
	C(2)	・日本の地域的特色と地域区分について、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現している。	(7)		○
	C(2)	・日本の食糧自給率について、資料から情報を的確に読み取っている。	(8)	○	
	C(2)	・日本の農業の課題について、資料から情報を的確に読み取っている。	(9)	○	
	C(2)	・国内の貨物輸送と旅客輸送の割合の変化について、複数の資料を関連付けて考察し、適切に判断している。	(10)		○
	C(2)	・国内各地の結び付きの特色について、複数の資料を関連付けて考察し、適切に表現している。	(11)		○
歴史的分野	B(1)	・仏教の伝来とその影響について理解し、その知識を身に付けている。	(12)	○	
	B(1)	・古代の文化の特色や背景について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(13)		○
	B(2)	・武士の政治への進出と展開について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(14)		○
	B(2)	・武家政権の成立について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(15)		○
	B(3)	・江戸幕府の政治改革について理解し、その知識を身に付けている。	(16)	○	
	B(3)	・江戸幕府の財政の悪化について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(17)		○
	B(3)	・百姓一揆や打ちこわしの発生状況について、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現している。	(18)		○

中学校 2年 社会 小問別通過率と設定通過率

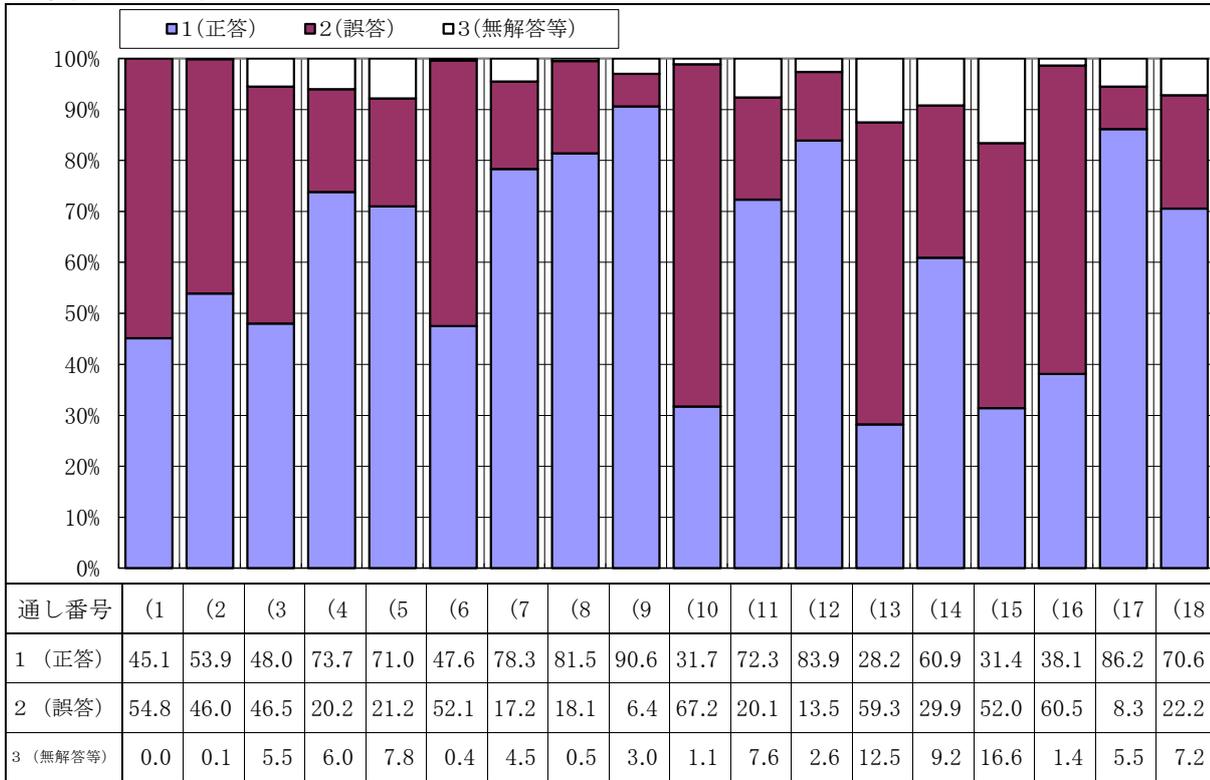
平均通過率 60.7%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	地球上の正反対の位置	45.1	60.0	
(2)	地球上の本初子午線の位置	53.9	65.0	
(3)	冷帯に暮らす人々の生活の工夫	48.0	60.0	
(4)	ヨーロッパの地域的特色	73.7	80.0	
(5)	EU統合がもたらす課題	71.0	75.0	
(6)	各州の人口密度と森林面積の増減	47.6	60.0	
(7)	地域的特色と地域区分	78.3	80.0	
(8)	国内の産業の動向	81.5	85.0	
(9)	国内の産業の動向	90.6	80.0	
(10)	国内の貨物輸送と旅客輸送	31.7	60.0	
(11)	国内各地の結び付きの特色	72.3	70.0	
(12)	仏教の伝来とその影響	83.9	75.0	
(13)	古代の文化と東アジアとの関わり	28.2	60.0	
(14)	武士の政治への進出と展開	60.9	70.0	
(15)	武家政権の成立	31.4	60.0	
(16)	江戸幕府の政治改革	38.1	65.0	
(17)	江戸幕府の財政の悪化	86.2	80.0	
(18)	百姓一揆や打ちこわしの発生	70.6	75.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (106校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%				5	1	1	5	3	21	1	2	7		2			10	7	
90%~100%		1	1	14	6		14	8	48		4	17		2			33	10	
80%~90%		5	1	18	25	1	29	51	33		23	54	3	4		1	47	22	2
70%~80%	1	7	5	38	28	6	36	36	1		39	23	2	14	1	3	9	25	8
60%~70%	14	23	18	20	23	12	19	5	3	1	23	2	3	38	2	3	4	15	52
50%~60%	17	39	28	7	15	32	2	3		3	11	3	8	32	4	14	3	18	37
40%~50%	38	21	24	1	5	30				13	2		15	10	12	22		8	6
30%~40%	24	5	16	1	2	19				37			19	3	34	30		1	
20%~30%	9	4	7			4				43			19	1	44	28			1
10%~20%			5	1						6			16		4	4			
0%~10%	3	1	1	1	1	1	1			2	2		21		5	1			

中学校 2年 社会 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類	観 点 別		内 容 別		計
	知識・技能	思考・判断・表現	地理的分野	歴史的分野	
設定通過率の +10%より高い	1	0	1	0	1
±10%の範囲内	3	6	5	4	9
-10%より低い	4	4	5	3	8
計	8	10	11	7	18

2 考察

(1) 全体について

18問中8問が設定通過率の「-10%より低い」という結果で、学習内容の定着状況が十分とは言えない設問もある。経年比較している設問9問中6問で、昨年度の通過率を上回った。

(2) 成果

- ①世界の各州の地域的特色の学習において、人口密度と森林面積の増減のデータを関連付けて理解し、各州の地域的特色の知識を身に付けることについて、指導の改善が図られている。
- ②百姓一揆や打ちこわしの発生状況の学習において、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現することについて、指導の改善が図られている。

(3) 課題

- ①国内の貨物輸送と旅客輸送の学習において、国内の輸送手段の割合の変化に関する複数の資料を関連付けて考察し、適切に判断することに課題が見られる。
- ②武家政権の成立の学習において、複数の資料を基に考察し、適切に表現することに課題が見られる。

3 今後の指導

年表や文献、系図、地図等の諸資料を活用して、歴史に関わる事象の意味・意義や特色、事象間の関連を考察し、自分の言葉で表現する活動の充実を図る。

○ポイント [通し番号(15を例として)]

武家政権の成立とその支配の広まりについて、既習事項や諸資料から読みとったことを関連付けて考察し、表現する活動を取り入れる。

○具体例

- 1 平安時代末から鎌倉時代の年表や図1を見て気付いたことを生かして、学習課題を設定する。

<学習課題の例>

鎌倉幕府の支配する地域は、承久の乱を経てどのように変化したのだろう。

- 2 承久の乱について、背景、原因、展開、結果などの視点に着目して、年表や系図、幕府方・上皇方の勢力地図などの資料を収集・活用して調べる。
 - ・調べたことについて全体で共有する場面を設ける。

- 3 承久の乱が武家政権の成立とその支配の広まりに与えた影響について考える。

[発問例]

承久の乱後、幕府の支配する地域はどのようにして西日本にまで広がったのだろう。

- ・既習事項である図2の内容と、図1から読み取れることを関連付けて考えるよう促す。

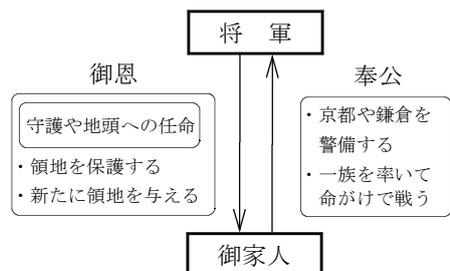
- 4 「御恩」と「奉公」の語句を用いて、学習課題についてまとめる。

(例) 承久の乱後、幕府は、上皇側についた貴族や武士の領地を没収し、幕府に奉公した御家人に対する御恩として、御家人をその土地の地頭に任命した。そのため、幕府の支配する地域が西日本にまで広がった。

図1 承久の乱とその後の動き



図2 鎌倉幕府の将軍と御家人の関係



4 結果と考察 (3)算数、数学

令和5年度秋田県学習状況調査 小学校第4学年 算数 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
第 3 学 年	A 数 と 計 算	(3)ア(イ)	・ 3位数に2位数をかける計算について、正しく筆算をすることができる。	(1)	○	
		(5)ア(イ)	・ 1/10の位までの小数の減法で、(小数)－(整数)の場合の計算をすることができる。	(3)	○	
		(6)ア(ア)	・ 分数の意味や分数の表し方を理解している。	(4)	○	
		(6)ア(ウ)	・ 1から分数を引く減法ができる。	(2)	○	
		(7)ア(ア)	・ 数量の関係を□を用いた式で表すことができる。	(9)	○	
	B 図 形	(1)ア(ウ)	・ 円や球の中心、半径、直径や球の切り口について理解している。	(7)	○	
	C 測 定	(1)ア(イ)	・ はかりの秤量や感量について理解している。	(5)	○	
		(1)イ(ア)	・ 長さ、重さ、かさの単位の関係を統合的に捉えることができる。	(8)		○
	D デ ー タ の 活 用	(1)イ(ア)	・ 複数の棒グラフを正しく読み取り、見いだした違いを言葉と数を用いて表現することができる。	(18)		○
第 4 学 年	A 数 と 計 算	(1)ア(ア)	・ 数直線上の大きな数を読み取ることができる。	(6)	○	
			・ 十進位取り記数法の意味を理解している。	(15)	○	
		(2)ア(イ)	・ 「以上」「未満」を用いて表す数の範囲を理解している。	(13)	○	
		(2)イ(ア)	・ 切り捨てた場合の見積もりを基に、結果を正しく判断することができる。	(14)		○
		(3)イ(ア)	・ 基準量を求めるために除法を用いることができる。	(12)	○	
			・ 見当を付けた商を修正する手順を説明することができる。	(10)		○
		・ 除法において、数を構成する単位に着目して、商や余りを考えることができる。	(11)		○	
	B 図 形	(5)ア(イ)	・ 180°より大きい角度を求めることができる。	(16)	○	
D デ ー タ の 活 用	(1)イ(ア)	・ 目的に応じて適切な折れ線グラフの一目盛りの大きさを判断することができる。	(17)		○	

小学校 4年 算数 小問別通過率と設定通過率

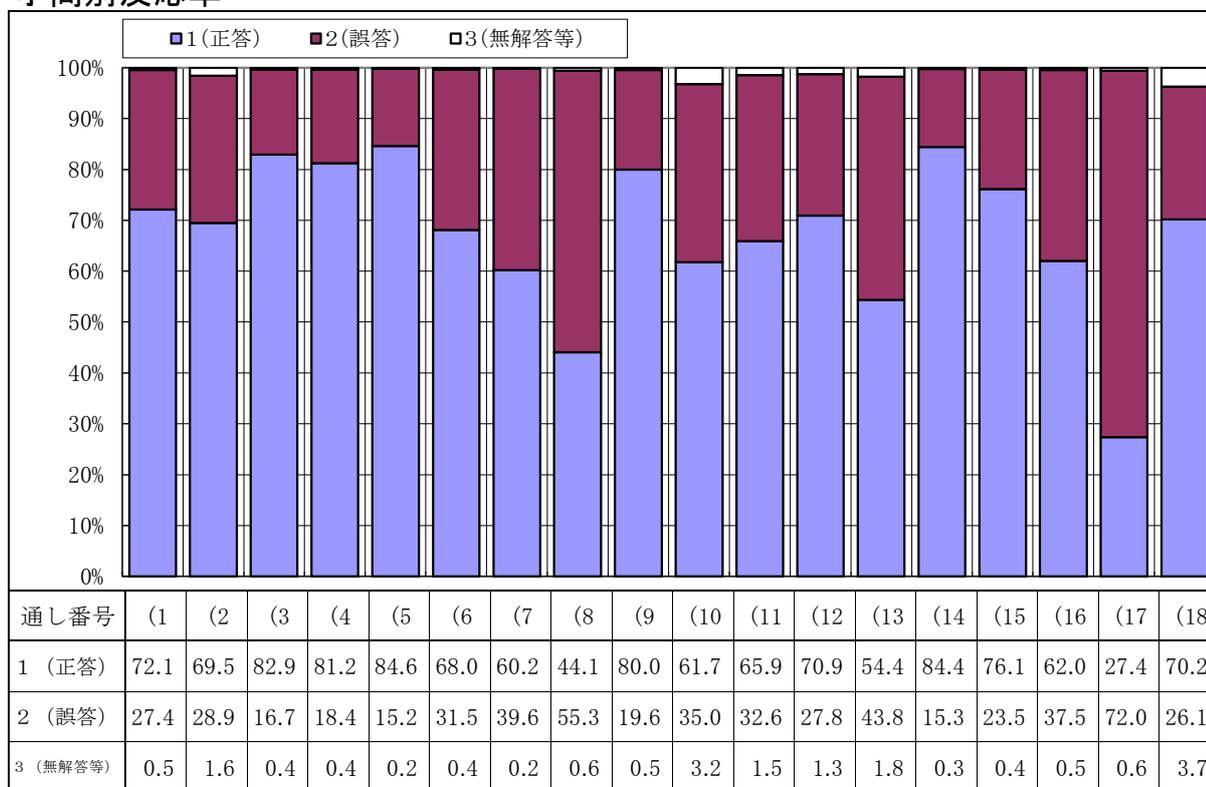
平均通過率 67.5%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	(3位数) × (2位数) の計算	72.1	80.0	
(2)	1 - (分数) の計算	69.5	80.0	
(3)	(小数) - (整数) の計算	82.9	85.0	
(4)	分数の意味理解と表現	81.2	80.0	
(5)	はかりの秤量や感量の理解	84.6	80.0	
(6)	大きな数の数直線上の読み取り	68.0	60.0	
(7)	円や球の理解	60.2	65.0	
(8)	単位の関係	44.1	60.0	
(9)	□を用いた式	80.0	85.0	
(10)	除法の筆算における商の立て方	61.7	70.0	
(11)	除法の計算の仕方と商と余りの理解	65.9	70.0	
(12)	基準量の求め方	70.9	70.0	
(13)	四捨五入する数の範囲	54.4	65.0	
(14)	目的に応じた概数での見積もりの判断	84.4	75.0	
(15)	十進位取り記数法の意味理解	76.1	80.0	
(16)	180° より大きい角度の測定	62.0	70.0	
(17)	目的に応じた折れ線グラフの一目盛りの大きさの判断	27.4	60.0	
(18)	棒グラフの読み取りと表現	70.2	65.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 4年 算数

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (177校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	8	17	19	24	22	2	2	4	14	6	10	12	7	16	8	11	2	7	
90%~100%	10	18	32	46	33	3	3		18	3	1	8	12	29	7	5		9	1
80%~90%	47	39	65	45	76	32	9	7	80	21	22	34	9	89	50	22		35	16
70%~80%	45	26	35	28	31	36	25	6	39	23	44	49	16	31	63	28	3	50	47
60%~70%	34	26	20	20	12	57	50	12	18	48	47	38	24	6	33	42	1	45	87
50%~60%	25	23	5	10	1	32	57	32	7	49	35	25	31	4	15	31	4	18	22
40%~50%	5	14			1	10	18	44		19	11	8	29		1	21	11	9	2
30%~40%		7		1		2	7	44		5	4	2	28			11	45	2	1
20%~30%	1	5		1		1	4	23		1	2		13			4	57		
10%~20%								5					4				43		1
0%~10%	2	2	1	2	1	2	2		1	2	1	1	4	2		2	11	2	

小学校4年 算数 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別		領 域 別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	数と計算	図形	測定	データの活用	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	10	4	10	2	1	1	14
-10% より低い	2	2	2	0	1	1	4
計	12	6	12	2	2	2	18

2 考察

(1) 全体について

- ①18問中14問が設定通過率の「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②領域別では「測定」が2問中1問、「データの活用」が2問中1問で設定通過率の「-10%より低い」であり、課題が見られる。

(2) 成果

- ①基準量を求めるために除法を用いることの理解について、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。
- ②数直線上の大きな数を読み取ることについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

(3) 課題

- ①単位の関係を統合的に捉えることについて、課題が見られる。
- ②「以上」「未満」を用いて表す数の範囲を理解することについて、令和元年度調査における同様の問題と比較して通過率の低下が見られる。

3 今後の指導

単位について表などに整理してまとめ、それぞれに共通する関係を調べたり、身の回りにある単位と既習の単位との関係を考えたりする学習活動の充実を図る。

[参考 通し番号(8) 通過率44.1% (設定通過率60.0%)

長さ、重さ、かさの単位について、次のように表に整理してまとめます。アにあてはまる数を の中に書きましょう。

		ア 倍	ア 倍	
長さ	1mm	1m	1km	
重さ		1g	1kg	
かさ	1mL	1L		

- ・長さ、重さ、かさの単位について整理してまとめた表などから、共通する関係を調べ、気付いたことを伝え合ったり、図や文章でまとめたりして、考察できるようにする。その際に、単位の前に付く接頭語の意味を確認することも大切である。
- ・kmやmLなど、日常生活で触れる機会が少ない単位もあるため、例えば、学校から1kmの道のりに当たるところを調べて、1mと比べるなどして、1000倍を実感をもって学ぶことができるようにする。

数直線を活用し、「以上」「以下」「未満」の用語を用いて、概数を作る場合の数の範囲を説明し伝え合うなどの算数的活動の充実を図る。

[参考 通し番号(13) 通過率54.4% (設定通過率65.0%)

四捨五入して百の位までのがい数にしたとき、800になる整数のはんいを以上と未満を使って表します。あてはまる数を の中に書きましょう。

750	以上	<input type="text"/>	未満
-----	----	----------------------	----

- ・身の回りから「以上」「以下」「未満」で表されている数の範囲を見付け、その数の範囲を話し合う活動を行うことで、それぞれの用語の意味を実感をもって理解できるようにする必要がある。
- ・四捨五入して概数を作る場合の数の範囲を数直線に表し、説明し伝え合うなどの活動を通して、「以下」と「未満」では含まれる数が違うことを確認することが大切である。

令和5年度秋田県学習状況調査 小学校第5学年 算数 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
第 4 学 年	A 数 と 計 算	(2)イ(ア)	・切り捨てた場合の見積もりを基に、結果を正しく判断することができる。	(7)		○
		(4)ア(イ)	・小数の相対的な大きさを理解している。	(6)	○	
		(5)ア(イ)	・(整数)－(帯分数)の計算ができる。	(2)	○	
		(6)イ(ア)	・式の意味を読み取り、式が表している問題場面を考えることができる。	(13)		○
	B 図 形	(1)ア(イ)	・平行四辺形の性質を理解している。	(9)	○	
		(2)ア(イ)	・直方体の辺と辺の平行の関係を理解している。	(17)	○	
		(4)イ(ア)	・ $1\text{ km} = 1000\text{ m}$ であることを基に、 1 km^2 が何 m^2 であることを説明することができる。	(12)		○
	C 変 化 と 関 係	(1)イ(ア)	・表や図を基に、伴って変わる二つの数量の対応における規則性を見いだすことができる。	(18)		○
	D デ ー タ の 活 用	(1)ア(ア)	・二次元の表に分類整理されたデータを読み取ることができる。	(14)	○	
	第 5 学 年	A 数 と 計 算	(1)ア(イ)	・最大公約数を用いて、正方形の一辺の長さを求めることができる。	(11)	○
(3)ア(ア)			・除数が1より小さいとき、商は被除数よりも大きくなることを理解している。	(3)	○	
			・基準量を求めるために除法を用いることができる。	(8)	○	
(3)ア(イ)			・(小数)×(小数)の計算ができる。	(1)	○	
(3)イ(ア)		・小数の除法において、余りを求める方法を説明することができる。	(16)		○	
B 図 形		(1)ア(ア)	・合同な三角形をかくために必要な要素について理解している。	(10)	○	
		(1)ア(イ)	・三角形の三つの角の大きさの和を基に、目的の角度を求めることができる。	(5)	○	
		(4)ア(イ)	・直方体の体積と縦、横の長さを基に、高さを求めることができる。	(15)	○	
C 変 化 と 関 係		(1)イ(ア)	・表を基に、簡単な場合の比例の関係を考え、判断することができる。	(4)		○

小学校 5年 算数 小問別通過率と設定通過率

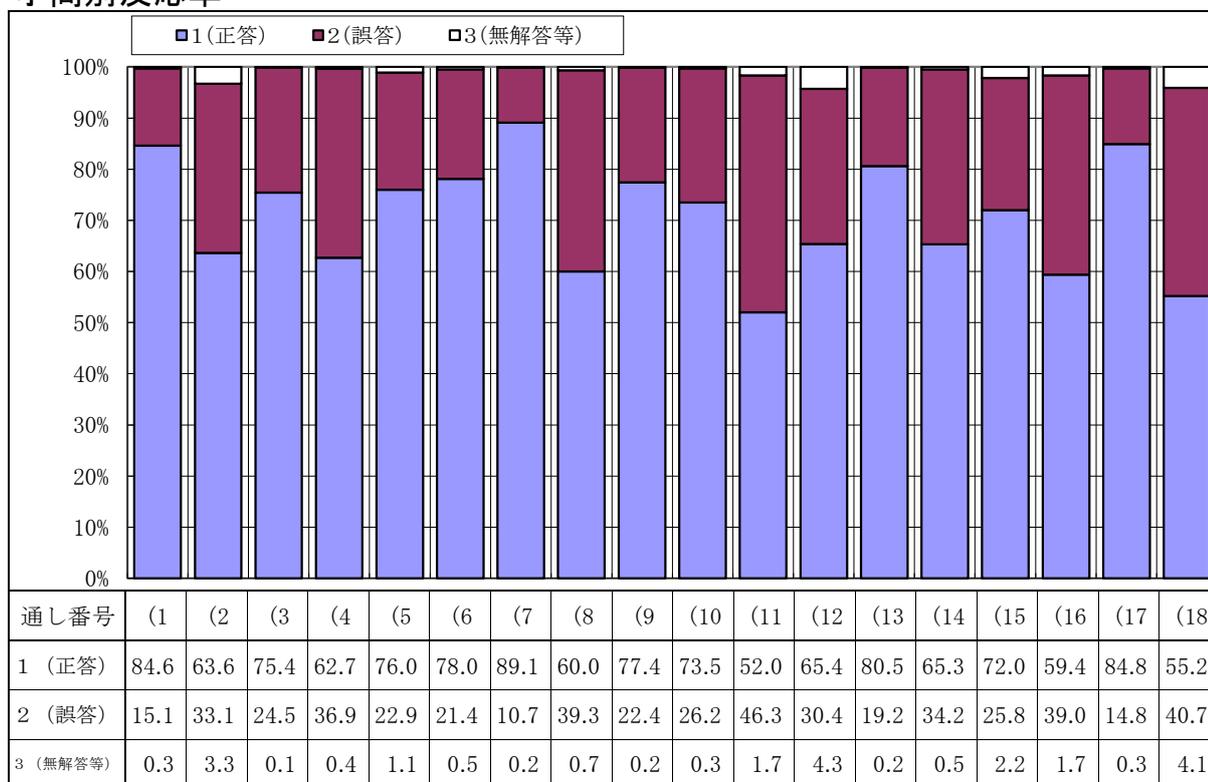
平均通過率 70.8%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	(小数) × (小数) の計算	84.6	80.0	
(2)	(整数) - (帯分数) の計算	63.6	75.0	
(3)	商と被除数の大きさの関係	75.4	75.0	
(4)	比例の関係	62.7	70.0	
(5)	三角形の三つの角の和の利用	76.0	70.0	
(6)	数の相対的な大きさ	78.0	80.0	
(7)	目的に応じた概数での見積もりの判断	89.1	80.0	
(8)	基準量の求め方	60.0	75.0	
(9)	平行四辺形の性質	77.4	80.0	
(10)	三角形の合同	73.5	65.0	
(11)	最大公約数の利用	52.0	70.0	
(12)	面積の単位の関係	65.4	65.0	
(13)	式の読み取り	80.5	80.0	
(14)	二次元表の読み取り	65.3	65.0	
(15)	直方体の高さの求め方	72.0	70.0	
(16)	小数の除法での余りの求め方	59.4	65.0	
(17)	直方体の辺と辺の平行の関係	84.8	80.0	
(18)	伴って変わる数量の関係の読み取り	55.2	65.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 算数

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (177校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	32	4	7	4	13	13	23	3	9	10	3	11	15	3	10	6	19		
90%~100%	38	8	17	7	21	20	71	1	13	11	4	10	21	5	9	10	36	4	2
80%~90%	61	25	46	20	53	53	65	9	62	42	7	36	70	21	39	20	88	17	24
70%~80%	35	35	51	25	48	53	14	23	48	53	14	29	55	29	48	31	23	17	83
60%~70%	10	41	39	57	30	27	3	52	30	39	43	38	11	56	48	38	11	34	57
50%~60%	1	27	14	35	12	10	1	54	11	14	37	30	5	40	18	28		50	11
40%~50%		22	2	13				22	2	6	31	15		16	2	22		34	
30%~40%		8		10		1		8	2	1	23	8		6	2	14		10	
20%~30%		4	1	3				4		1	11			1	1	6		5	
10%~20%		1		1							3					2		4	
0%~10%		2		2				1			1							2	

小学校 5 年 算数 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の 分類	観 点 別		領 域 別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	数と計算	図形	変化と関係	データの活用	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	9	6	6	6	2	1	15
-10% より低い	3	0	3	0	0	0	3
計	12	6	9	6	2	1	18

2 考察

(1) 全体について

- ①18問中15問が設定通過率の「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②観点別では「知識・技能」、領域別では「数と計算」にやや課題が見られる。

(2) 成果

- ①切り捨てた場合の見積もりを基に、結果を正しく判断することについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。
- ②三角形の三つの角の大きさの和を基に、目的の角度を求めることについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

(3) 課題

- ①基準量を求めるために除法を用いることについて、課題が見られる。
- ②最大公約数を用いて、正方形の一辺の長さを求めることについて、課題が見られる。

3 今後の指導

2つの数量関係を数直線や図などに表し、それを用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の充実を図る。

【参考 通し番号(8) 通過率60.0% (設定通過率75.0%)
赤色のテープと青色のテープの長さについて、次のことがわかっています。

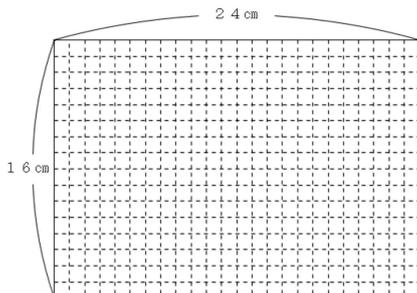
赤色のテープの長さは 1.2 mです。
赤色のテープの長さは、青色のテープの長さ
0.6 倍です。

青色のテープの長さを求める式を の中に書き
ましょう。ただし、計算の答えを求める必要はありません。

- ・今年度本調査においては、基準量を求める同様の問題について、第4学年では整数、第5学年では小数、第6学年では分数と、数値を変えて出題している。除数が小数や分数の場合でも、整数の場合と同様に考えることができることを、学び直しの機会を設けて理解できるようにする必要がある。
- ・指導に当たっては、除法の見方を一般化して、1に当たる大きさを求める計算と捉えることができるよう、公式や言葉の式だけでなく、数直線や図などを用いたり具体的な場面に当てはめたりして、説明し伝え合う活動を取り入れることが大切である。

乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成を考えたりする数学的活動の充実を図る。

【参考 通し番号(11) 通過率52.0% (設定通過率70.0%)
たてが16 cm、横が24 cmの長方形の紙を、あまりがでないようにできるだけ大きな同じ大きさの正方形に切り分けます。正方形の1辺の長さは何cmになりますか。答えを の中に書きましょう。



- ・整数の性質を学習する際には、乗法的な構成に着目し、例えば、16と24を 2×8 と 2×12 とみて共通点を見付けるなど、新たな視点から整数を捉え直し、様々な場面に活用するとともに、数に対する感覚をより豊かにできるように指導する必要がある。
- ・最大公約数や最小公倍数を形式的に求めることに偏ることなく、日常の事象における場面に着目し、目的に合った解決方法について考えたり、それが適切かどうかを図に書き込みながら振り返ったりする場面を設定することが大切である。

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
第 5 学 年	A 数 と 計 算	(5)ア(ア)	・異分母の分数の加法の計算ができる。	(1)	○	
	B 図 形	(1)ア(イ)	・三角形の三つの角の大きさの和を基に、目的の角度を求めることができる。	(5)	○	
		(1)ア(エ)	・直径の長さと同周の長さの関係を理解している。	(8)	○	
		(3)イ(ア)	・示された図を基に、三角形の底辺と高さが等しいことに着目して、二つの三角形の面積が等しいことを説明することができる。	(10)		○
	C 変 化 と 関 係	(2)ア(ア)	・距離と時間から、速さを求めることができる。	(11)	○	
		(2)イ(ア)	・異種の二つの数量の大きさの比べ方を説明することができる。	(7)		○
		(3)ア(イ)	・百分率で表された割合の意味について理解している。	(14)	○	
	D デ ー タ の 活 用	(1)イ(ア)	・目的に応じて、帯グラフから読み取った内容を説明することができる。	(18)		○
		(2)ア(ア)	・平均の考え方を基に、平均値を求めることができる。	(3)	○	
	第 6 学 年	A 数 と 計 算	(1)ア(ア)	・小数及び分数の除法で、除数と商の大きさの関係について理解している。	(6)	○
			・示された場面における数量の関係を理解し、分数の除法の式で表すことができる。	(13)	○	
(1)ア(イ)			・分数÷分数の計算ができる。	(2)	○	
(1)イ(ア)			・分数の乗法の計算の仕方を解釈し、示された数の場合の計算の仕方を説明することができる。	(9)		○
(2)イ(ア)			・文字を用いた式に合う問題場面を選択することができる。	(4)		○
		・長方形において、辺の長さの関係を捉え、横の長さを文字を用いた式で表すことができる。	(17)		○	
B 図 形		(1)ア(イ)	・線対称、点対称の意味を理解している。	(16)	○	
			・対称な図形において、対称の中心を利用して対応する点をかくことができる。	(12)	○	
	(3)ア(ア)	・円の1/4の面積を求めることができる。	(15)	○		

小学校 6年 算数 小問別通過率と設定通過率

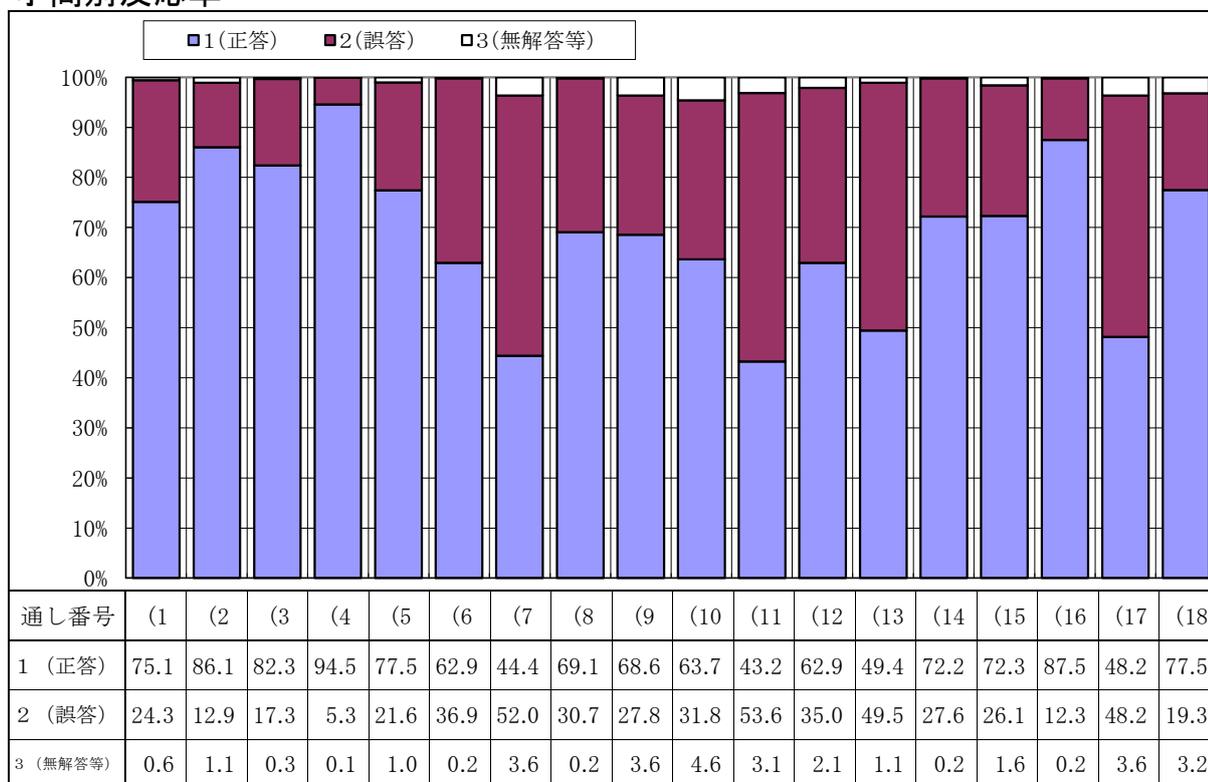
平均通過率 68.7%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	(分数) + (分数) の計算	75.1	85.0	
(2)	(分数) ÷ (分数) の計算	86.1	90.0	
(3)	平均と測定値	82.3	80.0	
(4)	文字を用いた式	94.5	85.0	
(5)	三角形の三つの角の和の利用	77.5	75.0	
(6)	小数及び分数の除法	62.9	70.0	
(7)	単位量当たりの大きさ	44.4	60.0	
(8)	直径の長さと同周の長さの関係	69.1	65.0	
(9)	分数の乗法の計算の仕方	68.6	70.0	
(10)	三角形の面積	63.7	60.0	
(11)	速さ、時間、距離の関係	43.2	60.0	
(12)	点対称な図形における対応する点の作図	62.9	70.0	
(13)	基準量と比較量の関係	49.4	60.0	
(14)	割合	72.2	70.0	
(15)	おうぎ形の面積	72.3	75.0	
(16)	線対称、点対称な図形	87.5	80.0	
(17)	文字式の利用	48.2	60.0	
(18)	必要な情報の読み取りと数学的な説明	77.5	65.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 6年 算数

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (178校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	10	28	8	67	6	1	3	4	7	2	2	4	1	8	7	26		13	
90%~100%	20	57	27	84	18	3	3	8	8	5	2	6		6	15	59	2	12	2
80%~90%	48	56	86	24	61	20	4	27	37	26	2	20	3	29	36	66	13	61	18
70%~80%	44	27	43	3	58	34	9	55	51	36	10	34	9	66	52	24	16	56	70
60%~70%	29	7	12		27	61	17	49	32	41	16	46	28	44	41	2	27	26	60
50%~60%	16	3	2		7	27	32	21	22	35	33	40	46	19	17	1	36	9	26
40%~50%	6					16	39	13	14	16	46	18	45	4	5		31		2
30%~40%	2					8	34		4	11	31	6	31		3		25		
20%~30%	2					4	27		1	1	28	3	13	1	1		15		
10%~20%						2	6			1	8						8		
0%~10%	1				1	2	4	1	2	4		1	2	1	1		5	1	

小学校6年 算数 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別		領 域 別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	数と計算	図形	変化と関係	データの活用	
+10% より高い	0	1	0	0	0	1	1
±10% の範囲内	10	3	5	6	1	1	13
-10% より低い	2	2	2	0	2	0	4
計	12	6	7	6	3	2	18

2 考察

(1) 全体について

- ①18問中14問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②領域別では「変化と関係」が3問中2問で設定通過率の「-10%より低い」であり、課題が見られる。

(2) 成果

- ①示された図を基に、三角形の底辺と高さが等しいことに着目して、二つの三角形の面積が等しいことを説明することについて、令和5年度全国学力・学習状況調査における問題と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。
- ②目的に応じて、帯グラフから読み取った内容を説明することについて、正答率が設定通過率より10%以上高く、指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ①異種の二つの数量の大きさの比べ方を説明することについて、課題が見られる。
- ②長方形の辺の長さの関係を捉え、横の長さを文字を用いた式で表すことについて、課題が見られる。

3 今後の指導

単位量当たりの大きさを求める除法の式を基に商の意味を考える学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(7) 通過率44.4% (設定通過率60.0%)

りくさんの町では、町にある2つの体育館を使ってレクリエーションを行いました。次の表は、「体育館A」と「体育館B」の床の面積と、それぞれの体育館に集まった人数を表したものです。

	面積 (m ²)	人数 (人)
体育館A	1760	64
体育館B	1044	45

りくさんは、どちらの体育館のほうが混んでいるかを調べるために、次の計算をしました。

【りくさんの計算】

体育館A $1760 \div 64 = 27.5$, 体育館B $1044 \div 45 = 23.2$

「体育館A」と「体育館B」のうち、混んでいるほうを○で囲みましょう。

また、そのわけを、【りくさんの計算】からわかることをもとに、言葉や数を使って

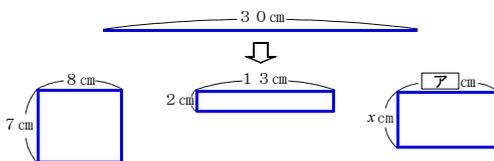
□の中に書きましょう。

- ・混み具合を調べる際には、単位面積当たりの人数を比べる場合と、単位人数当たりの面積を比べる場合がある。どちらを単位量として設定しているか判断できるように、それぞれの場合の式の意味を図や数直線などと関連付けて捉えることができるようにすることが大切である。
- ・単位量によって、商が大きい方が混んでいる場合と、小さい方が混んでいる場合があるため、例えば、人数が同じなら面積が小さい方が混んでいると判断できるなど、日常の経験と結び付けて、商の意味を正しく捉えることができるようにすることが大切である。

問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現する学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(17) 通過率48.2% (設定通過率60.0%)

次の図のように、長さが30cmの針金を使って周りの長さが30cmの長方形をいろいろつくります。このとき、長方形の縦の長さや横の長さについて下のようにとまめました。アにあてはまる長さを、xを使った式で表し、□の中に書きましょう。



縦の長さが x cm の長方形をつくる時、この長方形の横の長さは ア cm になります。

- ・長方形の縦と横の長さの和は、長方形の周りの長さの半分の長さに等しいという数量の関係について、図、具体的な数、表などを用いて捉えることができるようにすることが大切である。
- ・求めたい数量を、全体量から部分量を引いて表すことについて、内容の系統性を踏まえ、様々な単元において意図的に学び直す機会を設けることが大切である。

令和5年度秋田県学習状況調査 中学校第1学年 数学 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
小学 校 第 5 学 年	C 変 化 と 関 係	(2)ア(ア)	・距離と時間から、速さを求めることができる。	(3)	○	
小学 校 第 6 学 年	B 図 形	(1)イ(ア)	・縮図の考え方をを用いて、実際の長さを求めることができる。	(10)		○
		(4)イ(ア)	・直方体と三角柱の体積が等しいことを基に、三角柱の高さを求めることができる。	(12)		○
	C 変 化 と 関 係	(1)イ(ア)	・具体的な場面で、比例の関係をを用いて答えを求めるために必要な数量を見いだすことができる。	(11)		○
			・表を基に反比例の関係を考え、判断することができる。	(15)		○
		(2)ア(ア)	・具体的な事象における数量の比の関係を基に、目的の数量を求めることができる。	(14)	○	
		(2)イ(ア)	・比例の関係を表すグラフを利用し、問題解決の方法を説明することができる。	(13)		○
	D デ ー タ の 活 用	(1)ア(ア)	・与えられたデータから、最頻値を求めることができる。	(8)	○	
		(2)イ(ア)	・組み合わせについて、落ちや重なりがないように調べる方法を考えることができる。	(9)		○
中 学 校 第 1 学 年	A 数 と 式	(1)ア(イ)	・正負の数の四則の混じった式の計算ができる。	(1)	○	
		(1)ア※	・素数について理解している。	(4)	○	
		(1)イ(イ)	・具体的な場面で正負の数を利用し、問題解決の方法を説明することができる。	(18)		○
		(2)ア(ア)	・図を基に、棒の本数の求め方を、文字を用いた式で表すことができる。	(17)	○	
		(2)ア(ウ)	・一次式と数の除法の計算ができる。	(2)	○	
		(2)ア(エ)	・事象の中にある数量を、文字を用いた式で表すことができる。	(5)	○	
			・事象の中にある数量の関係を、等式で表すことができる。	(6)	○	
		(3)ア(イ)	・ x の係数が小数の一次方程式を解くことができる。	(7)	○	
(3)イ(イ)	・具体的な場面で、一次方程式をつくることができる。	(16)		○		

※の問題は、「内容の取扱い」から出題している。

中学校 1年 数学 小問別通過率と設定通過率

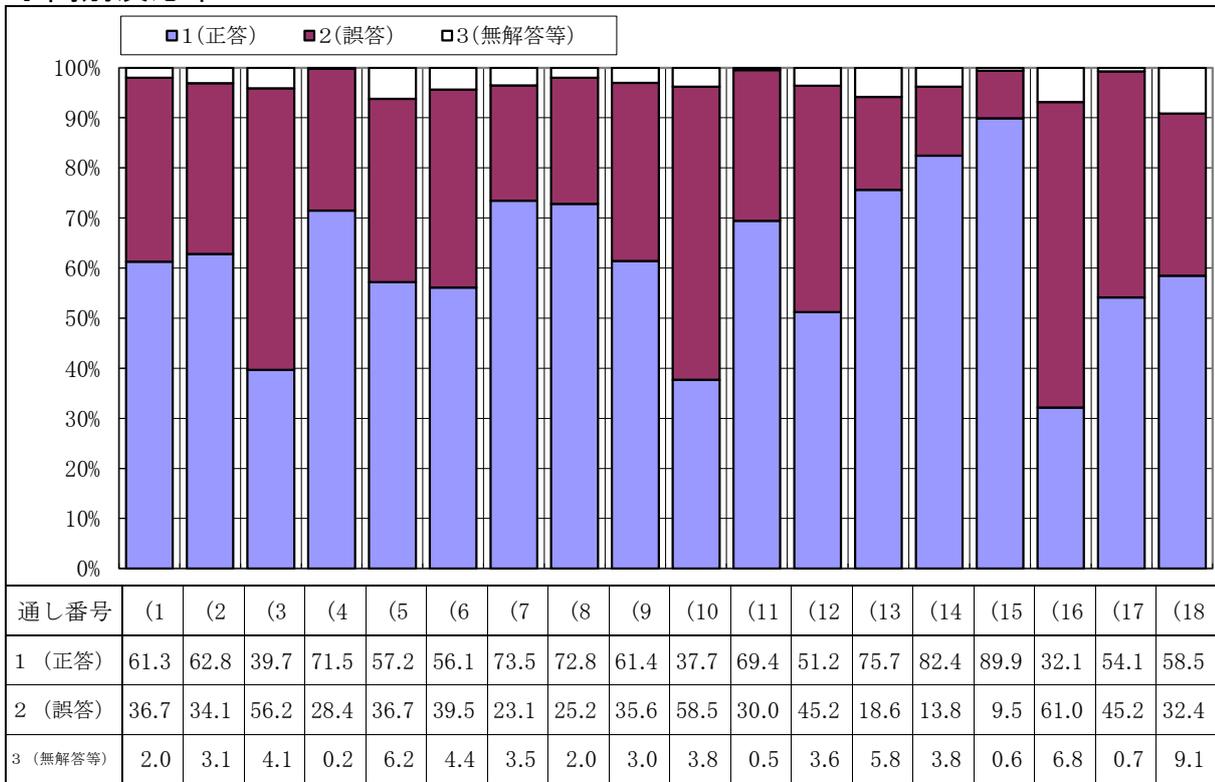
平均通過率 61.5%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	正負の数の四則の混じった式の計算	61.3	80.0	
(2)	一次式と数の除法の計算	62.8	75.0	
(3)	速さ, 時間, 距離の関係	39.7	70.0	
(4)	素数	71.5	70.0	
(5)	文字を用いた式	57.2	65.0	
(6)	数量の関係の等式	56.1	65.0	
(7)	xの係数が小数の一次方程式	73.5	70.0	
(8)	最頻値	72.8	70.0	
(9)	起こり得る場合の数	61.4	70.0	
(10)	縮図の利用	37.7	65.0	
(11)	比例の関係	69.4	75.0	
(12)	角柱の高さ	51.2	70.0	
(13)	比例のグラフの利用	75.7	70.0	
(14)	比の関係	82.4	70.0	
(15)	反比例	89.9	80.0	
(16)	一次方程式	32.1	65.0	
(17)	文字を用いた式	54.1	65.0	
(18)	正負の数の利用	58.5	65.0	

※「—」は設定通過率±10%を示している。

中学校 1年 数学

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (105校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	1	3		3	1	2	6	3	1		5	1	2	4	15		2	3	
90%~100%	2	4	1	11	1	3	6	6	3		7	1	10	10	44			2	1
80%~90%	6	5	1	22	4		28	15	6		24	4	24	57	44		4	7	2
70%~80%	15	31		30	15	6	26	39	15	2	26	3	43	27	2	3	10	12	10
60%~70%	35	18	2	23	23	27	25	33	33	6	26	10	20	6			13	25	46
50%~60%	26	25	8	10	35	35	11	8	27	14	9	33	5	1		4	41	28	44
40%~50%	14	16	35	5	19	22	2	1	16	19	7	36	1			16	23	22	2
30%~40%	5	2	35	1	5	8	1		2	35		15				23	9	5	
20%~30%		1	17		1				1	21	1					39	3	1	
10%~20%			4			1				7		1				15			
0%~10%	1		2		1	1			1	1		1				5			

中学校 1 年 数学 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別		領 域 別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	数と式	図形	変化と関係	データの活用	
+10% より高い	1	0	0	0	1	0	1
±10% の範囲内	5	5	5	0	3	2	10
-10% より低い	4	3	4	2	1	0	7
計	10	8	9	2	5	2	18

2 考察

(1) 全体について

- ①18問中7問が設定通過率の「-10%より低い」であり、学習内容の定着状況が十分とは言えない設問もある。
- ②領域別では「数と式」が9問中4問、「図形」が2問中2問で設定通過率の「-10%より低い」であり、課題が見られる。

(2) 成果

- ①素数の理解について、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。
- ②具体的な場面で、比例の関係を用いて答えを求めるために必要な数量を見いだすことについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

(3) 課題

- ①正負の数の四則の混じった式の計算をすることについて、課題が見られる。
- ②具体的な場面で、一次方程式をつくることについて、課題が見られる。

3 今後の指導

正負の数の四則計算の習熟を図る。

[参考 通し番号(1) 通過率61.3%
(設定通過率80.0%)

$-12 - 6 \div (-3)$ を計算しなさい。

- ・ $-12 - 6 \div (-3)$ のような計算において、『-6』の「-」を演算記号と考えるのか、符号と考えるのかによって、計算過程が異なることから、二つの計算過程の式を考察する活動を取り入れるなどして理解を深められるようにする。
- ・ 加法と減法を統一的に見て、正の項や負の項の和として捉えて計算することで、簡潔に処理できるよさを確認することが重要である。
- ・ 上記のような式の見方や四則計算について、正の数と負の数の学習の中だけではなく、文字を用いた式や方程式などの学習の中でも習熟が図られるようにする必要がある。

具体的な場面で、一次方程式をつくる学習活動の充実を図る。

[参考 通し番号(16) 通過率32.1%
(設定通過率65.0%)

あるお店で、1個60円のゼリーと1個90円のプリンを合わせて10個買ったところ、代金の合計は720円になりました。ゼリーを何個買ったでしょうか。買ったゼリーの個数を x 個として方程式をつくりなさい。ただし、つくった方程式を解く必要はありません。

- ・ 本設問の場面では、数量の関係を把握できるようにするために、具体的な個数を設定して代金を表す式を考えたり、数量について言葉でまとめたり、個数の関係と代金の関係を表などで整理したりする活動を取り入れることが有効である。
- ・ つくった方程式の $(10-x)$ 、 $90(10-x)$ などの文字式について、 x に具体的な数を代入したり、言葉でまとめたことに立ち返ったりしながら、方程式をつくる過程を振り返る場面を意図的に設定することが大切である。

令和5年度秋田県学習状況調査 中学校第2学年 数学 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
小 学 校 第 6 学 年	B 図 形	(1)イ(ア)	・縮図の考え方をを用いて、実際の長さを求めることができる。	(6)		○
中 学 校 第 1 学 年	A 数 と 式	(1)ア※	・素数について理解している。	(2)	○	
	B 図 形	(1)ア(ア)	・2点が重なるように折るときの折り目を、線分の垂直二等分線を用いて作図することができる。	(7)	○	
		(2)ア(ア)	・空間における平面が1つに決まるための条件を理解している。	(9)	○	
		(2)ア(イ)	・正四角錐の体積を求めることができる。	(8)	○	
	C 関 数	(1)ア(エ)	・反比例の関係を表に表すことができる。	(12)	○	
	D デ ー タ の 活 用	(1)ア(ア)	・データの範囲を求めることができる。	(16)	○	
			・累積度数を求めることができる。	(10)	○	
(1)イ(ア)	・グラフから必要な情報を読み取って判断し、適切ではない理由を説明することができる。	(17)		○		
中 学 校 第 2 学 年	A 数 と 式	(1)ア(ア)	・多項式と数の除法の計算ができる。	(1)	○	
			・単項式の除法の計算ができる。	(3)	○	
			・多項式の次数について理解している。	(4)	○	
	(1)ア(エ)	・等式を目的に応じて変形することができる。	(5)	○		
	(1)イ(イ)	・連続する5つの整数の和が中央の整数の5倍になることを、文字を使った式を用いて説明することができる。	(18)		○	
	(2)イ(イ)	・具体的な事象において、数量の関係を捉えて連立方程式をつくることができる。	(11)		○	
	C 関 数	(1)ア(ア)	・一次関数の変化の割合の意味を理解している。	(13)	○	
(1)イ(ア)		・具体的な事象について、一次関数のグラフを用いて考えることができる。	(14)		○	
(1)イ(イ)		・具体的な事象について、グラフを利用して解決する方法を説明することができる。	(15)		○	

※の問題は、「内容の取扱い」から出題している。

中学校 2年 数学 小問別通過率と設定通過率

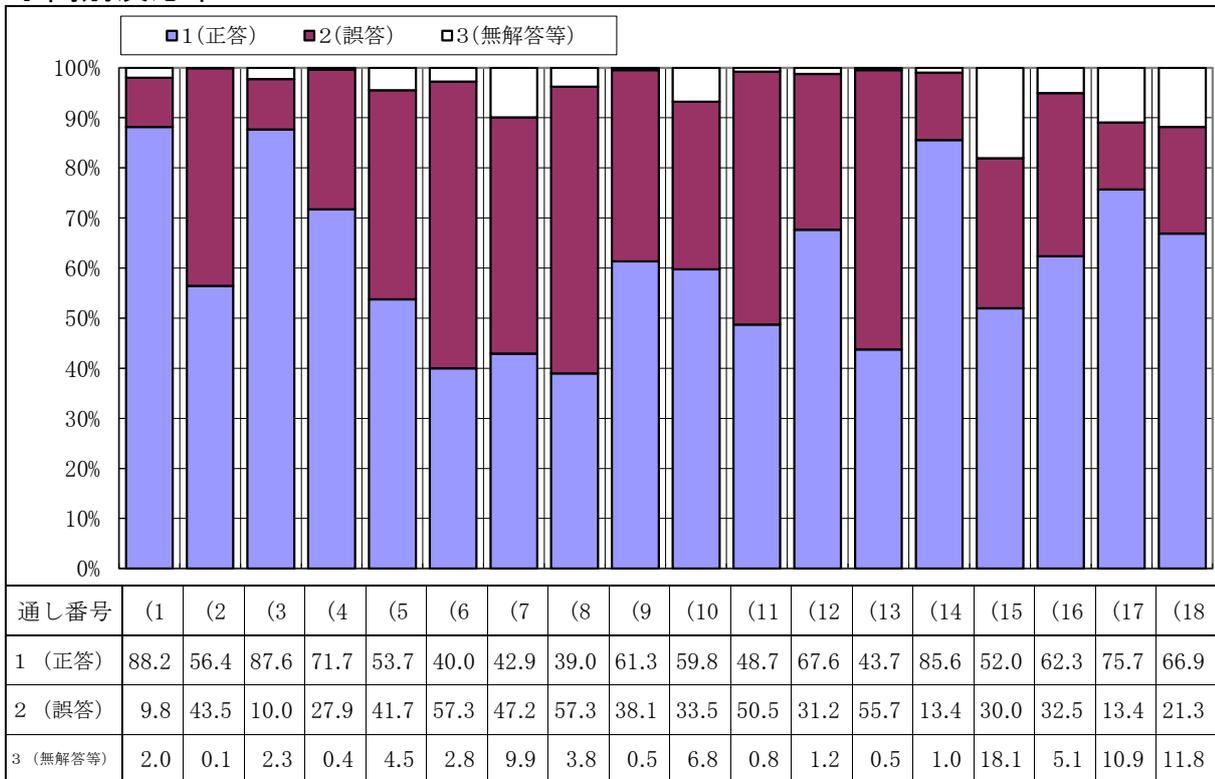
平均通過率 61.3%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	多項式と数の除法	88.2	80.0	
(2)	素数	56.4	75.0	
(3)	単項式の除法	87.6	80.0	
(4)	多項式の次数	71.7	75.0	
(5)	等式の変形	53.7	70.0	
(6)	縮図の利用	40.0	70.0	
(7)	垂直二等分線の作図	42.9	65.0	
(8)	正四角錐の体積	39.0	65.0	
(9)	空間における平面の決定条件	61.3	70.0	
(10)	累積度数	59.8	65.0	
(11)	連立方程式の立式	48.7	60.0	
(12)	反比例	67.6	70.0	
(13)	一次関数の変化の割合	43.7	65.0	
(14)	一次関数のグラフの読み取り	85.6	80.0	
(15)	一次関数の利用	52.0	65.0	
(16)	データの範囲	62.3	70.0	
(17)	データを根拠にした説明	75.7	75.0	
(18)	文字を用いた説明	66.9	70.0	

※「—」は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 数学

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (106校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	11	3	13	3	1		1	1	1	2	2	4	2	6	2	3	3	3	
90%~100%	36	1	31	6	1					5		8		29	2	5	9	3	1
80%~90%	49	11	50	22	2	1	1	2	7	11	2	17	2	52	2	14	29	16	3
70%~80%	8	12	10	37	7	2	6	3	13	21	1	30	3	17	10	19	39	25	11
60%~70%	1	22	1	23	19	3	10	5	43	20	8	21	11	1	17	26	14	24	44
50%~60%		27		6	35	14	13	10	30	22	33	17	21		32	18	9	27	44
40%~50%		21		8	21	29	27	27	9	14	38	6	30		22	7	1	5	2
30%~40%		7			16	30	34	34	2	6	18	2	26		10	10		2	
20%~30%					4	22	11	18		4	2		8		4	3	2		
10%~20%		1				3		3			1	1	2		4				1
0%~10%	1	1	1	1		2	3	3	1	1	1		1	1	1	1		1	

中学校 2 年 数学 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別		領 域 別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	数と式	図形	関数	データの活用	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	7	3	4	1	2	3	10
-10% より低い	5	3	3	3	2	0	8
計	12	6	7	4	4	3	18

2 考察

(1) 全体について

- ①18問中 8 問が設定通過率の「-10%より低い」であり、学習内容の定着状況が十分とは言えない設問もある。
- ②領域別では「図形」が 4 問中 3 問で設定通過率の「-10%より低い」であり、課題が見られる。

(2) 成果

- ①多項式の次数について理解することについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。
- ②データの範囲を求めることについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

(3) 課題

- ①等式を目的に応じて変形することについて、課題が見られる。
- ②正四角錐の体積を求めることについて、課題が見られる。

3 今後の指導

目的に応じて式を変形することができるように、具体的な場面を設定した学習活動の充実を図る。

[参考 通し番号(5) 通過率53.7%
(設定通過率70.0%)

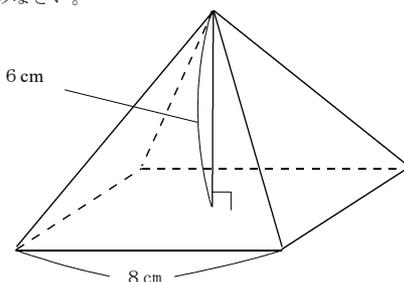
等式 $4x - y = 2$ を y について解きなさい。

- ・面積を求める式を底辺を求める式に変形したり、体積を求める式を高さを求める式に変形したりするなど、具体的な場面を設定することで、式を変形することのよさや必要性を実感できるようにすることが大切である。
- ・指導に当たっては、「 $-y$ 」において y の係数は -1 であることを確認するとともに、 y について解くことは y の係数を 1 にすることであることや、変形するには両辺を y の係数で割ればよいことなど、係数の意味や式変形の際の操作について理解を深めることができるようにする。
- ・一次関数の学習を等式の変形の学び直しの機会と捉え、二元一次方程式のグラフをかくために y について解く際、式変形の手順を等式の性質から見直すことができるようにする必要がある。

錐体の体積について、柱体の体積と関連付けた学習活動の充実を図る。

[参考 通し番号(8) 通過率39.0%
(設定通過率65.0%)

次の図のような正四角錐があります。この正四角錐の体積を求めなさい。



- ・錐体の体積が柱体の体積の $\frac{1}{3}$ になることを暗記するのではなく、錐体の容器に入った水を、底面積が等しい柱体の容器に移す実験をするなど、実感を伴った理解が図られるようにすることが大切である。
- ・学習内容を確実に身に付けることができるようにするために、底面が合同で高さが等しい柱体との比較を通して体積を考えさせ、立体の体積を求めるにはどの要素が分かればよいか、どの手順で求めるとよいかを、筋道を立てて説明し伝え合う活動を取り入れることが考えられる。

4 結果と考察 (4)理科

令和5年度秋田県学習状況調査 小学校第4学年 理科 評価規準と評価の観点

学 年	区 分	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
第 3 学 年	B 生 命 ・ 地 球	(1)ア (ウ)	・植物の育ち方には、一定の順序があることを理解している。	(1)	○	
		(2)ア (ア)	・影は、太陽と反対側にできることを理解している。	(2)	○	
		(2)イ	・影の向きの変化と太陽の位置の変化を関係付けて考察し、表現している。	(3)		○
	A	(4)イ	・磁石にはN極とS極があることと磁石の性質を関係付けて考察し、表現している。	(4)		○
		(3)イ	・音の性質と物の震えを関係付けて考察し、表現している。	(5)		○
		(1)イ	・物は、形が変わっても重さは変わらないことを考察し、表現している。	(6)		○
第 4 学 年	A	(3)ア (ア)	・乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを理解している。	(7)	○	
		(3)ア (ア)	・乾電池の数やつなぎ方を変えると電流の大きさが変わることを理解している。	(8)	○	
	B 生 命 ・ 地 球	(4)ア (ア)	・気温の測り方に関する技能を身に付けている。	(9)	○	
		(4)イ	・天気と気温の変化の様子を関係付けて考察し、表現している。	(10)		○
		(5)ア (ア)	・方位磁針の操作に関する技能を身に付けている。	(11)	○	
		(5)イ	・月の見える形と月の見える位置の変わり方を考察し、表現している。	(12)		○

・区分欄のAは「物質・エネルギー」を示している。

小学校 4年 理科 小問別通過率と設定通過率

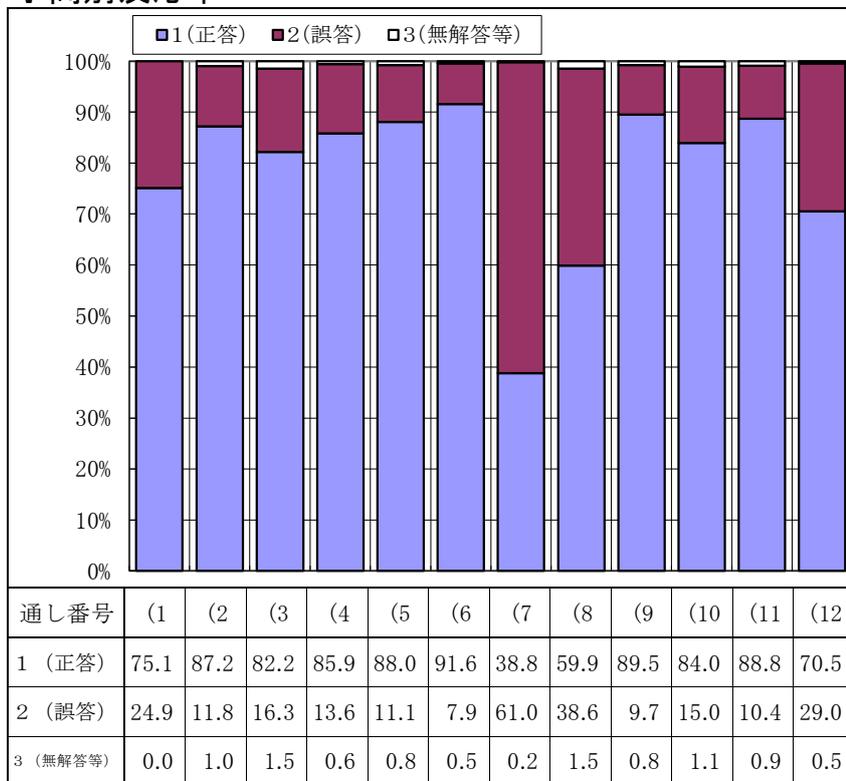
平均通過率 78.5%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	ハウセンカの育ち方	75.1	80.0	
(2)	太陽の位置と影の位置との関係	87.2	80.0	
(3)	太陽の位置の変化と影の位置の変化との関係	82.2	70.0	
(4)	磁石の性質	85.9	70.0	
(5)	音の伝わり	88.0	80.0	
(6)	物の形と重さ	91.6	70.0	
(7)	乾電池のつなぎ方と電流の向き	38.8	70.0	
(8)	乾電池のつなぎ方と電流の大きさ	59.9	70.0	
(9)	気温の測り方	89.5	70.0	
(10)	天気による気温の変化	84.0	70.0	
(11)	方位磁針の使い方	88.8	80.0	
(12)	月の見え方	70.5	70.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 4年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (177校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	平均通過率
100%	12	25	30	24	35	48		8	47	38	45	13	
90%~100%	13	46	41	43	55	76		2	60	37	54	7	14
80%~90%	51	78	46	75	54	49	3	22	47	55	57	33	73
70%~80%	42	19	35	29	24	2	10	20	15	29	17	43	71
60%~70%	40	4	20	4	8	2	11	41	5	14	3	44	18
50%~60%	13	3	4	1			20	39	1	2		26	
40%~50%	3						36	25		1		6	
30%~40%	2						39	12	1			3	1
20%~30%							40	5				2	
10%~20%							10	1					
0%~10%	1	2	1	1	1		8	2	1	1	1		

小学校4年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別		内 容 区 分 別		計
	知識・技能	思考・判断・表現	物質・エネルギー	生命・地球	
+10%より高い	1	4	2	3	5
±10%の範囲内	3	2	1	4	5
-10%より低い	2	0	2	0	2
計	6	6	5	7	12

2 考察

(1) 全体について

12問中10問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①「思考・判断・表現」に関する設問は通過率の平均が83.7であり、設定通過率よりも12.0ポイント上昇し、良好な状況である。

②類似問題については、全ての設問で通過率が上昇している。特に、通し番号(10「天気による気温の変化」)に関する設問の通過率は、昨年度と比べて17.9ポイント上昇し、指導の改善が図られている。

(3) 課題

①植物の育ち方には、一定の順序があることを理解することについて、課題が見られる。

②乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを理解することについて、課題が見られる。

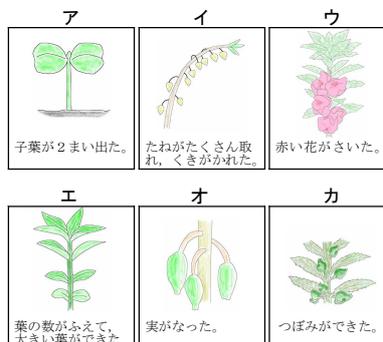
3 今後の指導

観察を通して気付いたことを説明したり、成長の過程を比較して考えたりする活動の充実を図る。

- 季節による成長の変化が明確な植物を観察の対象とし、定期的に観察する活動を取り入れることが大切である。
- 通し番号(1)については、例えば、植物の育ち方には一定の順序があることを捉えられるよう、植物の成長を各過程で観察する際には、観察カードや1人1台端末内の画像に気付いたことを言葉で記録する活動が考えられる。また、他の植物の成長の過程と比較することができるよう、観察する時期を工夫して、共通点や差異点等の児童の気付きを重視する活動も考えられる。

【参考 通し番号(1)】

まもるさんは、春にホウセンカのたねをまいて育てました。次のア～カは、まもるさんがかいたホウセンカの記ろくカードです。アが最初に観察したものであるとき、イ～カをホウセンカが育つじゆんに正しくならべかえて、の中に記号を書きなさい。

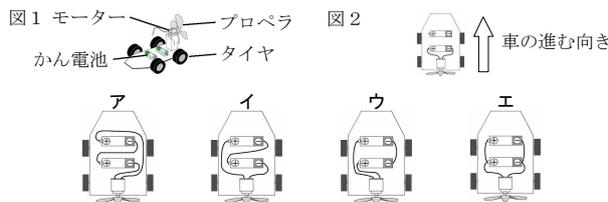


実感を伴って理解することにつながるよう、学習活動を工夫する。

- 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、モーターの回り方が変わるなど、条件によって動作の様子が変わることを実感を伴って理解できるようにすることが大切である。
- 通し番号(7)については、例えば、乾電池の数やつなぎ方を変えたときのモーターの回り方の違いや流れる電流の強さについて学習した後に、電気の性質を活用したものをつくる活動を取り入れることが考えられる。直接体験を通して、電流の向きでモーターの回る向きが変わること、直列つなぎではモーターの回る速さが速くなることや並列つなぎではモーターの回る速さがほとんど変わらないことなどを改めて確認し、表現することは、実感を伴った理解につながると考えられる。

【参考 通し番号(7)】

かおりさんは、図1のようなプロペラが回って動く車をつくり、かん電池の数やかん電池とモーターのつなぎ方を変えて、車の進む向きや車の速さを調べました。図2は、かん電池1こをモーターにつないだときの車を上から見たときのようすと車の進む向きを矢印で表しています。下のア～エは、かん電池2こをモーターにつないだときのようすです。



(1) 図2の車の進む向きと同じ向きに、車を動かすことができるかん電池とモーターのつなぎ方はどれですか、ア～エから2つ選んで、の中に記号を書きなさい。

令和5年度秋田県学習状況調査 小学校第5学年 理科 評価規準と評価の観点

学 年	区 分	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
第 4 学 年	B 生 命 ・ 地 球	(2)ア (7)(イ)	・季節による動物の活動や植物の成長の様子を理解している。	(1)	○	
		(5)ア (イ)	・星には明るさや色の違いがあることを理解している。	(2)	○	
		(5)イ	・星の集まりの並び方や位置の変化を考察し、表現している。	(3)		○
		(5)ア (ウ)	・方位磁針の操作に関する技能を身に付けている。	(4)	○	
		(4)イ	・水の状態変化と気温との関係について考察し、表現している。	(6)		○
	A 物 質 ・ エ ネ ル ギ ー	(2)ア (ウ)	・水は温度によって氷に変わることを理解している。	(5)	○	
		(2)イ	・金属、水及び空気の温度による体積の変化の程度を考察し、表現している。	(7)		○
		(2)イ	・閉じ込めた空気と水を押し縮めたときの体積の変化を考察し、表現している。	(8)		○
		(2)ア (イ)	・水は熱を加えられた部分が上方に移動して全体が温まっていくことを理解している。	(9)	○	
第 5 学 年	B 生 命 ・ 地 球	(4)ア (7)	・天気の見分け方は、雲の量によって決まることを理解している。	(10)	○	
		(4)イ	・天気の変化の仕方について、気象情報を基に考察し、表現している。	(11)		○
		(1)ア (エ)	・顕微鏡の操作に関する技能を身に付けている。	(12)	○	
		(1)ア (エ)	・顕微鏡の倍率の求め方を理解している。	(13)	○	
		(1)イ	・受粉の仕組みについて条件を制御して調べる実験の方法を考え、表現している。	(14)		○
		(2)ア (7)	・受精卵は受精によってできることを理解している。	(15)	○	
		(1)ア (7)	・でんぷんの存在を調べる方法を理解している。	(16)	○	
		(1)イ	・発芽するときの子葉に含まれるでんぷんの役割を考察し、表現している。	(17)		○
		(1)イ	・植物の成長の条件を確かめるための方法を考え、表現している。	(18)		○

小学校 5年 理科 小問別通過率と設定通過率

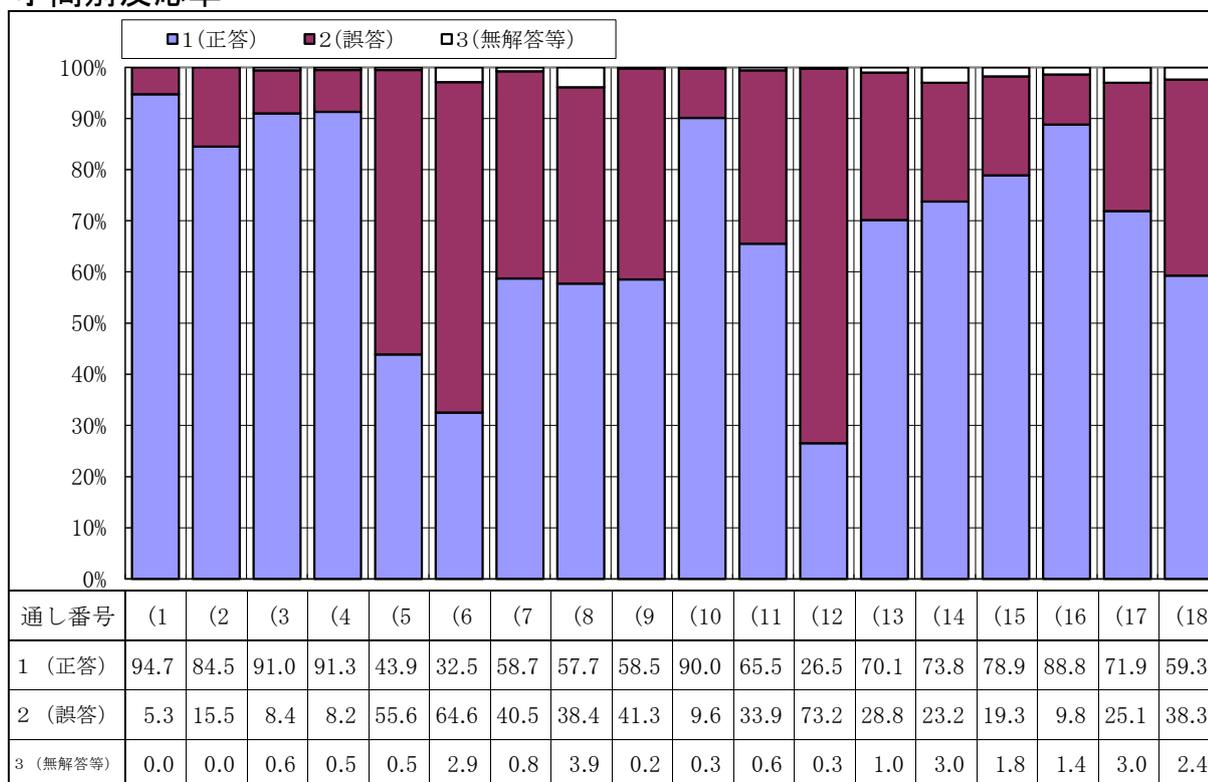
平均通過率 68.8%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	季節による動物の活動や植物の成長の変化	94.7	90.0	
(2)	星の明るさや色	84.5	70.0	
(3)	星の集まりの並び方と位置	91.0	90.0	
(4)	方位磁針の使い方	91.3	85.0	
(5)	温度の変化による水の状態の変化	43.9	60.0	
(6)	水蒸気の結露	32.5	60.0	
(7)	温度による金属、水及び空気の体積変化	58.7	60.0	
(8)	閉じ込めた空気と水の体積変化	57.7	60.0	
(9)	水の温まり方	58.5	60.0	
(10)	天気の見分け方	90.0	90.0	
(11)	天気の変化の仕方	65.5	70.0	
(12)	顕微鏡の操作手順	26.5	70.0	
(13)	顕微鏡の倍率の求め方	70.1	60.0	
(14)	受粉と結実との関係を調べる実験の条件	73.8	70.0	
(15)	魚の受精	78.9	70.0	
(16)	でんぷんの存在を調べる方法	88.8	80.0	
(17)	発芽するときの子葉の役割	71.9	70.0	
(18)	植物の成長の条件を調べる実験の条件制御	59.3	60.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (177校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	74	30	45	63	3	1	7	6	8	43	5	1	12	13	23	56	11	3	
90%~100%	81	42	70	70	2	1	5	4	5	69	2		18	20	22	63	17	3	1
80%~90%	20	63	54	36	12	2	23	21	21	47	24	2	36	47	49	31	50	14	21
70%~80%	2	31	7	6	7	9	19	27	26	16	37	4	37	53	42	14	29	22	74
60%~70%		9	1	2	17	14	35	40	35	2	54	9	42	18	25	10	33	50	63
50%~60%		2			32	20	46	40	36		37	20	20	13	14	1	21	52	18
40%~50%					39	24	25	21	24		12	12	7	5	1	2	12	16	
30%~40%					25	25	12	10	17		3	19	2	1	1		4	12	
20%~30%					28	28	2	6	4		2	35	3	4				4	
10%~20%					9	34	3	2			1	39		3				1	
0%~10%					3	19			1			36							

小学校 5年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別		内 容 区 分 別		計
	知識・技能	思考・判断・表現	物質・エネルギー	生命・地球	
+10%より高い	2	0	0	2	2
±10%の範囲内	6	7	3	10	13
-10%より低い	2	1	1	2	3
計	10	8	4	14	18

2 考察

(1) 全体について

18問中15問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

類似問題については、9問中5問で通過率が上昇している。特に、通し番号(13「顕微鏡の倍率の求め方」)に関する設問の通過率は14.9ポイント、通し番号(14「受粉と結実との関係を調べる実験の条件」)に関する設問の通過率は7.0ポイント、昨年度と比べてそれぞれ上昇し、指導の改善が図られている。

(3) 課題

- ①水の状態変化と気温との関係について考察し、表現することについて、課題が見られる。
- ②顕微鏡の操作に関する技能について、課題が見られる。

3 今後の指導

観察、実験の結果や学習したことを基に、身の回りにある自然の事物・現象に当てはめて考えたり、説明したりする学習活動を充実させる。

- ・学習したことを日常生活との関わりの中で捉え直したり、学習したことを活用して考えたりする活動は、実感を伴って理解を深め、科学の有用性を感得する上で大切である。
- ・通し番号(6)については、例えば、冷たい物を常温の空気中に置くとその表面に水滴が付く現象を導入で示して学習問題を設定したり、観察、実験の結果を基に考察した上で、導入で示した事象に立ち戻って考える活動を設定したりすることが考えられる。また、振り返りの場面において、窓ガラスの内側の曇りや朝露など別の自然の事物・現象を取り上げ、学んだことを生かして考えたり説明したりする活動を取り入れることが考えられる。

【参考 通し番号(6)】

緑さんは、実験1で冷たくなったピーカーの外側に、たくさん水がつかっていることに気づき、「どうして冷たいようきの外側に水がつかつかのか」という疑問をもちました。そこで、この疑問を解決するために実験2を行い、下のように考えました。
 【緑さんの考え】が正しくなるように、㊦に当てはまる内容を、の中に書きなさい。

【実験2】

図3(略)のように、氷水を入れたようきと、くみ置きの水(水道のじゃぐちから出して、室内で数日置いておいた水)を入れたようきを用意して、水がつかつかのつき方をそれぞれ調べたところ、表のような結果になった。

	水がつかつかのつき方
氷水を入れたようき	ようきの表面に水がつかつか
くみ置きの水を入れたようき	ようきの表面に水がつかつか

【緑さんの考え】

冷たいようきの外側に水がつかつかのは、空気中の㊦からだと思います。

一人一人が観察器具や実験器具の基本的な操作についての技能を身に付けられるよう、指導の手立てを工夫する。

- ・観察器具や実験器具を正しく扱いながら調べることができるよう、児童一人一人が使用する場面を設定したり、基本操作にどのような意味があるかを理解させたりすることが大切である。
- ・通し番号(12)については、例えば、一人に一台の顕微鏡を割り当てられない場合は、一連の操作を交代で行わせるなど、一人一人が確実に使用できる機会を保障することが考えられる。また、二人一組にして顕微鏡の操作を互いに見合い、相互評価する活動を取り入れることも考えられる。その際、操作のポイントや、不適切な操作により起こりうる危険を確認することなども大切にしたい。

【参考 通し番号(12)】

図のようなけんび鏡はどのように使いますか。使い方について、正しい順になるように、次のア～エをならべかえて、の中に記号を書きなさい。

ア ステージの中央に観察するものがくるように置いてクリップでとめる。

イ 横から見ながら調節ねじを回して、対物レンズとステージとの間を近づける。

ウ 対物レンズを一番低い倍率にして、接眼レンズをのぞき、明るく見えるように反しや鏡の向きを変える。

エ 接眼レンズをのぞきながら調節ねじを回して、対物レンズとステージの間を遠ざけていき、はっきり見えたところで止める。



令和5年度秋田県学習状況調査 小学校第6学年 理科 評価規準と評価の観点

学 年	区 分	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
第 5 学 年	A 物 質 ・ エ ネ ル ギ ー	(2)イ	・振り子が1往復する時間を変化させる条件について調べる実験の方法を考え、表現している。	(1)		○
		(3)ア (ア)	・電磁石の性質を理解している。	(2)	○	
		(3)イ	・電磁石の強さを調べるための条件の制御について考え、表現している。	(3)		○
		(1)ア (イ)	・メスシリンダーで液体を量り取る方法を理解している。	(4)	○	
		(1)イ	・一定量の物を溶かすための水の温度や水の量を考え、表現している。	(5)		○
	B 生 命 ・ 地 球	(3)ア (ア)	・流れる水には土地を侵食する働きがあることを理解している。	(6)	○	
		(3)イ	・流れる水による運搬の働きの違いを、川の場合と関連付けて考察し、表現している。	(7)		○
		(2)ア (ア)(イ)	・メダカや人は受精によって受精卵ができることを理解している。	(8)	○	
		(2)ア (イ)	・人の母体内には子宮があることを理解している。	(9)	○	
	第 6 学 年	B 生 命 ・ 地 球	(3)ア (イ)	・身近な生物同士の、食う食われるという関係を理解している。	(10)	○
(1)ア (ウ)			・肺の働きを理解している。	(11)	○	
(1)イ			・血液の流れを、血液中の酸素の割合と関連付けて考察し、表現している。	(12)		○
(2)ア (ア)			・でんぷんの存在を調べる方法を理解している。	(13)	○	
(2)イ			・日光と、葉の中のでんぷんのでき方との関係を調べる実験において、葉を遮光する意味を考察し、表現している。	(14)		○
(2)イ			・葉に日光が当たるとでんぷんができることを考察し、表現している。	(15)		○
A 物 質 ・ エ ネ ル ギ ー		(1)ア (ア)	・気体の捕集に関する技能を身に付けている。	(16)	○	
		(1)イ	・空気は酸素に比べて物を燃やしにくい理由を、気体の性質と関連付けて考察し、表現している。	(17)		○
		(1)イ	・植物体は空気中で燃やすと空気の入替わるところで燃えることを、身近な例と関連付けて考察し、表現している。	(18)		○

小学校 6年 理科 小問別通過率と設定通過率

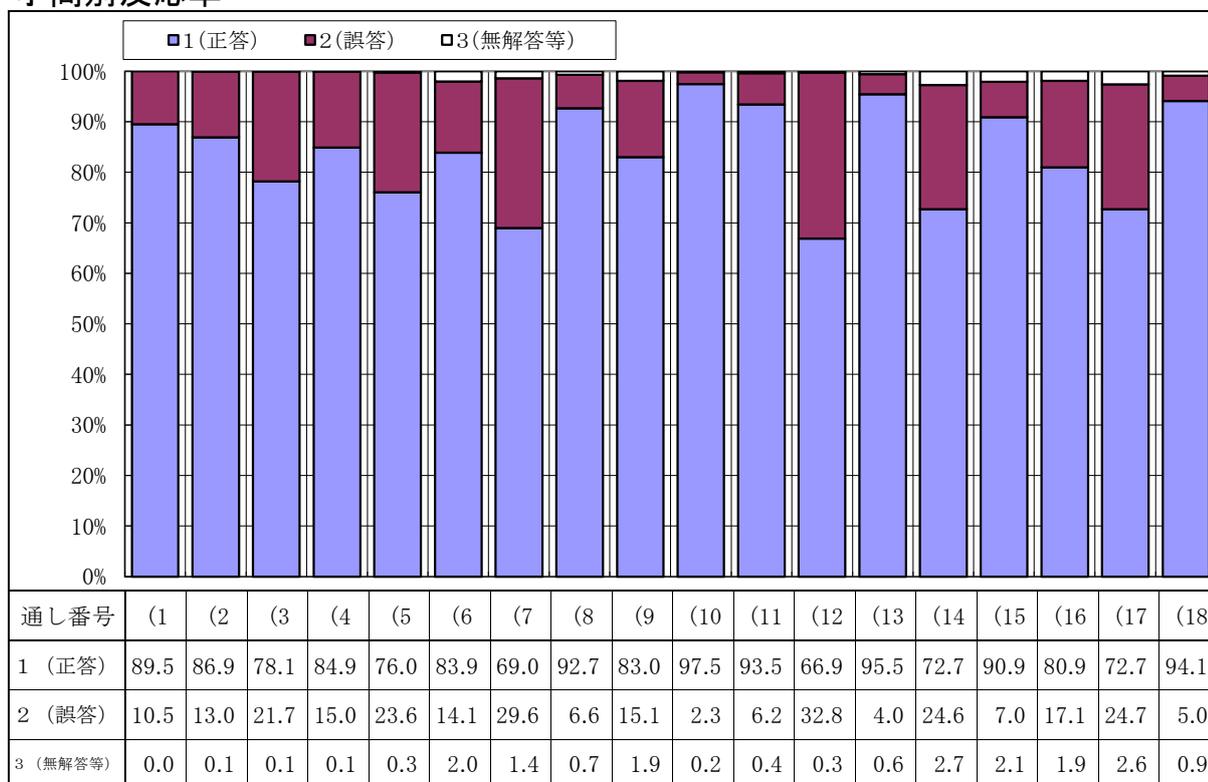
平均通過率 83.8%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	振り子の運動の規則性	89.5	70.0	
(2)	電磁石の性質	86.9	80.0	
(3)	電磁石の強さを調べる実験の条件制御	78.1	80.0	
(4)	メスシリンダーの使い方	84.9	70.0	
(5)	一定量の物を溶かすための水の温度と水の量	76.0	70.0	
(6)	侵食の働き	83.9	80.0	
(7)	上流と下流の運搬の働きの違い	69.0	70.0	
(8)	魚と人の受精卵	92.7	60.0	
(9)	子宮	83.0	70.0	
(10)	食べ物に着目した生物同士の関わり	97.5	90.0	
(11)	肺の働き	93.5	70.0	
(12)	血液に含まれる酸素	66.9	60.0	
(13)	でんぷんの存在を調べる方法	95.5	85.0	
(14)	葉ででんぷんがつくられることを調べる実験の方法	72.7	60.0	
(15)	葉の中にでんぷんがつくられる条件	90.9	80.0	
(16)	気体の捕集方法	80.9	75.0	
(17)	空気の中と酸素の中での燃え方の比較	72.7	70.0	
(18)	植物体が燃えるときの空気の変化	94.1	80.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 6年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (178校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	38	33	7	20	5	21	6	52	19	97	64	3	82	7	45	25	10	59	
90%~100%	68	57	21	35	21	72	5	86	51	75	78	7	76	12	86	50	22	91	34
80%~90%	51	64	58	77	68	44	34	28	56	6	34	27	14	54	33	45	43	25	105
70%~80%	17	13	55	38	42	23	40	9	29		2	39	6	43	10	27	40	3	33
60%~70%	3	9	27	6	21	8	54	2	13			48		33	3	13	33		5
50%~60%	1	1	5	1	12	4	30		7			38		21	1	11	18		1
40%~50%		1	1		5	4	8	1	2			13		4		3	9		
30%~40%			2		1	1	1		1			3		3		3	1		
20%~30%					1												1		
10%~20%						1													
0%~10%			2	1	2									1		1	1		

小学校 6年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別		内 容 区 分 別		計
	知識・技能	思考・判断・表現	物質・エネルギー	生命・地球	
+10%より高い	5	4	3	6	9
±10%の範囲内	4	5	5	4	9
-10%より低い	0	0	0	0	0
計	9	9	8	10	18

2 考察

(1) 全体について

全ての設問において設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況は良好である。

(2) 成果

類似問題については、9問中8問で通過率が上昇し、指導の改善が図られている。特に、通し番号(4「メスシリンダーの使い方」)に関する設問の通過率は、全国学力・学習状況調査と比べて13.2ポイント上昇し、つまずきやすい部分についての指導がなされている。

(3) 課題

- ①電磁石の強さを調べるための条件の制御について考え、表現することについて、課題が見られる。
- ②血液の流れを、血液中の酸素の割合と関連付けて考察し、表現することについて、課題が見られる。

3 今後の指導

予想や仮説を基に、条件を制御した観察、実験の方法を発想し、説明する活動の充実を図る。

- 変える条件と変えない条件を区別しながら問題を解決する方法を発想するには、条件の違いによって結果がどのように変わるのかを具体的に考えたり、結果の違いによってどのようなことが分かるのかを確認したりして、条件を制御することの必要性を児童が理解することが大切である。
- 通し番号(3)については、例えば、自分が発想した方法だけではなく、他の児童が発想した方法ではどのようなことが確かめられるかを考え説明させる活動を取り入れるなど、児童が条件を制御する考え方を働かせる場面を複数回設定することが考えられる。

[参考 通し番号(3)] (※会話文は一部を抜粋)
 幸さん「導線のまき数を多くすることで電磁石が強くなると思うので、実験で確かめたいです。」
 広さん「導線に流れる電流を大きくすることで、電磁石が強くなると思います。」
 (2) 幸さんと広さんが考えたことを確かめるには、図の㉔～㉖のうち、どれとどれを組み合わせる実験をすればよいですか。(後略)



学習を通して獲得した様々な知識をつなげて考え、説明する活動の充実を図る。

- 様々な知識がつながって、より科学的な概念を形成することに向かっているかなどの視点から、授業改善を図ることが大切である。人の体のつくりと働きにおいては、主な臓器についての知識を身に付け、個々の臓器が相互に働き合って生命が維持されていることを捉えるような授業を構想することが大切である。
- 通し番号(12)については、例えば、心臓や肺における血液の流れを血液中の酸素の割合と関連付け、個々の臓器の働きといった点で部分的に見るだけでなく、生命を維持する働きという点で全体的に捉えることが考えられる。その際、映像資料や模型等を活用して学習活動の充実を図ることも考えられる。

[参考 通し番号(12)]
 元さんは、人の呼吸と血液の流れについて調べたことを、次のようにノートにまとめました。

[元さんのノート] (※ノートの内容は一部省略)

- 図2の矢印は、血液の流れを表している。
- 心臓は、血液を送り出すポンプの役割をしていて、(㉔)で取り入れられた酸素は、血液によって全身に運ばれる。
- 全身に運ばれた血液は、体の各部分で、二酸化炭素やいらなくなったものを受け取る。

図2

(2) 図2のア～エのうち、酸素が多くふくまれている血液の流れを表している矢印はどれですか。2つ選んで、□の中に記号を書きなさい。

令和5年度秋田県学習状況調査 中学校第1学年 理科 評価規準と評価の観点

学年	領域等	内容	評価規準	通し番号	観 点	
					知識・技能	思考・判断・表現
小学校 第6学年	A 物質・エネルギー	(4)ア (ア)	・手回し発電機を使って2個のコンデンサーに同じ量の電気を蓄える方法を理解している。	(3)	○	
		(4)イ	・豆電球と発光ダイオードが使う電気の量や発生する熱の量の違いを考察し、表現している。	(4)		○
		(3)イ	・てこを傾ける働きについて、予想を確かめるための条件を考え、表現している。	(5)		○
		(3)ア (イ)	・てこを利用した道具の支点、力点、作用点の位置関係を理解している。	(6)	○	
	B 生命・地球	(5)ア (ア)	・月の形の見え方と太陽の位置関係を理解している。	(1)	○	
		(5)イ	・月の形の見え方が変わる理由を考察し、表現している。	(2)		○
		(4)ア (ア)	・地層について理解している。	(7)	○	
		(4)イ	・土地の広がりについて、一地点の地層の重なりを基に推論し、表現している。	(8)		○
		(4)イ	・地層のでき方について、流れる水の働きに着目して考察し、表現している。	(9)		○
	中学校 第1学年	化学的 領域	(2)ア (ア)㉗	・物質の密度を求める方法を理解している。	(10)	○
(2)ア (ア)㉘			・気体の捕集に関する技能を身に付けている。	(11)	○	
(2)イ			・酸素の性質について、線香の燃え方を基に考察し、表現している。	(12)		○
(2)ア (ア)㉙			・ガスバーナーを操作する技能を身に付けている。	(13)	○	
(2)イ			・沸点の違いを利用して混合物から物質を分離できることを考察し、表現している。	(14)		○
生物的 領域		(1)ア (イ)㉚	・被子植物と裸子植物の相違点を理解している。	(15)	○	
		(2)イ	・植物の体のつくりを基に分類し、表現している。	(16)		○
		(1)イ	・生物の分類について、生活環境を基に考え、表現している。	(17)		○
	(1)ア (イ)㉛	・背骨の有無によって脊椎動物と無脊椎動物に分類できることを理解している。	(18)	○		

中学校 1年 理科 小問別通過率と設定通過率

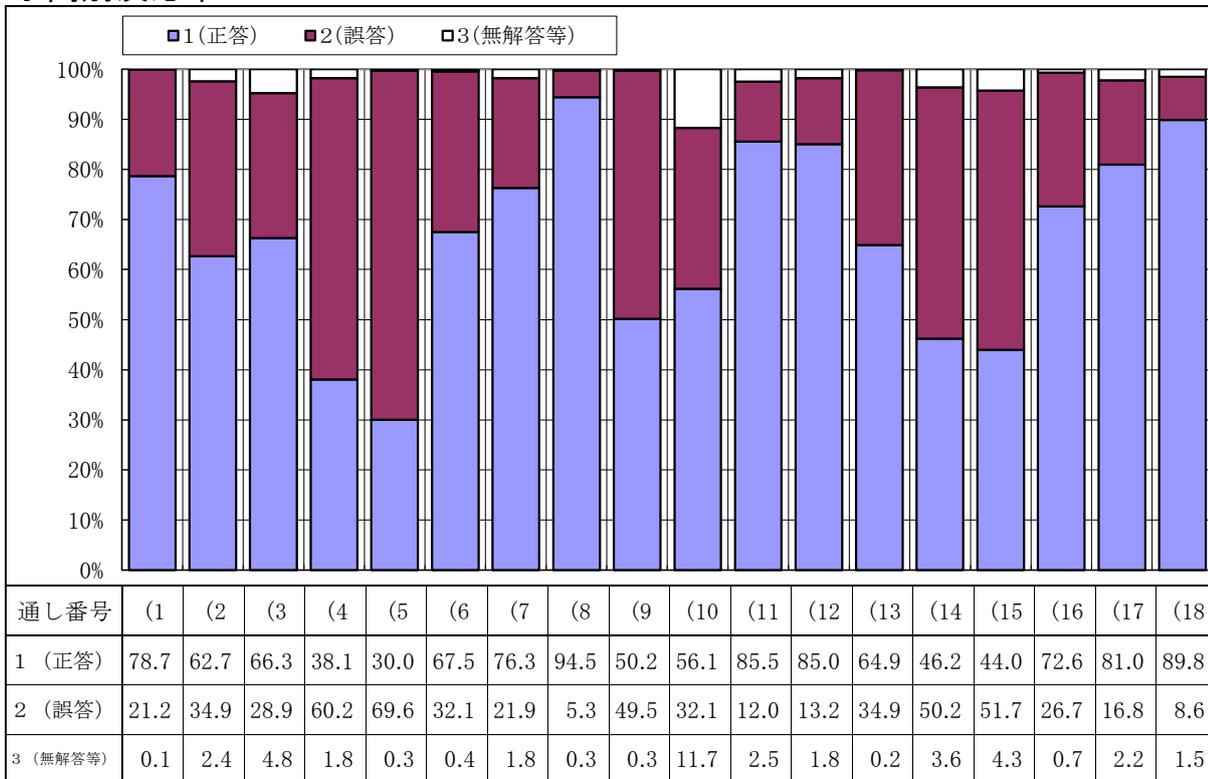
平均通過率 66.1%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	モデルによる月の形の見え方	78.7	80.0	
(2)	月の形の見え方と太陽の位置関係	62.7	60.0	
(3)	同じ量の電気を蓄えるための条件制御	66.3	70.0	
(4)	豆電球と発光ダイオードの違い	38.1	60.0	
(5)	てこを傾けるはたらきを調べるための実験計画	30.0	70.0	
(6)	てこを利用した道具	67.5	70.0	
(7)	がけなどに見られるしま模様	76.3	70.0	
(8)	地層の広がり	94.5	80.0	
(9)	流れる水の働きによる地層のでき方	50.2	60.0	
(10)	密度の求め方	56.1	60.0	
(11)	気体の捕集方法	85.5	80.0	
(12)	酸素の性質	85.0	80.0	
(13)	ガスバーナーの使い方	64.9	80.0	
(14)	蒸留による混合物の分離	46.2	60.0	
(15)	被子植物の特徴	44.0	70.0	
(16)	植物の分類	72.6	70.0	
(17)	生物の分類	81.0	70.0	
(18)	脊椎動物と無脊椎動物	89.8	80.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 1年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (105校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	4	3	4	1		4	10	27		4	22	13	2	1	2	4	9	17	
90%~100%	7	2	5			3	15	68		3	38	40	1		3	3	23	43	
80%~90%	33	9	12			12	26	9	3	6	28	31	10	2		13	33	36	3
70%~80%	46	16	28	1		29	24		1	12	11	14	28	2	10	49	28	8	33
60%~70%	14	35	20	5	3	32	23	1	13	29	5	6	32	16	10	29	8		53
50%~60%		26	20	12	4	21	6		31	24	1	1	9	23	24	7	3	1	16
40%~50%		10	12	24	10	4	1		40	19			12	22	18				
30%~40%		3	3	35	27				14	7			4	27	21				
20%~30%			1	22	43				2	1			4	10	12				
10%~20%				4	13									1	4				
0%~10%	1	1		1	5				1				3	1	1		1		

中学校 1 年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別		内 容 区 分 別 ・ 領 域 別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	物質・エネルギー	生命・地球	化学	生物	
+10%より高い	0	2	0	1	0	1	2
±10%の範囲内	7	4	2	4	3	2	11
-10%より低い	2	3	2	0	2	1	5
計	9	9	4	5	5	4	18

2 考察

(1) 全体について

18問中13問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①類似問題については、8問中4問で通過率が上昇している。特に、通し番号(17「生物の分類」)に関する設問の通過率は23.9ポイント、通し番号(11「気体の捕集方法」)に関する設問の通過率は9.6ポイント、昨年度と比べてそれぞれ上昇し、指導の改善が図られている。

②「生命・地球」の内容に関する設問は、全ての設問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、通過率の平均が、昨年度と比べて4.8ポイント上昇し、指導の改善が図られている。

(3) 課題

①豆電球と発光ダイオードが使う電気の量や発生する熱の量の違いを考察し、表現することについて、課題が見られる。

②被子植物と裸子植物の相違点を理解することについて、課題が見られる。

3 今後の指導

観察、実験の結果を基に考察したことを表現したり、日常生活と関連付けて捉え直したりする活動の充実を図る。

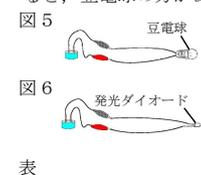
- 考察の場面では、観察、実験の結果を基に、生徒が視点を明確にして考えることができるよう、発問や意見の取り上げ方を吟味することが大切である。また、日常生活と結び付けて考える場面を工夫することで、科学の有用性を実感させることも大切である。
- 通し番号(4)については、例えば、実験の結果を根拠としてグループ内で考察した内容を説明し合う。次に、電球よりも発光ダイオードが普及することによる日常生活における利点について、図書資料やウェブサイト上から情報を収集・整理し、新たに気付いたことを紹介し合う活動を取り入れることが考えられる。

【参考 通し番号(4)】

(2) (省略) <実験の結果からわかったこと>と、<信号機について考えたこと>が正しくなるように、Aには当てはまる内容を、Bには当てはまる言葉をそれぞれ書きなさい。

【実験1】(省略) 手ごたえは、豆電球の方が発光ダイオードより大きかった。
【実験2】(省略) 図5、図6のようにコンデンサーを豆電球と発光ダイオードにそれぞれつないで、明かりのついている時間を調べたところ、表のような結果が得られた。

【実験3】明かりをつけてしばらくたった豆電球と発光ダイオードの表面にさわると、豆電球の方があたたかかった。



	明かりのついている時間
豆電球	30秒
発光ダイオード	5分以上

<実験の結果からわかったこと>
・豆電球の方が、発光ダイオードよりも、手回し発電機のハンドルを回したときの手ごたえが大きく、明かりのついている時間が短いことから、豆電球は、発光ダイオードと比べて電気を **A** ということがわかった。
・発光ダイオードは、豆電球と比べて(**B**)をほとんど出さないことがわかった。
<信号機について考えたこと>
・発光ダイオードは、電球と比べたとき、(**B**)をほとんど出さず、電気を効率的に光に変えることができるため、信号機に使われていると考えられる。

探究の過程を通して習得した知識及び技能を、自然の事物・現象に当てはめて説明する活動を工夫する。

- 知識及び技能を確実に習得させることができるよう、授業の展開を工夫することが大切である。
- 通し番号(15)については、被子植物の特徴に関する理解を深めるために、例えば、被子植物の観察を通して見いだした特徴を、1人1台端末に保存した画像に言葉で書き込むなどして整理する。次に、生徒一人一人が自宅周辺等に生息する別の被子植物を1人1台端末を使って画像で記録し、学校に持ち寄って互いに特徴を説明し合う活動が考えられる。

【参考 通し番号(15)】

(1) Pに当てはまる植物の特徴を、「胚珠」という語句を用いて書きなさい。



令和5年度秋田県学習状況調査 中学校第2学年 理科 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	
第 1 学 年	物 理 的 領 域	(1)ア (ア)㉔	・鏡に映る像の位置を理解している。	(1)	○		
		(1)ア (ア)㉔	・光の反射の法則を理解している。	(2)	○		
		(1)イ	・力の大きさとばねののびの関係を表すグラフを基に規則性を見いだしている。	(3)		○	
		(1)ア (イ)㉔	・2力がつり合うときの条件を踏まえ、力を矢印を用いて表すことに関する技能を身に付けている。	(4)	○		
	地 学 的 領 域	(2)イ	・地層が傾いている方向について、地形図を柱状図と関連付けて考察し、表現している。	(6)		○	
		(2)ア (ウ)㉔	・活断層の特徴を理解している。	(7)	○		
		(2)イ	・海溝型地震の起こる仕組みをプレートの動きと関連付けながら考察し、表現している。	(8)		○	
	第 2 学 年	化 学 的 領 域	(2)ア (ア)㉔	・物質の密度を求める方法を理解している。	(5)	○	
			(4)ア (イ)㉔	・還元の実験に関する技能を身に付けている。	(9)	○	
			(4)ア (イ)㉔	・酸化と還元が同時に起きていることを理解している。	(10)	○	
生 物 的 領 域		(4)イ	・マグネシウムを二酸化炭素中で燃焼させたときの化学変化について、モデルを用いて考え、表現している。	(11)		○	
		(3)ア (ア)㉔	・組織が集まって器官をつくることを理解している。	(12)	○		
		(3)イ	・光合成の実験の条件制御を、調べる目的と関連付けて考え、表現している。	(13)		○	
		(3)ア (イ)㉔	・植物の吸水と蒸散の関係を調べる実験に関する技能を身に付けている。	(14)	○		
		(3)イ	・植物の吸水と蒸散の関係について、予想を基に実験の結果を考え、表現している。	(15)		○	
	(3)ア (ウ)㉔	・血液の循環について、動脈血が流れる血管を理解している。	(16)	○			
	(3)ア (ウ)㉔	・ヒトの肝臓の働きを理解している。	(17)	○			
	(3)イ	・ヒトの肺や小腸のつくりについて、ガス交換や物質の吸収の効率を表面積と関連付けて考え、表現している。	(18)		○		

中学校 2年 理科 小問別通過率と設定通過率

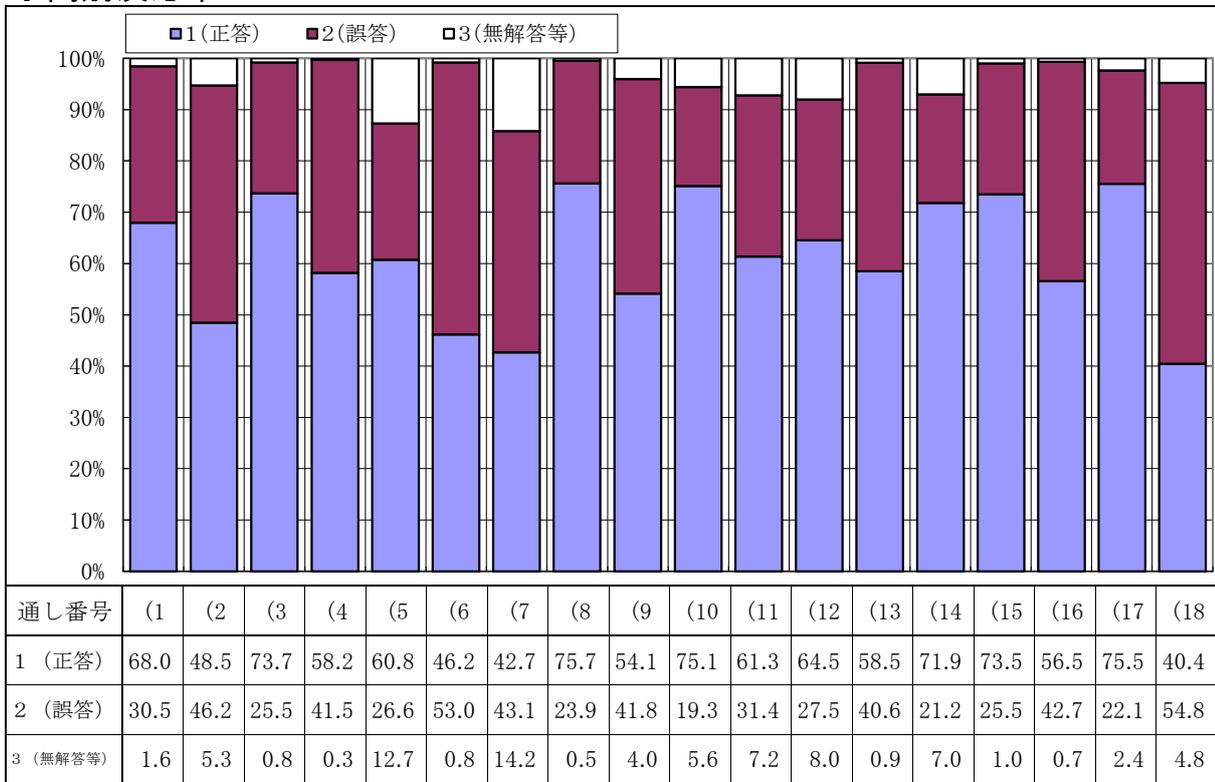
平均通過率 61.4%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	鏡に映る像の位置	68.0	70.0	
(2)	光の反射の法則	48.5	70.0	
(3)	力の大きさとばねの変形の量	73.7	80.0	
(4)	重力とつり合う力	58.2	80.0	
(5)	密度の求め方	60.8	65.0	
(6)	地層の傾き	46.2	70.0	
(7)	活断層	42.7	70.0	
(8)	海溝型地震におけるプレートの動き	75.7	70.0	
(9)	還元の実験の方法	54.1	60.0	
(10)	酸化銅から銅を取り出す化学変化	75.1	80.0	
(11)	化学変化のモデルを用いた表し方	61.3	70.0	
(12)	器官	64.5	70.0	
(13)	光合成に関する実験の条件制御	58.5	60.0	
(14)	吸水と蒸散の関係を調べる実験の方法	71.9	70.0	
(15)	吸水と蒸散の関係	73.5	70.0	
(16)	動脈血が流れる血管	56.5	60.0	
(17)	肝臓	75.5	80.0	
(18)	肺と小腸のつくりと働き	40.4	70.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (106校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	3	1	3	1			2	4	1	5	2		2	5	2	2	3		
90%~100%	3		2	1	3		2	9		16	6	6	1	4	5	2	6		
80%~90%	13	6	21	13	13	2	4	25	11	24	8	9	6	23	23	8	35	1	4
70%~80%	31	11	51	20	18	5	8	40	15	34	16	31	15	31	38	11	29	7	17
60%~70%	23	16	23	27	24	7	14	19	19	18	33	26	28	26	26	16	21	10	39
50%~60%	21	18	4	19	29	23	14	8	21	7	23	17	33	14	10	29	10	17	39
40%~50%	8	17	1	10	11	36	17		19	2	10	7	15	2	2	20	1	20	6
30%~40%	2	22		10	6	21	21		8		5	7	4			15		13	
20%~30%		10		3		9	11		7		2	1	1	1		3	1	17	
10%~20%		2				1	11		2									13	1
0%~10%	2	3	1	2	2	2	2	1	3		1	2	1					8	

中学校 2年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別		領 域 別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	物理	地学	化学	生物	
+10%より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10%の範囲内	8	5	2	1	4	6	13
-10%より低い	3	2	2	2	0	1	5
計	11	7	4	3	4	7	18

2 考察

(1) 全体について

- ① 18問中13問が設定通過率の「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ② 中学校第2学年の学習内容に関する設問では、10問中9問が設定通過率の「±10%の範囲内」であり、定着が図られている。

(2) 成果

- ① 「化学」の領域に関する設問では4問中4問、「生物」の領域に関する設問では7問中6問が設定通過率の「±10%の範囲内」であり、定着が図られている。
- ② 類似問題については、9問中4問で通過率が上昇している。特に、通し番号(12「器官」)に関する設問の通過率は、昨年度と比べて36.6ポイント上昇し、指導の改善が図られている。

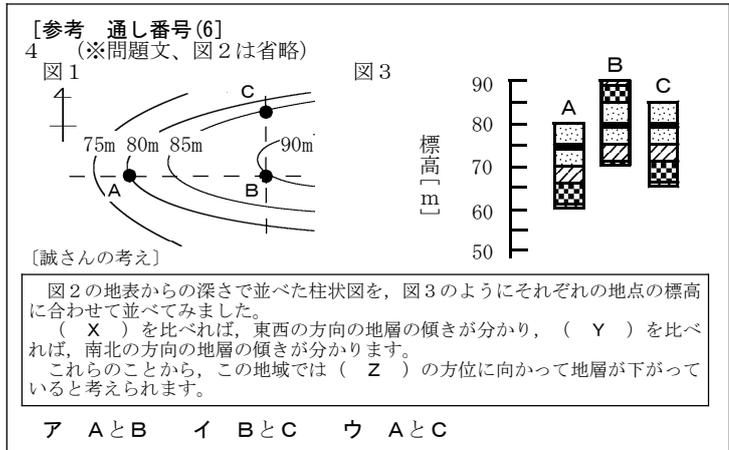
(3) 課題

- ① 地層が傾いている方向について、地形図を柱状図と関連付けて考察し、表現することに課題が見られる。
- ② ヒトの肺や小腸のつくりについて、ガス交換や物質の吸収の効率を表面積と関連付けて考え、表現することに課題が見られる。

3 今後の指導

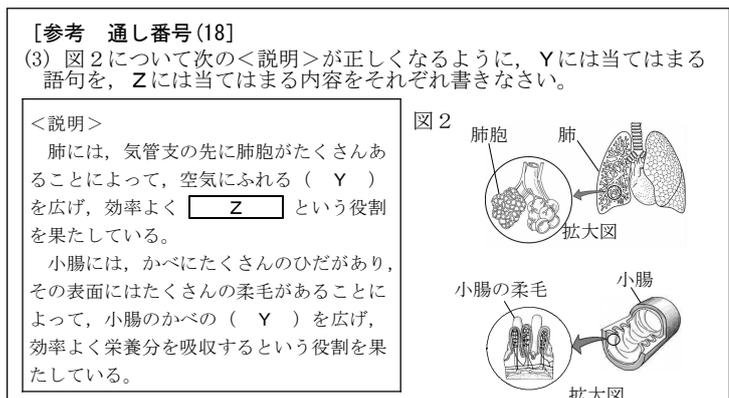
観察、実験の結果や資料を分析して解釈する活動の充実を図る。

- ・ 観察、実験の結果や資料を分析して解釈する活動においては、何に注目したらよいか明確なものとなるように留意して授業を展開することが大切である。
- ・ 通し番号(6)については、例えば、標高の異なる地形図を基に、東西方向、南北方向に断面図をそれぞれかかせる。次に、断面図のいくつかの地表の部分に柱状図を合わせて並べ、比較することにより、地層の様子に着目して考察する活動の充実を図ることが考えられる。その際、柱状図の地層を色分けして分かりやすくするために1人1台端末を活用することが考えられる。



自然の事物・現象について、総合的に捉え、表現する活動の充実を図る。

- ・ 自然の事物・現象を総合的に理解できるようにするためには、既習の知識を活用し関連付けて考え、表現する場面を設定することが大切である。
- ・ 通し番号(18)については、例えば、肺と小腸のつくりと働きを比較できる表を作成し、肺と小腸のつくりの共通点を「表面積」「効率」などをキーワードにして説明する活動が考えられる。このような活動は、器官の働きにより生物の生命活動が維持されていることについて、理解を深めさせることにつながると考えられる。



4 結果と考察 (5)英語

令和5年度秋田県学習状況調査 中学校第1学年 英語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
第 1 学 年	聞 く こ と	イ (ア)	[正確な聞き取り] ・短い英文を聞いて、内容を正確に聞き取ることができる。	(1	○	
		イ (エ)	[正確な聞き取り] ・短い会話を聞いて、内容を正確に聞き取ることができる。	(2	○	
		イ (エ)	[適切な聞き取り] ・まとまりのある英語を聞いて、要点を適切に聞き取ることができる。	(3 (4		○
		イ (ウ)	[適切な聞き取り] ・聞いて把握した内容について、適切に応じることができる。	(5		○
	読 む こ と	ウ (イ)	[正確な読み取り] ・書かれた内容について、正確に読み取ることができる。	(6	○	
		ウ (イ)	[適切な読み取り] ・書かれた内容について、必要な情報を適切に読み取ることができる。	(7		○
		ウ (エ)	[正確な読み取り] ・書かれた内容について、要点を正しく読み取ることができる。	(8	○	
		ウ (ウ)	[適切な読み取り] ・話の流れをつかみながら、文章を適切に読み取ることができる。	(9 (10		○
	書 く こ と	カ (ウ)	[正確な筆記] ・正しい語法や文法を理解し、文脈の中で正確に用いることができる。	(11 (12	○	
		カ (ウ)	[正確な筆記] ・与えられた情報を基に、正しく英文を書くことができる。	(13	○	
		カ (ア)	[適切な筆記] ・自分のことについて、読み手に伝わるように適切に英文を書くことができる。	(14		○
		カ (イ)	[適切な筆記] ・読み取った内容を基に、適切に英文を書くことができる。	(15		○
		カ (ウ)	[正確な筆記] ・与えられた語を用いて、会話が成り立つように正しく英文を書くことができる。	(16 (17 (18	○	

中学校 1 年 英語 小問別通過率と設定通過率

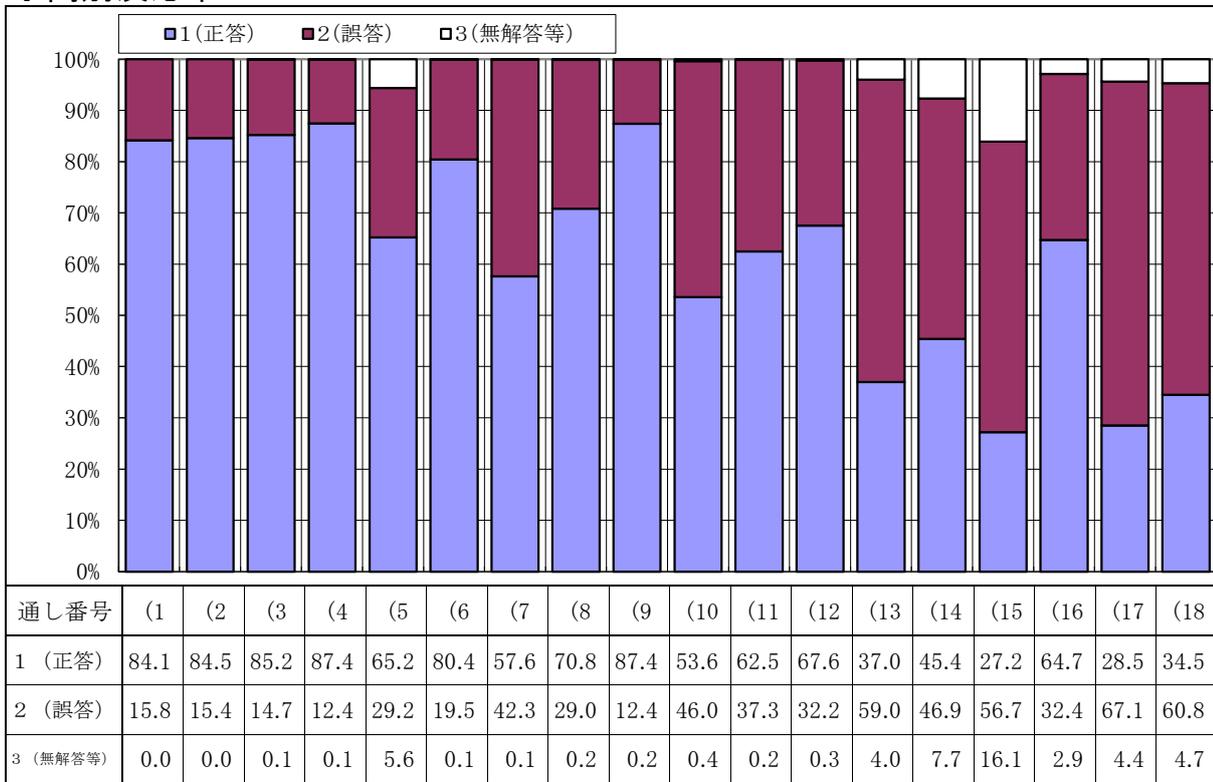
平均通過率 62.4%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	(聞) 月日の聞き取り	84.1	80.0	
(2)	(聞) 通学の交通手段についての聞き取り	84.5	80.0	
(3)	(聞) A L T の家族についての聞き取り	85.2	80.0	
(4)	(聞) 演奏する楽器とその人物についての聞き取り	87.4	80.0	
(5)	(聞) 質問の内容 (朝食に食べるもの) に対する適切な応答	65.2	60.0	
(6)	(読) レストランで注文するメニューについての会話の読み取り	80.4	75.0	
(7)	(読) 水族館のパンフレットの内容の読み取りと適切な対応	57.6	70.0	
(8)	(読) アンケートについての会話の読み取り	70.8	70.0	
(9)	(読) 適切な会話の構成	87.4	80.0	
(10)	(読) 適切な会話の構成	53.6	70.0	
(11)	(書) 正しい命令文の作成	62.5	70.0	
(12)	(書) 正しい一般動詞の選択	67.6	65.0	
(13)	(書) 与えられた情報に基づく英文の作成	37.0	60.0	
(14)	(書) 日曜日にすることについての英文の作成	45.4	60.0	
(15)	(書) メール文の内容を踏まえた英文の作成	27.2	60.0	
(16)	(書) 与えられた語を用いて、会話を成り立たせる英文の作成 (be動詞を用いた疑問文)	64.7	75.0	
(17)	(書) 与えられた語を用いて、会話を成り立たせる英文の作成 (三単現の否定文)	28.5	60.0	
(18)	(書) 与えられた語を用いて、会話を成り立たせる英文の作成 (How manyを用いた疑問文)	34.5	65.0	

※ ——— は設定通過率±10%を示している。

中学校 1年 英語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (105校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	6	4	4	7	4	5		3	6	1		4	1	2		5		1	
90%~100%	16	22	16	29	4	6		2	29		1	3		2		3		1	
80%~90%	56	58	66	53	17	41	2	10	57	1	11	8	1	9	1	10		5	5
70%~80%	21	16	15	16	24	36	3	36	11	5	16	27	3	7		21		7	9
60%~70%	4	4	3		23	14	29	39	2	17	31	39	4	15	1	28	4	2	49
50%~60%	1	1	1		19	3	47	13		46	22	20	6	15	4	25	5	6	35
40%~50%					9		16	2		27	14	3	26	15	10	7	11	13	7
30%~40%					4		4			5	5	1	26	16	24	4	27	15	
20%~30%					1		2			2	4		24	14	34	1	25	21	
10%~20%							1						10	7	24		23	22	
0%~10%	1						1			1	1		4	3	7	1	10	12	

中学校 1 年 英語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別		領 域 別			計
	知識・技能	思考・判断・表現	聞くこと	読むこと	書くこと	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	6	4	5	3	2	10
-10% より低い	4	4	0	2	6	8
計	10	8	5	5	8	18

2 考察

(1) 全体について

- ① 18問中 8問が設定通過率の「-10%より低い」という結果であり、学習内容の定着状況が十分とは言えない設問も見られる。
- ② 「聞くこと」の設問は全て設定通過率を上回っている一方で、「書くこと」の設問は8問中6問が「-10%より低い」という結果であり、領域によって通過率に大きな差がある。

(2) 成果

- ① 「聞くこと」の設問において、必要な情報や要点を聞き取ること、聞いて把握した内容に関して適切に応じることについて、指導の成果が見られる。
- ② 「読むこと」において、書かれた内容から要点を正しく読み取ることについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ① 昨年度調査と比較すると、通過率の上昇は見られるものの、通し番号(13、(17のように、三人称単数現在形を用いた紹介文や会話文の完成について、引き続き課題が見られる。
- ② 読み取った内容を基に適切に英文を書くことや、正しい語法や語順を用いて伝えたい内容を書くことについて、引き続き課題が見られる。

3 今後の指導

既習の語句や基本的な表現などを、実際のコミュニケーションにおいて繰り返し活用しながら定着を図ることができる言語活動の充実を図る。

- ・ 小学校で扱った話題や言語活動を想起させながら、小学校で学んだ語句や表現などを意味のある文脈の中で活用する言語活動を計画的・継続的に行う。
- ・ ある言語材料を指導した単元にとどまらず、帯活動等を活用して、使用する言語材料を明示しない状況でも繰り返し活用する言語活動を取り入れる。
- ・ 言語活動の途中で、表現が正確であるか、英文が相手に正しく適切に伝わるかという視点で確認し合ったり、生徒が自ら英文を修正したりする活動を取り入れる。

聞いたり読んだりして理解したことについて、コミュニケーションの目的や場面、状況等に応じて適切な英語で話したり書いたりする言語活動の充実を図る。

- ・ 聞いたり読んだりしたことについて、自分の考えや気持ちを話したり書いたりする言語活動を計画的・継続的に行う。
- ・ 言語活動の途中でコミュニケーションを行う目的や場面、状況等を改めて意識付け、設定した目的等に応じた内容になっているか考えたり助言し合ったりする場を設定する。

※指導例 : 通し番号(13、(17

自分の考えや気持ちを正しく伝えるために、正確に英文を書くことができる力の育成を目指す言語活動の例

〈あこがれの人を紹介する活動〉

① あこがれの人について伝え合う。

S1: Who is your hero?
S2: My hero is Aki. She is a singer. Her voice is very beautiful.
S1: Does she make songs?
S2: Yes, she does. She makes original songs.
S1: Sounds great. What is your favorite song?

② 伝え合った内容を踏まえ、紹介文を書く。

③ 誤りのある紹介文を全体で修正し合う。

My hero is Otani Shohei. He's a great baseball player. He from Iwate. He hit many home run. I want to be like him.

 This is an example. What do you think?
He from? 何か足りないな。
 Heのときは動詞にsが付くんじゃないかな。
 manyが使われているからhome runにsが必要だね。

④ 紹介文を読み合い、確認したポイントを基に友達同士で互いに助言し合う。

⑤ 友達からの助言を参考に、誤りを修正し、書き直す。

【指導のポイント】

- ・ 生徒の英語使用の正確さを高めるには時間がかかることに留意し、短い時間でも繰り返し指導することで、誤りのある英文を自分で修正する力を育てる。
- ・ 生徒の実態に応じて、チェックリスト等を活用することで、誤りに気付くことができるようする。

令和5年度秋田県学習状況調査 中学校第2学年 英語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
第 2 学 年	聞 く こ と	イ (ア)	[正確な聞き取り] ・短い英文を聞いて、内容を正確に聞き取ることができる。	(1	○	
		イ (エ)	[適切な聞き取り] ・会話を聞いて、要点を適切に聞き取ることができる。	(2 (3		○
		イ (ア)	[正確な聞き取り] ・まとまりのある英語を聞いて、内容を正確に聞き取ることができる。	(4 (5	○	
		イ (ウ)	[適切な聞き取り] ・聞いて把握した内容について、適切に応じることができる。	(6		○
	読 む こ と	ウ (イ)	[適切な読み取り] ・書かれた内容について、必要な情報を適切に読み取ることができる。	(7		○
		ウ (ウ)	[適切な読み取り] ・話の流れをつかみながら、文章を適切に読み取ることができる。	(8		○
		ウ (イ)	[正確な読み取り] ・書かれた内容について、正確に読み取ることができる。	(9	○	
		ウ (ウ)	[適切な読み取り] ・書かれた内容について、概要を適切に読み取ることができる。	(10		○
		ウ (エ)	[適切な読み取り] ・書かれた内容について、要点を適切に読み取ることができる。	(11		○
	書 く こ と	カ (ウ)	[正確な筆記] ・正しい語法や文法を理解し、文脈の中で正確に用いることができる。	(12 (13	○	
		カ (エ)	[適切な筆記] ・読み取った内容を基に、適切に英文を書くことができる。	(14		○
		カ (ア)	[適切な筆記] ・目的等に沿って、読み手に伝わるように適切に英文を書くことができる。	(15		○
カ (ウ)		[正確な筆記] ・与えられた語を用いて、会話が成り立つように正しく英文を書くことができる。	(16 (17 (18	○		

中学校 2 年 英語 小問別通過率と設定通過率

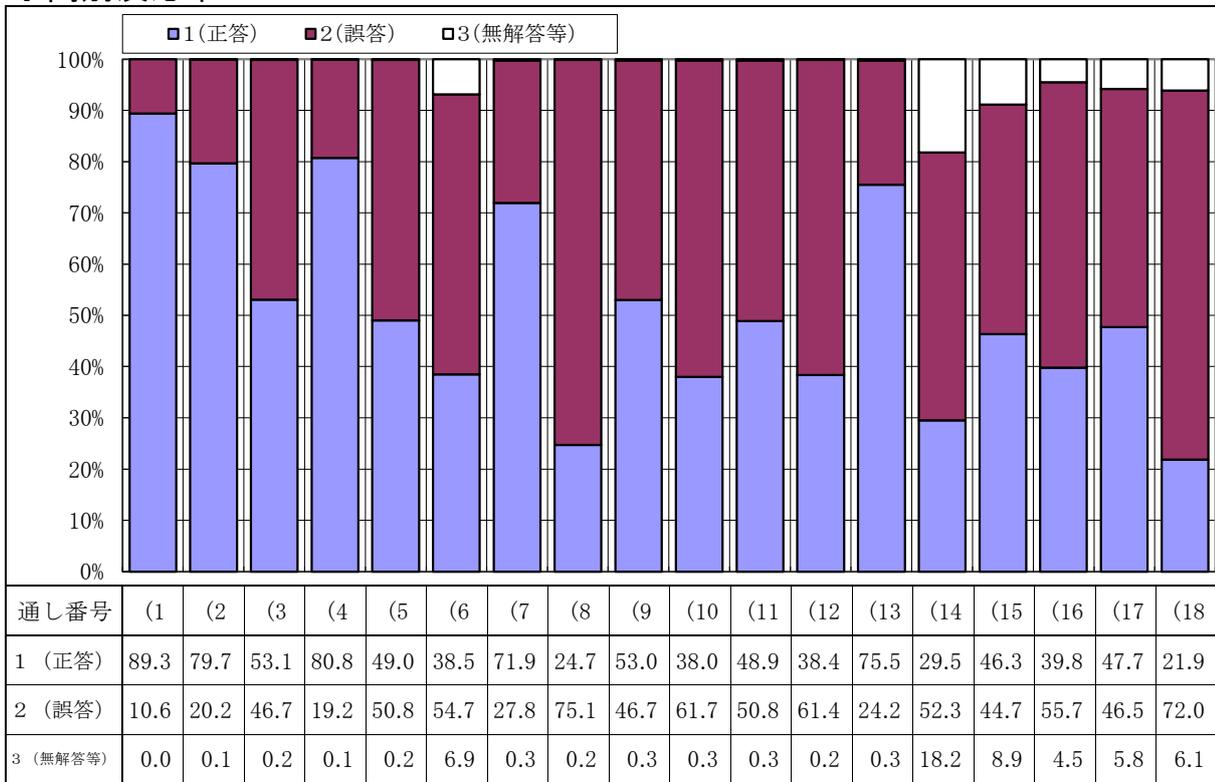
平均通過率 51.4%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	(聞) 月日の聞き取り	89.3	90.0	
(2)	(聞) 週末の予定についての聞き取り	79.7	85.0	
(3)	(聞) イベントでトランペットを演奏する時間についての聞き取り	53.1	60.0	
(4)	(聞) 翌日の天気についての聞き取り	80.8	80.0	
(5)	(聞) スピーチの内容の聞き取り	49.0	70.0	
(6)	(聞) 内容に応じた質問を書く	38.5	60.0	
(7)	(読) 買い物についての会話文の読み取り	71.9	80.0	
(8)	(読) 適切な文章の構成	24.7	65.0	
(9)	(読) ポスターの内容についての読み取り	53.0	60.0	
(10)	(読) スピーチの概要についての読み取り	38.0	65.0	
(11)	(読) 旅行の内容についての読み取り	48.9	75.0	
(12)	(書) 正しい動詞の選択	38.4	65.0	
(13)	(書) 正しい定型表現 (丁寧な尋ね方) の選択	75.5	75.0	
(14)	(書) メールの内容を踏まえた英文の作成	29.5	60.0	
(15)	(書) 与えられたテーマについて、まとめた英文の作成	46.3	65.0	
(16)	(書) 与えられた語を用いて、会話を成り立たせる英文の作成 (三単現否定文)	39.8	70.0	
(17)	(書) 与えられた語を用いて、会話を成り立たせる英文の作成 (疑問詞を用いた過去形の疑問文)	47.7	70.0	
(18)	(書) 与えられた語を用いて、会話を成り立たせる英文の作成 (状況に合わせた適切なイディオムの使用)	21.9	65.0	

※ ——— は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 英語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (106校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	9	5		4	2		1		2		1		4				1		
90%~100%	43	9	1	12	1		4						13		2		1		
80%~90%	49	41	8	49	2	1	18		2		1	2	26	1	4	5	3		2
70%~80%	4	36	8	32	4	9	35	4	5	2	9	4	25	1	7		7		3
60%~70%		10	16	5	8	12	32	2	12	4	5	5	22	5	14	9	11	1	8
50%~60%	1	4	28	4	30	16	15	2	41	10	25	11	12	5	17	12	25	9	42
40%~50%		1	29		36	16		2	37	23	45	19	2	9	25	18	27	3	45
30%~40%			10		16	21	1	12	4	36	16	18	2	28	15	35	23	7	5
20%~30%			4		7	18		33	1	27	4	28		34	13	19	6	21	1
10%~20%						8		44	1	3		9		20	6	6		39	
0%~10%			2			5		7	1	1		10		3	3	2	2	26	

中学校2年 英語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別		領 域 別			計
	知識・技能	思考・判断・表現	聞くこと	読むこと	書くこと	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	4	3	4	2	1	7
-10% より低い	5	6	2	3	6	11
計	9	9	6	5	7	18

2 考察

(1) 全体について

18問中11問が設定通過率の「-10%より低い」という結果であり、学習内容の定着状況に課題が見られる。

(2) 成果

- ①まとまりのある英文を聞き、内容を正確に聞き取ったり要点を適切に聞き取ったりする設問について、おおむね設定通過率の「±10%の範囲内」であり、指導の成果が見られる。
- ②昨年度調査と比較すると、通し番号(16のように「書くこと」における三人称単数現在形の活用を問う設問における通過率が上昇しており、指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ①「読むこと」において、コミュニケーションの目的や場面、状況等に応じて、書かれた文章の概要を捉えることについて課題が見られる。
- ②「書くこと」において、コミュニケーションの目的や場面、状況等に応じて、正確な英文を作成したり、適切に英文を構成したりすることについて課題が見られる。

3 今後の指導

「読むこと」に関して、日常的な話題に関する短い文章を読んで、話の流れをつかみながら、その概要を把握する活動の充実を図る。

- ・休日の過ごし方などについて書かれた文章全体を読んで、出来事を時系列に沿って整理し、どのような内容を伝えようとしているのかを絵や簡単な英語で表現するなどの活動を取り入れる。
- ・書かれた情報の関係を示す接続詞に注目しながら、話の流れを理解するためのキーワードをピックアップし、文章の概要を数文の英語でまとめるなどの活動を取り入れる。

「書くこと」に関して、聞いたり読んだりしたことについて、自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書く活動の充実を図る。

- ・聞いたり読んだりしたことを基にやり取りを展開したり、理由を交えて自分の意見を書いたりするなどの複数の領域を統合した言語活動を計画的に設定し、段階的・継続的に指導する。
- ・聞き取ったり読み取ったりした内容を確かめ、コミュニケーションの目的や場面、状況等を改めて意識付ける場を設けることで、伝える内容や必要な表現を整理できるようにする。
- ・中間指導を行う際には、ねらいに即した視点を確認した上で、生徒同士で言語面の正確さや内容面の適切さについて助言し合ったり、生徒の気づきを生かしながら教師が適切なフィードバックを行ったりする場を設ける。

※指導例：通し番号(14)、(15)

与えられたメッセージの内容を理解した上で、目的や場面、状況等に応じて、伝える内容を整理し、適切な英文を書いて返信する場面における、複数の領域を統合した言語活動の例

〈ALTからのメール文を読み、依頼に応じる〉

Hi, I'm Jack. I'm interested in Japanese culture and history. I want to know about your town. Could you tell me a nice place?

①メール文の内容を捉え、伝える内容についてペアで確認し合う。

- S1: 日本の文化や歴史に興味があるみたいだね。
- S2: 僕たちの町の中では…「朝日城」を紹介するのはどう?
- S1: いいね。紹介できることを挙げてみよう。

②ALTへの返信メッセージを書いて伝えることを想定し、ペアで英文を伝え合う。

You should visit Asahi Castle. There are some historical things. You can see an old diary. You can learn Japanese calligraphy.

③定着を図りたい語句や言語材料について全体で確認したり、教師のフィードバックを聞いたりする。

- S3: 前回学んだ不定詞を使えば「～するために」と言えるね。
- T1: 「such as」などを使って例を挙げる方法もありますね。

④英文を再構築する。

You should visit Asahi Castle to see some historical things such as an old diary. You can learn Japanese calligraphy there, too.

【指導のポイント】

- ・目的や場面、状況等を意識させた上で概要をつかませ、伝える内容について考えさせる。
- ・ねらいに即した視点を定め、中間指導の場を設けることで、友達からの助言や教師のフィードバックを基に、用いる語句や伝える内容について吟味させる。